

# 高等学校教育に関する意識調査

平成27年3月

青森県教育委員会



# 目 次

## I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査方法	1
3 調査の内容	2
4 回収結果	3
5 回答者の属性	4

## II 調査の結果

### 《希望する高校・学科等》

1 中学校卒業後の進路	7
1- (付問1) 進学したい高校・学科	8
2 はじめから希望していた学科か	10
2- (付問1) はじめに希望していた学科は何か	12
3 はじめから希望していた学校か	14
4 高校を選ぶ際に重視すること	16

### 《高校への通学方法等》

5 入学したい高校の通学範囲	29
6 主な通学方法	30
7 通学時間	32
8 通学支援の必要性	34

### 《高校生活、高校卒業後の進路等》

9 どのような高校生活を送っているか	35
10 高校の満足度	36
11 高校卒業後の進路	48
12 将来暮らしたい場所	50
13 将来就きたい仕事	52
14 高校で身に付けたいこと	54
15 最近の高校生の様子	56
16 所属する学科での学習内容（高校生）	60
17 普通科、専門学科での学習内容（保護者・教員等）	64
18 必要な学習方法	66
19 高校教員に望むこと	68

## 《新しいタイプの高校の必要性等》

- 20 導入済みの新しいタイプの高校に対する考え方…………… 69
- 21 未導入の新しいタイプの高校の必要性…………… 72
- 22 募集人員を増やして欲しい学科…………… 76
- 23 大学・短大にとって望まれる高校生のタイプ…………… 78

## 《高校の規模等に関する考え方》

- 24 望ましい高校規模…………… 80
- 25 高校の規模・配置に関する考え方…………… 82
- 25-（付問1）規模を維持するため統廃合した方がよい理由…………… 84
- 25-（付問2）小規模化したとしても高校を残した方がよい理由…………… 85
- 26 望ましい統合の方法…………… 86
- 27 生徒数減少による教育活動への影響…………… 87
- 27-（付問1）小規模化により生じる教育活動への具体的な課題…………… 88

## 《小・中学校、大学、地域との連携》

- 28 小・中学校と高校の連携…………… 91
- 29 高校と大学の連携…………… 94
- 30 高校と地域との連携…………… 97

## 《企業における新規高校卒業者の採用状況等》

- 31 新規高校卒業者の採用状況…………… 106
- 31-（付問1）新規高校卒業者の出身学科…………… 108
- 31-（付問2）新規高校卒業者の採用数の増減…………… 110
- 31-（付問3）新規高校卒業者の採用を減らした理由…………… 112
- 32 今後の新規高校卒業者の採用動向…………… 113
- 32-（付問1）新規高校卒業者の採用を減らす理由…………… 115
- 33 企業にとって望まれる高校生のタイプ…………… 116

## 《自由意見》

- 34 新設して欲しい学科…………… 118
- 35 その他高校教育に関する意見…………… 119

# I 調査の概要



## 1 調査の目的

本県高等学校教育の現状と課題を踏まえ、今後の高等学校教育の在り方について検討していくための資料を得ることを目的とする。

## 2 調査方法

(1) 調査対象地域 青森県内全域

### (2) 調査対象者及び標本数

① 公立中学校2年生	1,000
② 公立高校2年生(※)	1,000
③ 公立小学校(6年生)保護者	500
④ 公立中学校(2年生)保護者	1,000
⑤ 公立高校(2年生)保護者(※)	1,000
⑥ 公立小学校教員	150
⑦ 公立中学校教員	150
⑧ 公立高校教員	150
⑨ 大学・短大教員	150
⑩ 市町村関係者	81
⑪ 県内企業	500

(合計5,681)

※「Ⅱ 調査の結果」で参考として掲載した平成9年調査については、公立高校1年生及び公立高校(1年生)保護者を調査対象者として実施。

### (3) 調査対象者の抽出

- ① 調査対象となる中学生及び高校生並びに小学生保護者、中学生保護者及び高校生保護者の抽出は、各学校・学科の児童・生徒数を考慮して無作為抽出した学校に一任。  
なお、保護者の抽出に当たっては、調査対象とした生徒の保護者とならないよう依頼。
- ② 調査対象となる小学校教員、中学校教員、高校教員及び大学・短大教員の抽出は、各学校・学科の教員数を考慮して無作為抽出した学校に一任。
- ③ 調査対象となる市町村関係者は、県内全市町村の教育委員長及び教育長。(一部事務組合の教育委員長1名を含む)
- ④ 調査対象となる県内企業の抽出は、東奥日報社発行の「東奥年鑑2014」から、従業員10人以上の事業所を無作為抽出。

### (4) 調査票の配布及び回収方法

- ① 中学生及び高校生並びに小学校保護者、中学校保護者及び高校生保護者  
各学校を通じて、調査票を配布し、回収。
- ② 小学校教員、中学校教員、高校教員及び大学・短大教員並びに市町村関係者  
各学校を通じて、調査票を配布し、個人から返信用封筒により回収。
- ③ 県内企業  
直接、調査票を郵送し、返信用封筒により回収。

### (5) 調査期間

平成26年8月25日(月)～9月5日(金)

### (6) 調査分析委託機関

一般財団法人青森地域社会研究所

### 3 調査の内容

質問内容	中学生	高校生	小・中 保護者	高校生 保護者	小・中 教員	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
1 中学校卒業後の進路	問4		問6						
1- (付問1) 進学したい高校・学科	問4- 付問1		問6- 付問1						
2 はじめから希望していた 学科か		問6		問7					
2- (付問1) はじめに希望していた学 科は何か		問6- 付問		問7-付 問					
3 はじめから希望していた 学校か		問7		問8					
4 高校を選ぶ際に重視する こと	問4- 付問2	問8	問6- 付問2						
5 入学したい高校の通学範 囲	問4- 付問3		問6- 付問3						
6 主な通学方法		問9		問9					
7 通学時間		問10	問6- 付問4	問10					
8 通学支援の必要性			問6- 付問5	問11	問5	問5			
9 どのような高校生活を送 っているか	問4- 付問4	問11							
10 高校の満足度		問12							
11 高校卒業後の進路	問4- 付問5	問13	問6- 付問6	問12					
12 将来暮らしたい場所		問14	問6- 付問7	問13					
13 将来就きたい仕事	問5								
14 高校で身に付けたいこと		問15	問6- 付問8	問14	問6	問6	問3	問3	問6
15 最近の高校生の様子			問7	問15	問7	問7	問4	問4	問7
16 所属する学科での学習内 容（高校生）		問16							
17 普通科、専門学科での学 習内容（保護者・教員等）				問16	問8	問8	問5		問8
18 必要な学習方法		問17		問17	問9	問9	問6		問9
19 高校教員に望むこと		問18					問7		
20 導入済みの新しいタイプ の高校に対する考え方		問19	問8	問18	問10	問10	問8	問5	問10
21 未導入の新しいタイプの 高校の必要性		問20	問9	問19	問11	問11	問9	問6	問11
22 募集人員を増やして欲し い学科		問21	問10	問20	問12	問12	問10	問7	問12
23 大学・短大にとって望ま れる高校生のタイプ							問11		
24 望ましい高校規模	問6	問22	問11	問21	問13	問13	問12	問8	問13
25 高校の規模・配置に関す る考え方		問23	問12	問22	問14	問14	問13	問9	問14
25- (付問1) 規模を維持するため統廃 合した方がよい理由		問23- 付問1	問12- 付問1	問22- 付問1	問14- 付問1	問14- 付問1	問13- 付問1	問9- 付問1	問14- 付問1
25- (付問2) 小規模化したとしても高 校を残した方がよい理由		問23- 付問2	問12- 付問2	問22- 付問2	問14- 付問2	問14- 付問2	問13- 付問2	問9- 付問2	問14- 付問2



質問内容	中学生	高校生	小・中 保護者	高校生 保護者	小・中 教員	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
26 望ましい統合の方法			問13	問23	問15	問15	問14	問10	問15
27 生徒数減少による教育活動への影響						問16			
27- 小規模化により生じる教育活動への具体的な課題 (付問1)						問16- 付問1			
28 小・中学校と高校の連携					問16	問17			
29 高校と大学の連携						問18	問15		
30 高校と地域との連携			問14	問24	問17	問19	問16	問11	問16
31 新規高校卒業者の採用状況									問3
31- 新規高校卒業者の出身学 (付問1) 科									問3- 付問1
31- 新規高校卒業者の採用数 (付問2) の増減									問3- 付問2
31- 新規高校卒業者の採用を (付問3) 減らした理由									問3- 付問3
32 今後の新規高校卒業者の採用動向									問4
32- 新規高校卒業者の採用を (付問1) 減らす理由									問4- 付問
33 企業にとって望まれる高校生のタイプ									問5
34 新設して欲しい学科		問21- 付問	問10- 付問	問20- 付問	問12- 付問	問12- 付問	問10- 付問	問7- 付問	問12- 付問
35 その他高校教育に関する意見	問7	問24	問15	問25	問18	問20	問17	問12	問17

注) 質問番号は使用した調査票の質問番号

#### 4 回収結果

	標本数	有効回収数	有効回収率(%)
中学生	1,000	954	95.4
高校生	1,000	965	96.5
小学生保護者	500	454	90.8
中学生保護者	1,000	955	95.5
高校生保護者	1,000	955	95.5
小学校教員	150	132	88.0
中学校教員	150	140	93.3
高校教員	150	139	92.7
大学・短大教員	150	94	62.7
市町村関係者	81	69	85.2
企業	500	289	57.8
計	5,681	5,146	90.6

## 5 回答者の属性

### (1) 居住地（企業を除く）

	東青地区	西北地区	中南地区	上北地区	下北地区	三八地区	その他 無回答	計
中学生	222 (23.3%)	89 (9.3%)	198 (20.8%)	156 (16.4%)	60 (6.3%)	227 (23.8%)	2 (0.2%)	954 (100.0%)
高校生	237 (24.6%)	105 (10.9%)	192 (19.9%)	180 (18.7%)	66 (6.8%)	172 (17.8%)	13 (1.3%)	965 (100.0%)
小学生保護者	86 (18.9%)	60 (13.2%)	74 (16.3%)	78 (17.2%)	30 (6.6%)	112 (24.7%)	14 (3.1%)	454 (100.0%)
中学生保護者	220 (23.0%)	87 (9.1%)	196 (20.5%)	155 (16.2%)	60 (6.3%)	227 (23.8%)	10 (1.0%)	955 (100.0%)
高校生保護者	235 (24.6%)	100 (10.5%)	190 (19.9%)	188 (19.7%)	65 (6.8%)	160 (16.8%)	17 (1.8%)	955 (100.0%)
小学校教員	28 (21.2%)	18 (13.6%)	29 (22.0%)	21 (15.9%)	10 (7.6%)	26 (19.7%)	- ( - )	132 (100.0%)
中学校教員	35 (25.0%)	12 (8.6%)	28 (20.0%)	25 (17.9%)	8 (5.7%)	30 (21.4%)	2 (1.4%)	140 (100.0%)
高校教員	31 (22.3%)	13 (9.4%)	25 (18.0%)	22 (15.8%)	12 (8.6%)	33 (23.7%)	3 (2.2%)	139 (100.0%)
大学・短大 教員	26 (27.7%)	1 (1.1%)	48 (51.1%)	1 (1.1%)	- ( - )	17 (18.1%)	1 (1.1%)	94 (100.0%)
市町村関係者	7 (10.1%)	15 (21.7%)	13 (18.8%)	14 (20.3%)	8 (11.6%)	11 (15.9%)	1 (1.4%)	69 (100.0%)

### (2) 性別（企業を除く）

	男性		女性		無回答		計	
中学生	457	(47.9%)	490	(51.4%)	7	(0.7%)	954	(100.0%)
高校生	499	(51.7%)	454	(47.0%)	12	(1.2%)	965	(100.0%)
小学生保護者	61	(13.4%)	379	(83.5%)	14	(3.1%)	454	(100.0%)
中学生保護者	154	(16.1%)	789	(82.6%)	12	(1.3%)	955	(100.0%)
高校生保護者	155	(16.2%)	786	(82.3%)	14	(1.5%)	955	(100.0%)
小学校教員	53	(40.2%)	77	(58.3%)	2	(1.5%)	132	(100.0%)
中学校教員	96	(68.6%)	44	(31.4%)	-	( - )	140	(100.0%)
高校教員	96	(69.1%)	40	(28.8%)	3	(2.2%)	139	(100.0%)
大学・短大 教員	50	(53.2%)	43	(45.7%)	1	(1.1%)	94	(100.0%)
市町村関係者	58	(84.1%)	8	(11.6%)	3	(4.3%)	69	(100.0%)

### (3) 学校所在地

	居住市町村内		居住市町村以外		無回答		計	
高校生	668	(69.2%)	292	(30.3%)	5	(0.5%)	965	(100.0%)
高校生保護者	664	(69.5%)	281	(29.4%)	10	(1.0%)	955	(100.0%)

(4) 現在学んでいる学科

	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	看護科	理数科	スポーツ科学科	英語科	外国語科	表現科	総合学科	その他・無回答	計
高校生	524 (54.3%)	34 (3.5%)	139 (14.4%)	96 (9.9%)	10 (1.0%)	27 (2.8%)	10 (1.0%)	13 (1.3%)	14 (1.5%)	9 (0.9%)	1 (0.1%)	10 (1.0%)	75 (7.8%)	3 (0.3%)	965 (100.0%)
高校生保護者	530 (55.5%)	21 (2.2%)	131 (13.7%)	92 (9.6%)	10 (1.0%)	35 (3.7%)	10 (1.0%)	14 (1.5%)	14 (1.5%)	9 (0.9%)	1 (0.1%)	10 (1.0%)	64 (6.7%)	14 (1.5%)	955 (100.0%)

(5) 子どもの性別

	男性	女性	無回答	計
小学生保護者	225 (49.6%)	215 (47.4%)	14 (3.1%)	454 (100.0%)
中学生保護者	467 (48.9%)	475 (49.7%)	13 (1.4%)	955 (100.0%)
高校生保護者	482 (50.5%)	458 (48.0%)	15 (1.6%)	955 (100.0%)

(6) 所属校に設置されている学科

※複数回答

	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	看護科	理数科	スポーツ科学科	英語科	外国語科	表現科	総合学科	その他・無回答	回答者数
高校教員	78 (56.1%)	10 (7.2%)	23 (16.5%)	23 (16.5%)	- ( - )	4 (2.9%)	- ( - )	3 (2.2%)	6 (4.3%)	4 (2.9%)	- ( - )	4 (2.9%)	11 (7.9%)	3 (2.2%)	139 (100.0%)

(7-a) 学校の規模（1学年当たり）

	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級以上	無回答	計
高校生	22 (2.3%)	54 (5.6%)	70 (7.3%)	120 (12.4%)	165 (17.1%)	531 (55.0%)	3 (0.3%)	965 (100.0%)
小学生保護者	125 (27.5%)	236 (52.0%)	70 (15.4%)	2 (0.4%)	- ( - )	9 (2.0%)	12 (2.6%)	454 (100.0%)
中学生保護者	43 (4.5%)	230 (24.1%)	322 (33.7%)	177 (18.5%)	78 (8.2%)	91 (9.5%)	14 (1.5%)	955 (100.0%)
高校生保護者	30 (3.1%)	104 (10.9%)	57 (6.0%)	124 (13.0%)	154 (16.1%)	470 (49.2%)	16 (1.7%)	955 (100.0%)

(7-b) 学校の規模（1校当たり）

	1～3学級	4～6学級	7～9学級	10～12学級	13～15学級	16～18学級	19学級以上	無回答	計
高校教員	14 (10.1%)	30 (21.6%)	10 (7.2%)	9 (6.5%)	11 (7.9%)	36 (25.9%)	26 (18.7%)	3 (2.2%)	139 (100.0%)

## (8) 業種別

	農業、林業、漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	運輸・通信業	卸・小売業、飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	行政・公的機関	その他	無回答	計
企業	5 (1.7%)	2 (0.7%)	70 (24.2%)	49 (17.0%)	6 (2.1%)	25 (8.7%)	61 (21.1%)	8 (2.8%)	1 (0.3%)	41 (14.2%)	- ( - )	17 (5.9%)	4 (1.4%)	289 (100.0%)

## (9) 従業員数

	19人以下	20～29人	30～49人	50～99人	100～ 199人	200～ 299人	300人 以上	無回答	計
企業	77 (26.6%)	50 (17.3%)	52 (18.0%)	58 (20.1%)	27 (9.3%)	9 (3.1%)	16 (5.5%)	- ( - )	289 (100.0%)

## Ⅱ 調査の結果

### 報告書の見方

- (1) 比率は全て、各設問の無回答を含む集計回答者総数（付問では設問該当回答者数）に対する百分比（%）を表している。1人の回答者に2以上の回答を求める設問では、百分比（%）の合計は、100.0%に一致しない場合がある。
- (2) 百分比（%）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。このため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。
- (3) 図表中の「n」とは、回答者数を示す。  
なお、図表中の回答者数は、分類不明や分類対象外の回答を除いているため、各設問の集計回答者総数と一致しない場合がある。
- (4) 在学学科、希望学科別の分類では、「農業に関する学科」「工業に関する学科」「商業に関する学科」「水産に関する学科」「家庭に関する学科」「看護科」「情報科」「福祉科」を「職業に関する学科」として分類し、「理数科」「人文科」「スポーツ科学科」「英語科」「外国語科」「表現科」「その他の学科」を「その他の専門学科」として分類した。



## 《 希望する高校・学科等 》

### 1 中学校卒業後の進路

問1 あなたは、中学校卒業後、どのような進路を選ぶつもりですか（希望を持っていますか）。（%）

	中学生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	954	955	454
就職（自営も含む）	0.3	0.2	0.9
高校進学（定時制、通信制を含む）	92.5	95.9	92.3
高等専門学校進学	2.0	1.6	1.1
専修学校・各種学校進学	0.4	0.2	0.9
その他	0.2	0.1	-
まだわからない	4.5	1.0	2.2
無回答	0.1	0.9	2.6

（参考 平成9年調査）

（%）

	中学生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	998	969	493
就職（自営も含む）	0.3	0.2	-
高校進学（定時制、通信制を含む）	90.7	96.8	96.3
高等専門学校進学	2.7	1.7	1.0
専修学校・各種学校進学	0.5	0.6	0.8
その他	-	-	-
まだわからない	5.8	0.7	1.8

#### 「高校進学（定時制、通信制を含む）」が全対象者で9割以上

中学校卒業後の進路について尋ねたところ、「高校進学（定時制、通信制を含む）」が中学生で92.5%、中学生保護者で95.9%、小学生保護者で92.3%となり、平成9年調査と同様に、「高校進学（定時制、通信制を含む）」が9割以上と高かった。

## 1 - (付問1) 進学したい高校・学科

問1付問1 問1で「高校進学（定時制、通信制を含む）」と回答した方にうかがいます。  
あなたは、どのような高校、学科に進みたいと思いますか（進んで欲しいと思いますか）。

### (ア) 高校の区分

(%)

	中学生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	916	419
全日制の高校	94.8	99.2	98.3
定時制の高校	3.6	-	0.7
通信制の高校	1.0	-	-
無回答	0.6	0.8	1.0

### (イ) 学科の区分

(%)

	中学生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	916	419
普通科	63.0	59.2	49.2
農業に関する学科	1.7	0.5	0.2
工業に関する学科	8.4	7.6	8.4
商業に関する学科	2.2	3.7	1.4
水産に関する学科	0.1	0.2	0.5
家庭に関する学科	2.3	0.4	0.2
看護科	1.2	1.3	1.4
情報科	1.4	0.9	0.5
福祉科	0.9	0.5	0.5
理数科	0.5	0.8	0.5
スポーツ科学科	2.6	1.6	1.0
音楽科	0.3	0.2	0.2
英語科	0.5	0.2	0.2
外国語科	0.1	0.2	0.2
表現科	0.3	0.1	0.2
総合学科	1.5	2.4	1.0
その他の学科	1.1	0.5	0.7
特に希望する学科はない	3.6	12.7	15.5
わからない	7.4	4.8	14.3
無回答	0.9	2.0	3.8



(参考 平成9年調査)

(ア) 高校の区分

(%)

	中学生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	938	475
全日制の高校	90.4	81.7	85.7
定時制の高校	5.3	-	0.2
通信制の高校	1.3	-	-
無回答	3.0	18.3	14.1

(イ) 学科の区分

(%)

	中学生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	938	475
普通科	60.2	62.5	60.4
農業に関する学科	0.7	1.0	0.2
工業に関する学科	10.9	10.4	5.7
商業に関する学科	5.6	3.6	4.0
水産に関する学科	0.4	-	0.6
家庭に関する学科	1.5	0.7	0.8
衛生看護科	2.2	2.2	1.1
福祉科	1.8	2.0	2.7
理数科	2.7	1.8	1.9
人文学科	0.6	0.1	0.2
音楽科	0.9	0.2	0.4
英語科・外国語科	2.2	1.2	1.5
総合学科	1.0	1.8	2.5
その他の学科	0.2	0.2	0.2
特に希望する学科はない	2.0	4.7	6.5
わからない	5.4	2.8	7.6
無回答	1.7	4.7	3.6

### 各対象者とも高校では「全日制の高校」、学科では「普通科」が上位

「高校進学（定時制、通信制を含む）」を希望する人に、進学したい高校・学科について尋ねたところ、高校については「全日制の高校」が中学生で94.8%、中学生保護者で99.2%、小学生保護者で98.3%となり、9割以上が「全日制の高校」と答えた。

平成9年調査と比較すると、中学生で4.4ポイント、中学生保護者で17.5ポイント、小学生保護者で12.6ポイント増加した。

学科については「普通科」が中学生で63.0%、中学生保護者で59.2%、小学生保護者で49.2%となり、平成9年調査と比較すると、中学生で2.8ポイント増加したものの、中学生保護者で3.3ポイント、小学生保護者で11.2ポイント減少した。「特に希望する学科はない」は小・中保護者で1割を超え、「特に希望する学科はない」、「わからない」の合計は小学生保護者で約3割に達した。

## 2 はじめから希望していた学科か

問2 あなた（お子さん）が、現在学んでいる学科は、はじめから希望していた学科ですか。 (%)

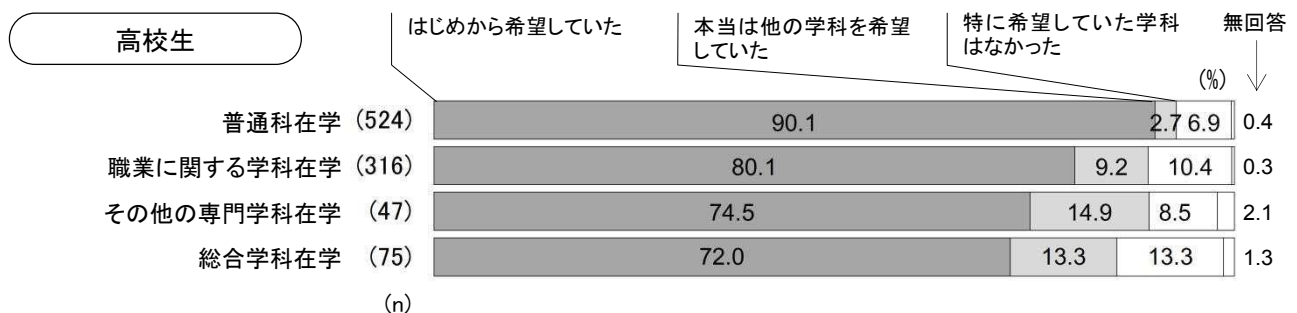
	高校生	高校生保護者
回答者数	965	955
はじめから希望していた	84.5	87.2
本当は他の学科を希望していた	6.3	6.7
特に希望していた学科はなかった	8.6	5.2
無回答	0.6	0.8

(参考 平成9年調査)

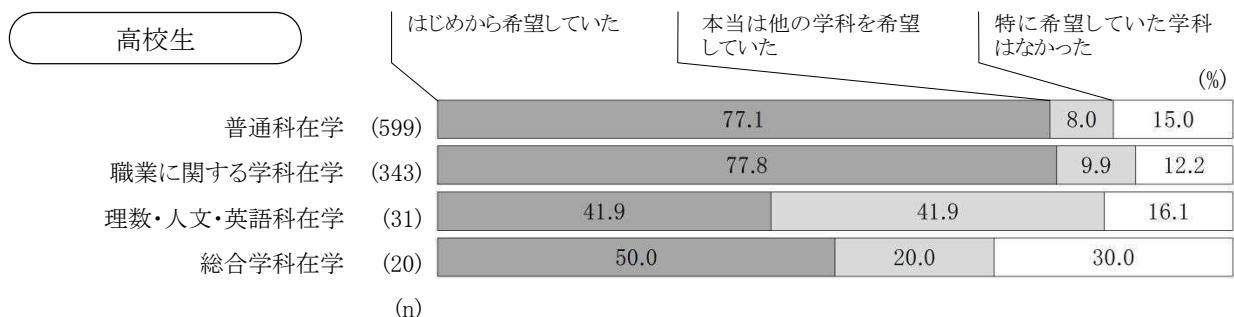
(%)

	高校生	高校生保護者
回答者数	998	983
はじめから希望していた	75.7	64.8
本当は他の学科を希望していた	10.0	14.8
特に希望していた学科はなかった	14.3	19.8
無回答	-	0.6

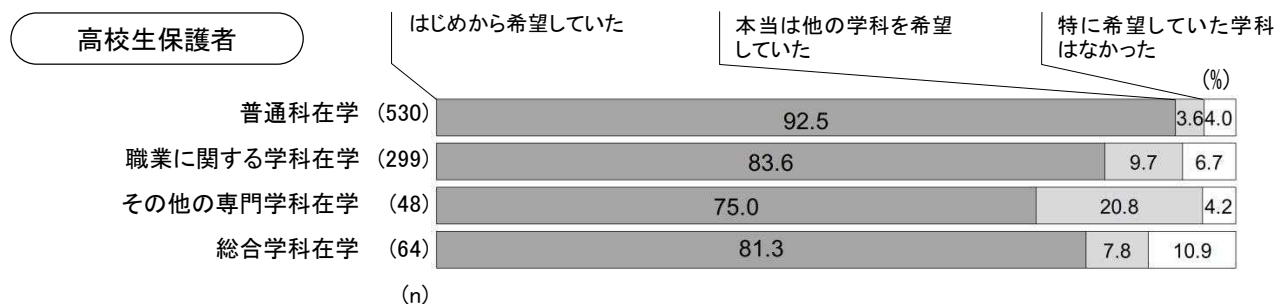
図表1 はじめから希望していた学科か【在学学科別】



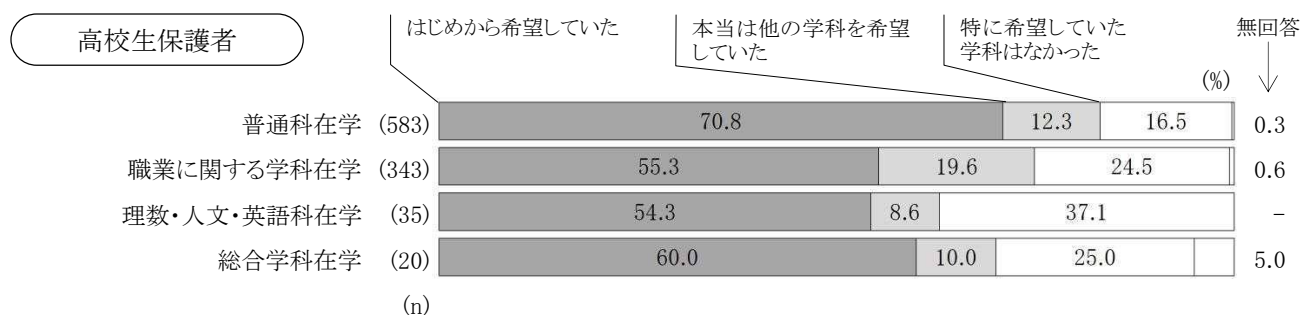
(参考 平成9年調査)



図表2 はじめから希望していた学科か【在学学科別】



(参考 平成9年調査)



### 高校生、高校生保護者ともに「はじめから希望していた」が8割超

現在学んでいる学科は、はじめから希望していた学科かどうか尋ねたところ、「はじめから希望していた」の割合は高校生が84.5%、高校生保護者が87.2%となり、ともに8割を超えた。

平成9年調査と比較すると、「はじめから希望していた」の割合は高校生で8.8ポイント、高校生保護者で22.4ポイント増加した。一方、「本当は他の学科を希望していた」、「特に希望していた学科はなかった」の割合は高校生、高校生保護者ともに前回調査より減少した。

在学学科別にみると、「はじめから希望していた」の割合は高校生、高校生保護者ともに普通科在学が9割、職業に関する学科在学が8割、その他の専門学科在学が7割を超え、総合学科在学については、高校生が7割、高校生保護者が8割を超え、平成9年調査と比較すると各学科とも「はじめから希望していた」の割合が増加した。

2 - (付問1) はじめに希望していた学科は何か

問2付問1 問2で「本当は他の学科を希望していた」と回答した方にうかがいます。  
あなた（お子さん）が、はじめ入りたいと思っていた学科はどの学科でしたか。 (%)

	高校生	高校生保護者
回答者数	61	64
普通科	39.3	32.8
農業に関する学科	1.6	-
工業に関する学科	18.0	15.6
商業に関する学科	4.9	3.1
水産に関する学科	-	-
家庭に関する学科	-	6.3
看護科	1.6	6.3
情報科	4.9	9.4
福祉科	-	4.7
理数科	1.6	-
スポーツ科学科	6.6	1.6
音楽科	-	1.6
英語科	1.6	-
外国語科	1.6	1.6
表現科	1.6	-
総合学科	3.3	6.3
その他の学科	11.5	4.7
特に希望する学科はない	-	1.6
わからない	-	-
無回答	1.6	4.7

(参考 平成9年調査) (%)

	高校生	高校生保護者
回答者数	100	145
普通科	25.0	31.0
農業に関する学科	4.0	1.4
工業に関する学科	22.0	26.2
商業に関する学科	8.0	9.7
水産に関する学科	-	-
家庭に関する学科	7.0	4.1
衛生看護科	2.0	4.1
福祉科	5.0	5.5
理数科	7.0	3.4
人文学科	5.0	0.7
音楽科	1.0	0.7
英語科・外国語科	5.0	4.1
総合学科	-	1.4
その他の学科	3.0	1.4
無回答	6.0	6.2

■ 「普通科」希望が高校生で39.3%、高校生保護者で32.8%

「本当は他の学科を希望していた」と回答した人に、はじめに希望していた学科について尋ねたところ、「普通科」が高校生で39.3%、高校生保護者で32.8%と最も高くなり、次いで「工業に関する学科」と続いた。

平成9年調査と比較すると、「普通科」は高校生で14.3ポイント、高校生保護者で1.8ポイント増加した。

### 3 はじめから希望していた学校か

問3 あなた（お子さん）が、現在学んでいる高校は、はじめから希望していた学校ですか。 (%)

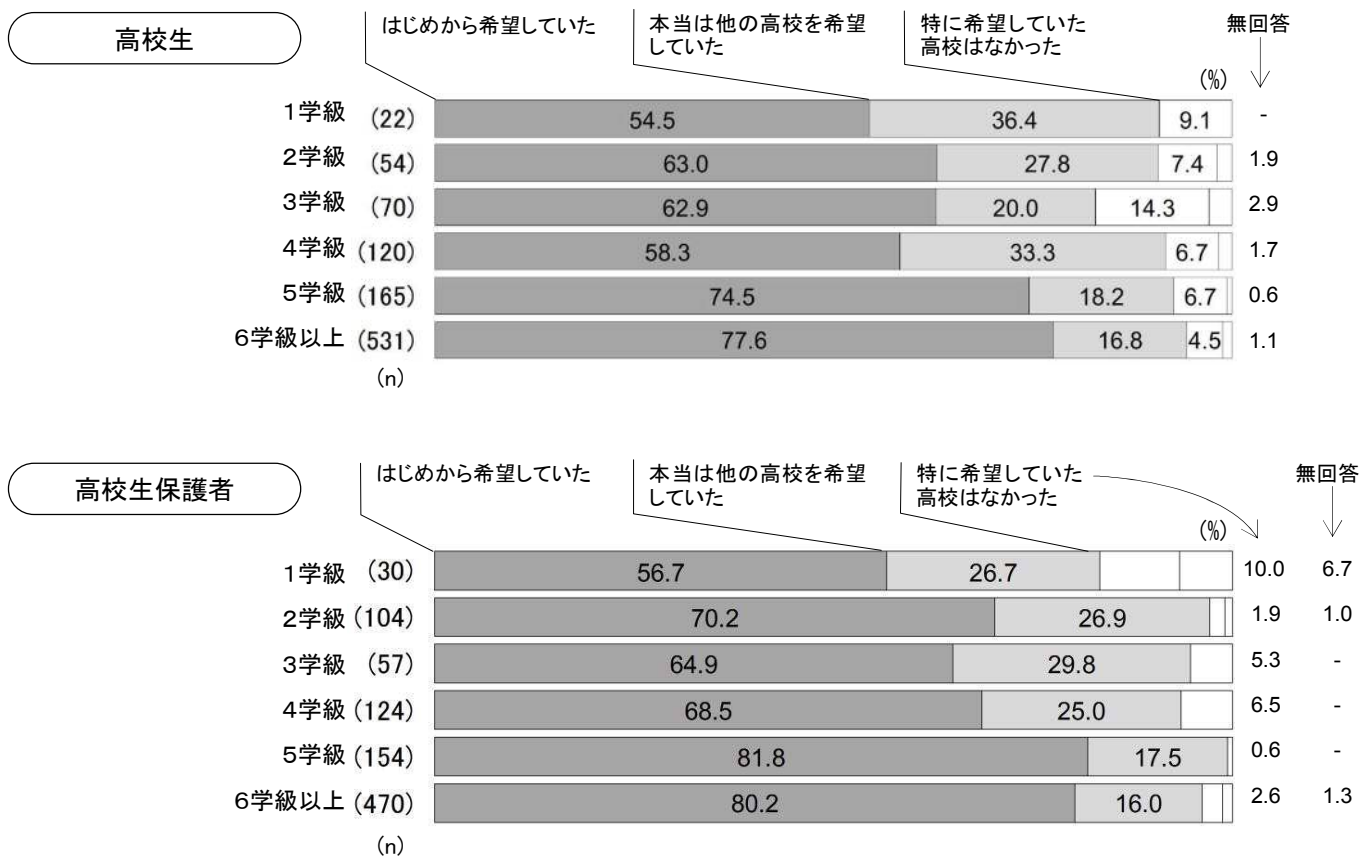
	高校生	高校生保護者
回答者数	965	955
はじめから希望していた	72.2	75.8
本当は他の高校を希望していた	20.3	19.7
特に希望していた高校はなかった	6.1	3.0
無回答	1.3	1.5

(参考 平成9年調査)

(%)

	高校生	高校生保護者
回答者数	998	983
はじめから希望していた	58.5	53.5
本当は他の高校を希望していた	27.5	26.2
特に希望していた高校はなかった	12.0	14.0
無回答	2.0	6.2

図表3 はじめから希望していた学校か【学校の規模別】



## 「はじめから希望していた」は高校生が72.2%、高校生保護者は75.8%

現在学んでいる高校は、はじめから希望していた学校かどうか尋ねたところ、「はじめから希望していた」の割合は高校生が72.2%、高校生保護者が75.8%となり、ともに7割を超えた。一方、「本当は他の高校を希望していた」の割合は高校生が20.3%、高校生保護者が19.7%となり、ともに2割程度となった。

平成9年調査と比較すると、「はじめから希望していた」の割合は高校生で13.7ポイント、高校生保護者で22.3ポイント増加した。

学校の規模別にみると、学級数が多くなるに従って「はじめから希望していた」の割合が高くなる傾向がみられた。高校生では1学級と6学級以上とで23.1ポイント、高校生保護者では1学級と6学級以上とで23.5ポイントの差がみられた。

#### 4 高校を選ぶ際に重視すること

問4 入学する高校を選ぶとき、次の（ア）～（シ）を重視しますか（しましたか）。  
（各項目について○は1つ）

（ア）自分（子ども）の能力・適性

(%)

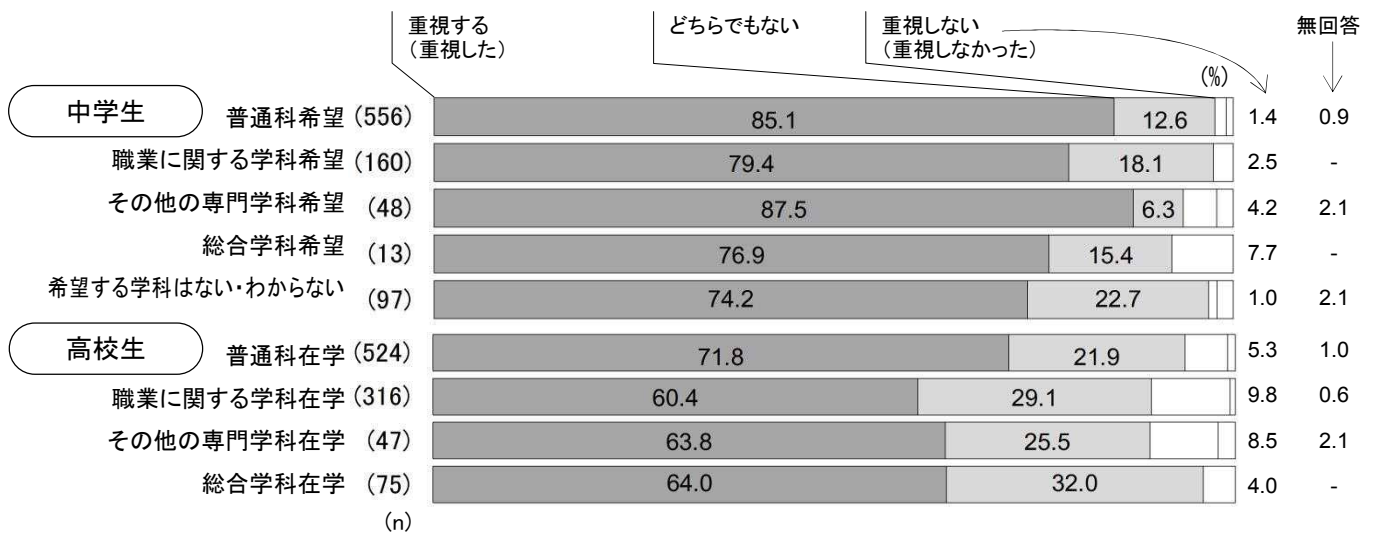
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する（重視した）	82.9	66.9	94.4	94.0
どちらでもない	14.3	25.3	4.6	5.0
重視しない（重視しなかった）	1.8	6.8	0.4	0.2
無回答	1.0	0.9	0.5	0.7

（参考 平成9年調査）

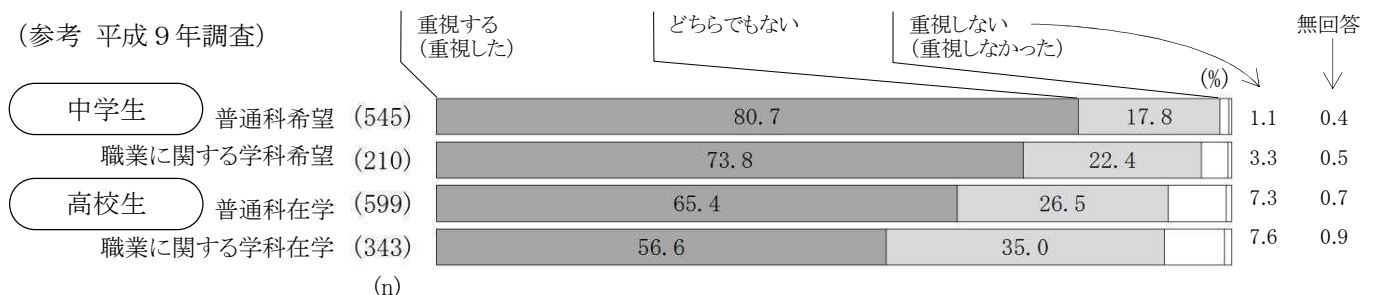
(%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	998	938	475
重視する（重視した）	78.6	62.4	92.3	93.3
どちらでもない	18.2	29.5	4.7	3.6
重視しない（重視しなかった）	1.9	7.4	0.3	0.8
無回答	1.3	0.7	2.7	2.3

図表4 自分の能力・適性【在学（希望）学科別】



（参考 平成9年調査）





(イ) 保護者の意見

(%)

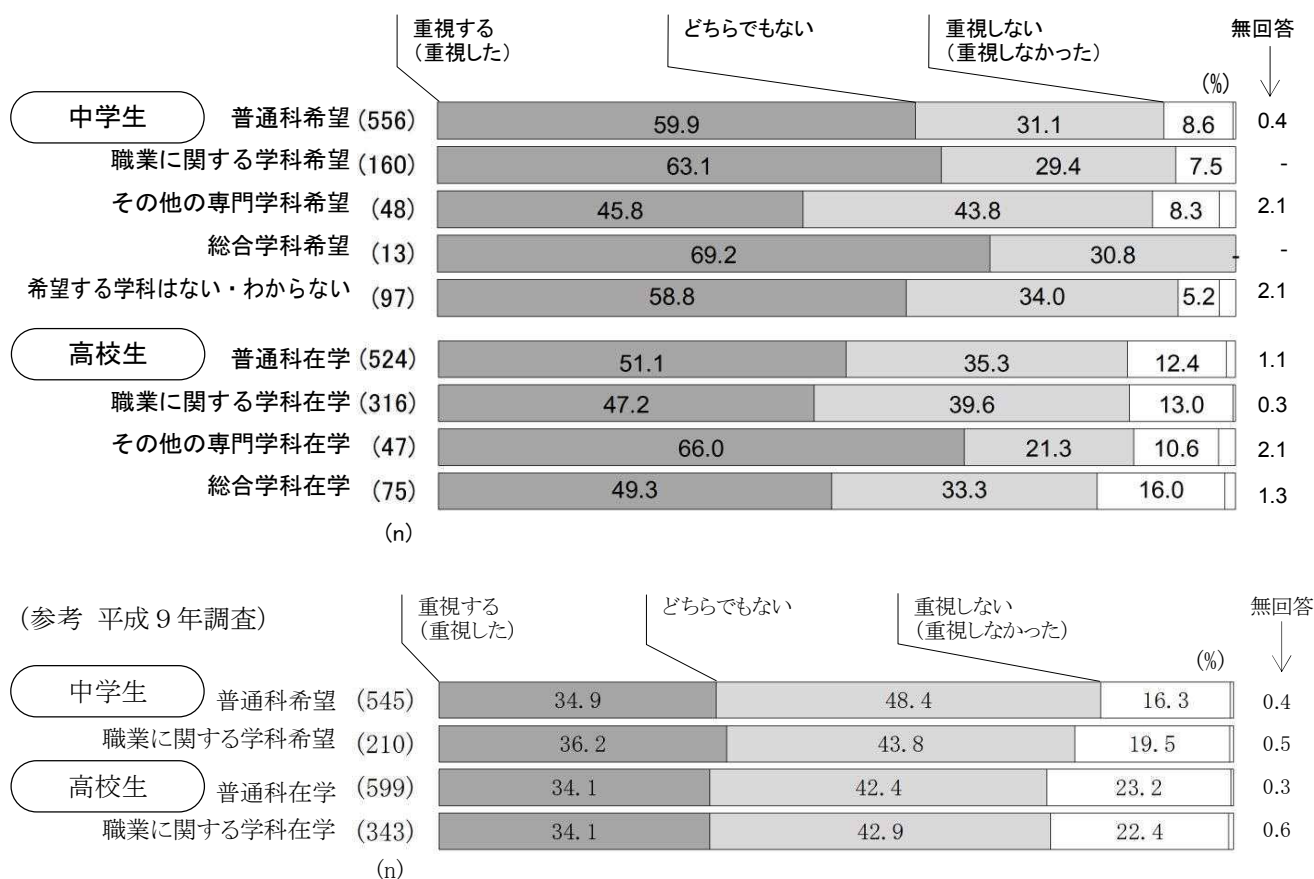
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する (重視した)	59.8	50.4	37.4	38.7
どちらでもない	31.6	35.9	54.5	52.5
重視しない (重視しなかった)	7.9	12.7	7.1	7.9
無回答	0.7	1.0	1.0	1.0

(参考 平成9年調査)

(%)

	中学生	高校生
回答者数	905	998
重視する (重視した)	34.3	34.1
どちらでもない	47.5	42.7
重視しない (重視しなかった)	17.0	22.8
無回答	1.2	0.4

図表5 保護者の意見【在学(希望)学科別】



(ウ) 中学校の先生の意見

(%)

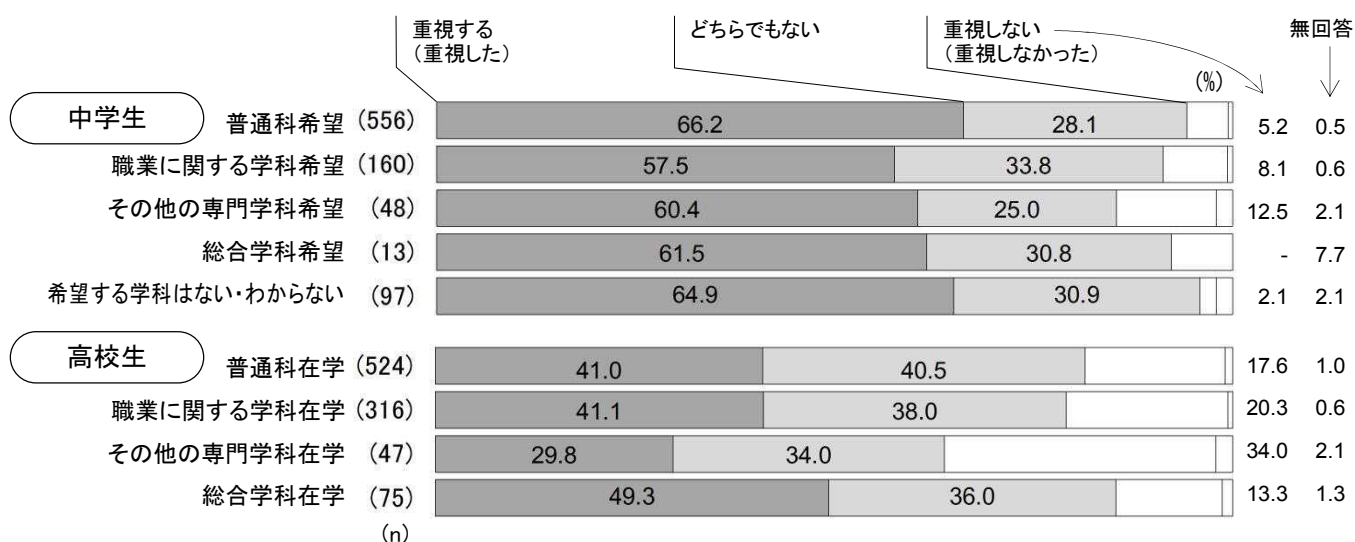
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する (重視した)	64.1	41.0	69.2	62.3
どちらでもない	29.3	39.0	27.4	33.2
重視しない (重視しなかった)	5.7	19.0	2.4	3.6
無回答	1.0	1.0	1.0	1.0

(参考 平成9年調査)

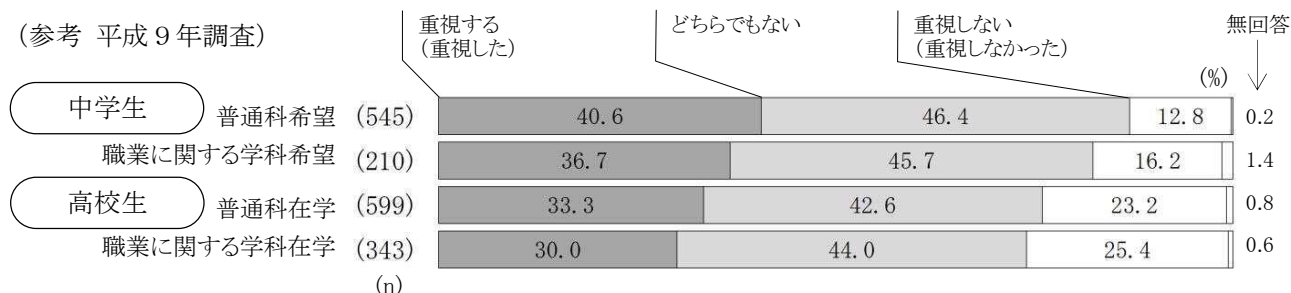
(%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	998	938	475
重視する (重視した)	38.2	32.5	62.2	61.5
どちらでもない	46.3	42.9	29.3	30.1
重視しない (重視しなかった)	14.0	23.9	4.7	4.4
無回答	1.4	0.7	3.8	4.0

図表6 中学校の先生の意見【在学(希望)学科別】



(参考 平成9年調査)



(エ) (子どもの) 友人・先輩の意見

(%)

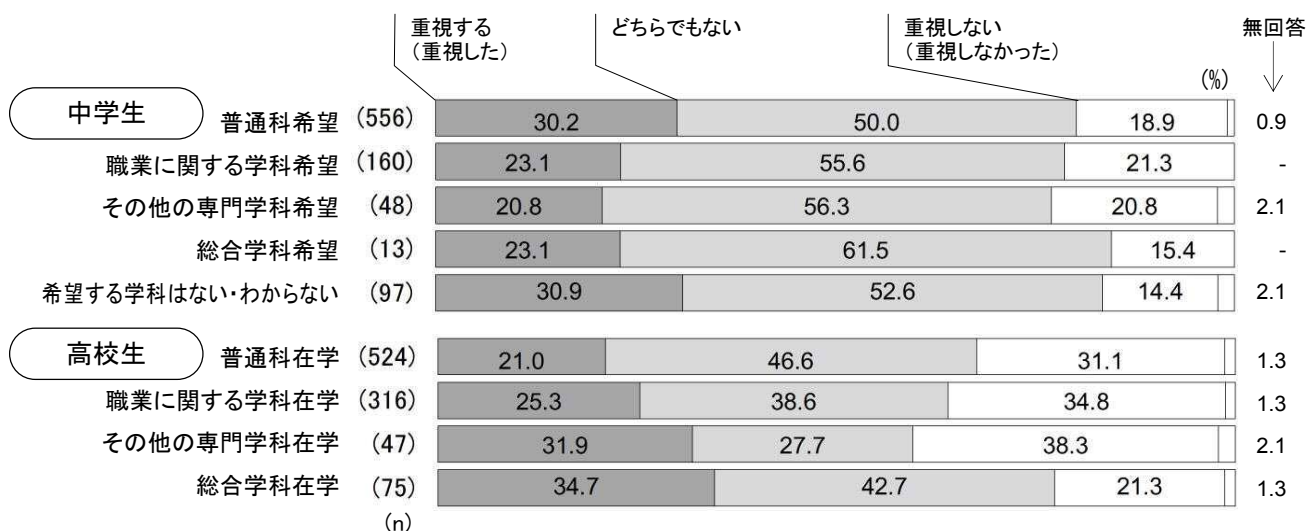
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する (重視した)	28.2	24.0	19.9	22.7
どちらでもない	52.0	42.6	59.7	59.4
重視しない (重視しなかった)	18.7	31.9	19.2	16.9
無回答	1.0	1.5	1.2	1.0

(参考 平成9年調査)

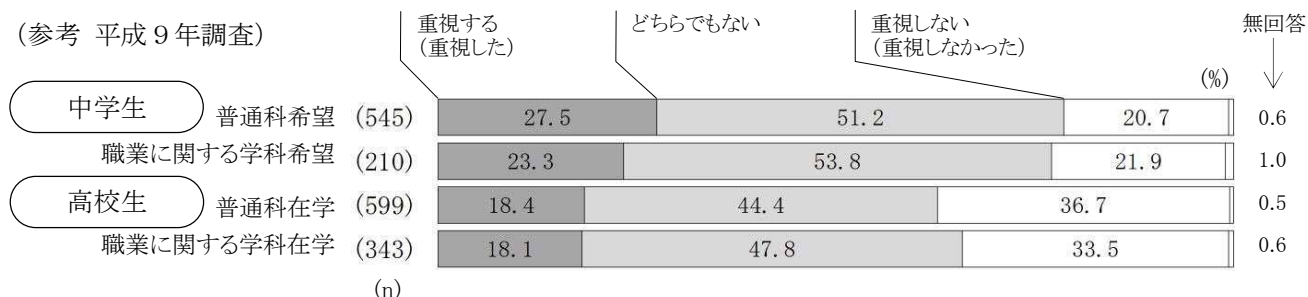
(%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	998	938	475
重視する (重視した)	25.9	18.1	18.1	20.6
どちらでもない	52.7	46.1	57.7	54.7
重視しない (重視しなかった)	20.0	35.3	20.0	20.6
無回答	1.4	0.5	4.2	4.0

図表7 友人・先輩の意見【在学 (希望) 学科別】



(参考 平成9年調査)



(オ) 就職のための有利さ

(%)

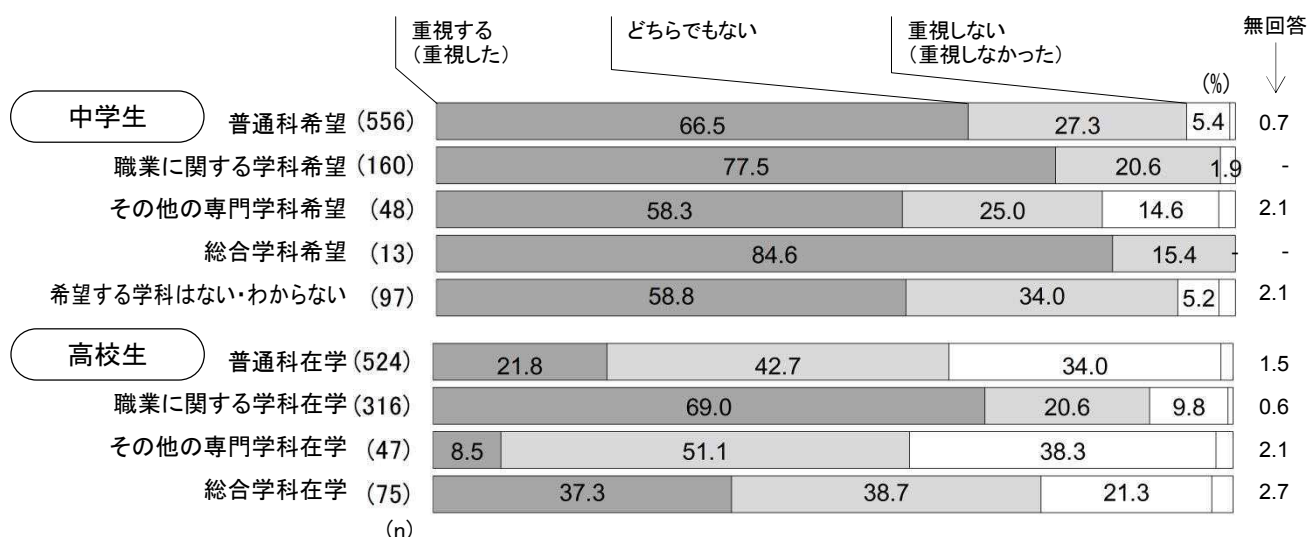
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する (重視した)	67.5	37.7	56.1	53.9
どちらでもない	26.5	35.5	33.4	36.5
重視しない (重視しなかった)	5.1	25.3	9.5	7.9
無回答	0.9	1.5	1.0	1.7

(参考 平成9年調査)

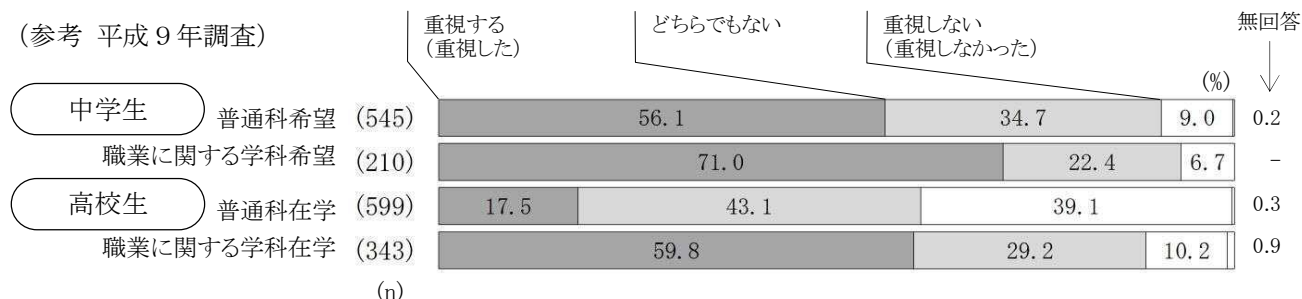
(%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	998	938	475
重視する (重視した)	59.2	32.3	48.5	50.9
どちらでもない	30.8	38.3	35.9	33.5
重視しない (重視しなかった)	9.1	28.9	11.7	11.4
無回答	0.9	0.6	3.8	4.2

図表8 就職のための有利さ【在学(希望)学科別】



(参考 平成9年調査)



(カ) 進学のための有利さ

(%)

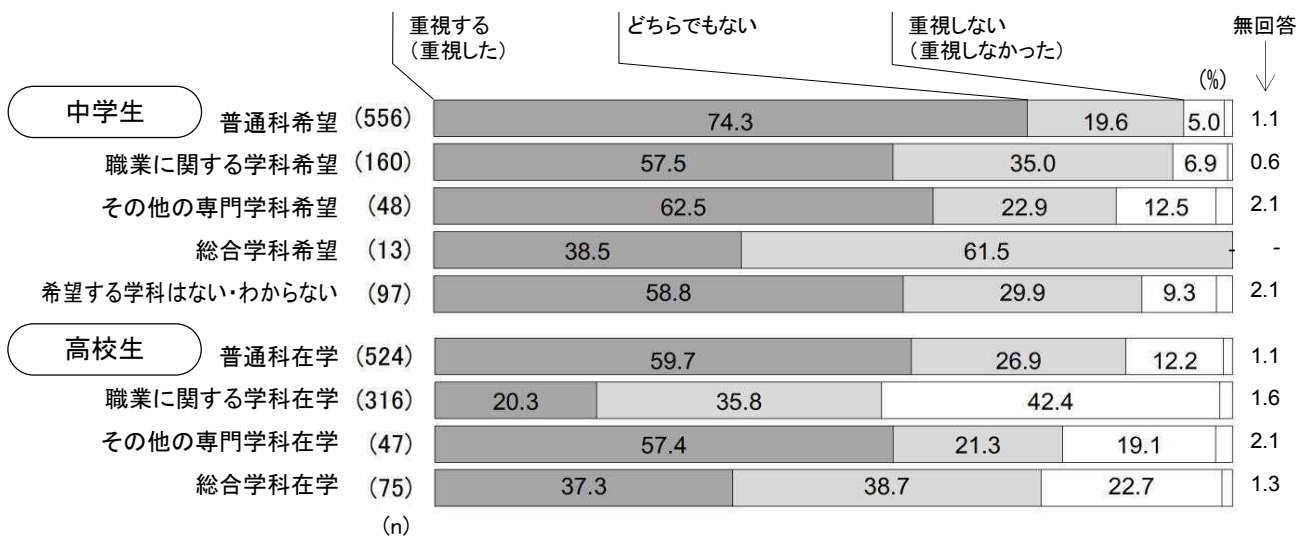
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する(重視した)	68.4	44.9	61.6	64.7
どちらでもない	24.3	30.5	31.9	31.5
重視しない(重視しなかった)	6.1	23.2	5.1	3.1
無回答	1.2	1.5	1.4	0.7

(参考 平成9年調査)

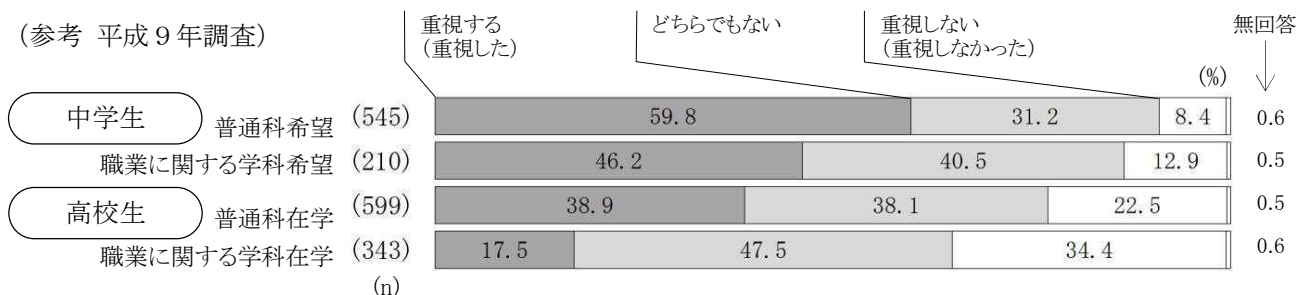
(%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	998	938	475
重視する(重視した)	54.1	31.1	52.6	58.3
どちらでもない	34.4	41.5	34.0	29.1
重視しない(重視しなかった)	10.3	27.0	8.8	8.2
無回答	1.2	0.5	4.6	4.4

図表9 進学のための有利さ【在学(希望)学科別】



(参考 平成9年調査)



(キ) 通学の便利さ

(%)

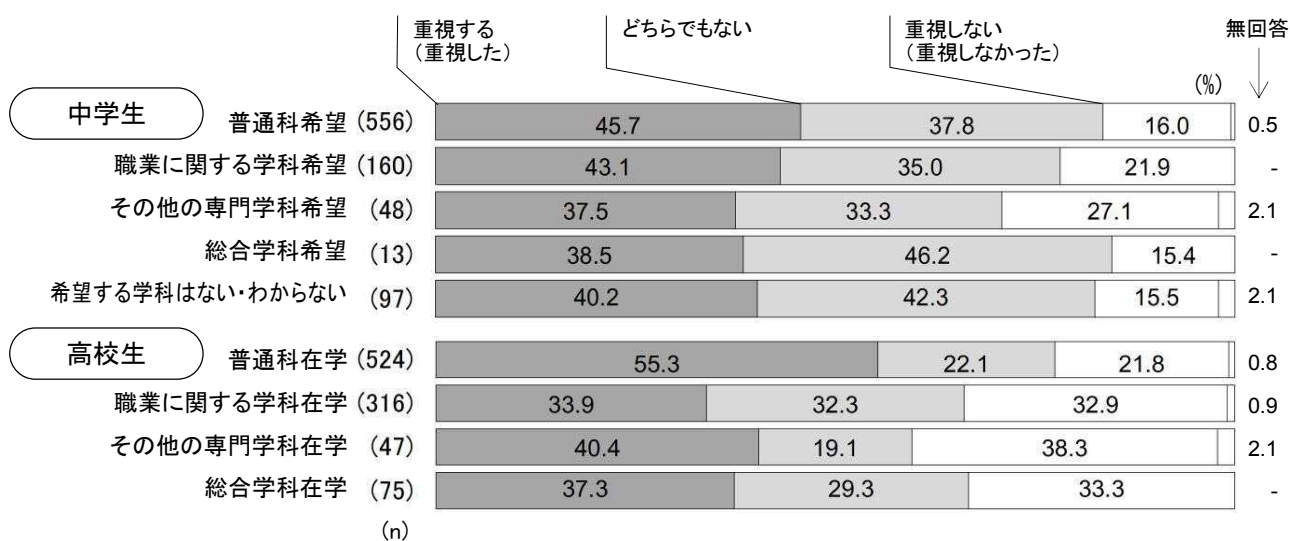
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する(重視した)	44.1	46.1	59.8	58.5
どちらでもない	37.6	25.8	34.2	33.7
重視しない(重視しなかった)	17.5	27.2	5.0	6.9
無回答	0.8	0.9	1.0	1.0

(参考 平成9年調査)

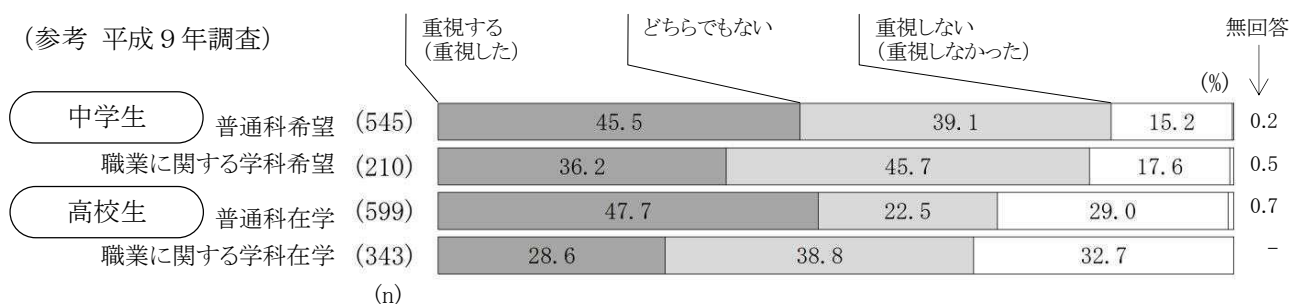
(%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	998	938	475
重視する(重視した)	42.7	41.3	53.4	49.5
どちらでもない	40.6	28.1	33.6	38.5
重視しない(重視しなかった)	15.7	30.3	9.4	8.2
無回答	1.1	0.4	3.6	3.8

図表10 通学の便利さ【在学(希望)学科別】



(参考 平成9年調査)



(ク) 高校の校風やイメージ

(%)

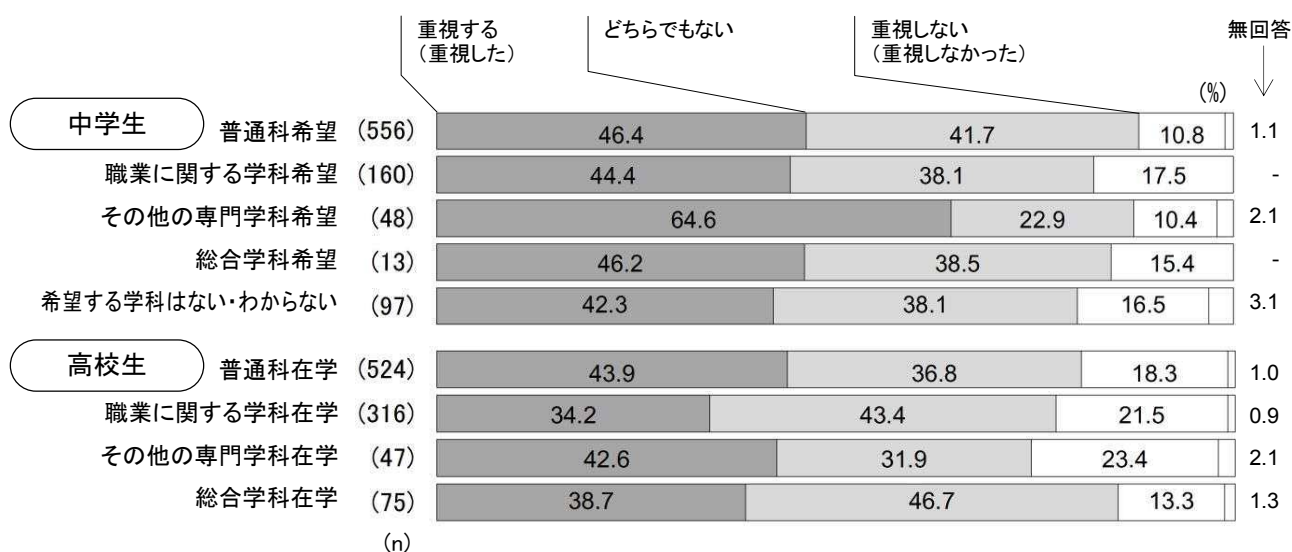
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する(重視した)	46.5	40.2	59.2	56.6
どちらでもない	39.6	39.4	35.5	36.8
重視しない(重視しなかった)	12.7	19.3	4.3	5.7
無回答	1.2	1.1	1.1	1.0

(参考 平成9年調査)

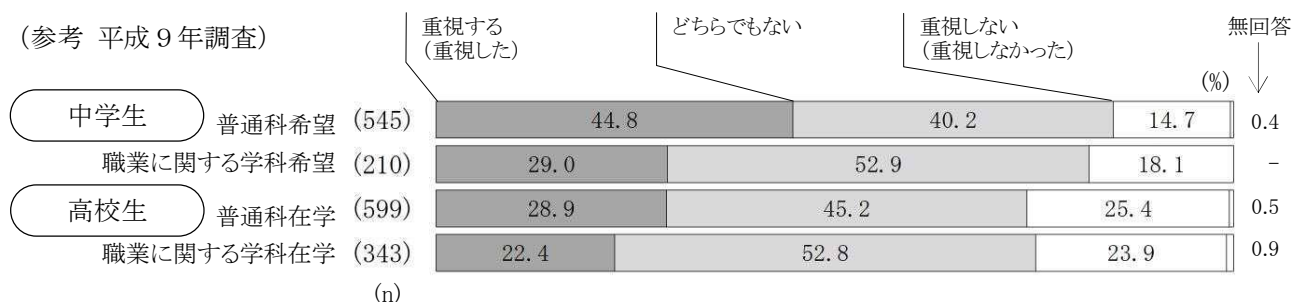
(%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	998	938	475
重視する(重視した)	41.4	27.0	51.5	52.0
どちらでもない	42.7	47.8	37.3	37.9
重視しない(重視しなかった)	14.9	24.5	6.9	5.9
無回答	1.0	0.7	4.3	4.2

図表11 高校の校風やイメージ【在学(希望)学科別】



(参考 平成9年調査)



(ケ) 設置されている学科・コース

(%)

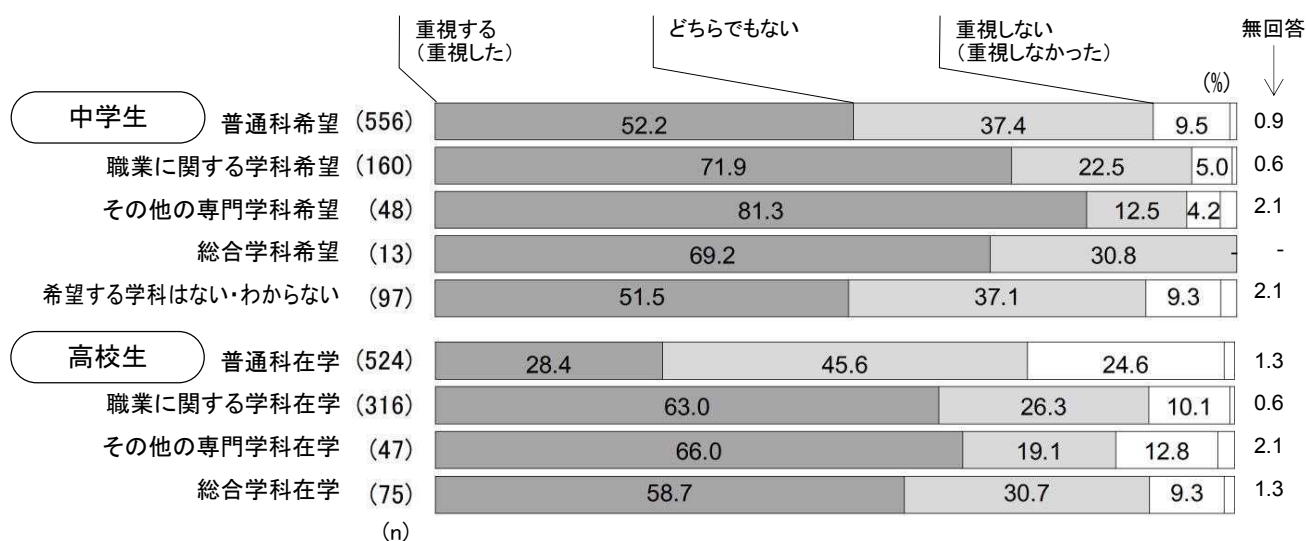
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する (重視した)	57.5	43.8	66.7	68.5
どちらでもない	33.1	36.8	29.5	29.1
重視しない (重視しなかった)	8.3	18.1	2.6	1.7
無回答	1.1	1.2	1.2	0.7

(参考 平成9年調査)

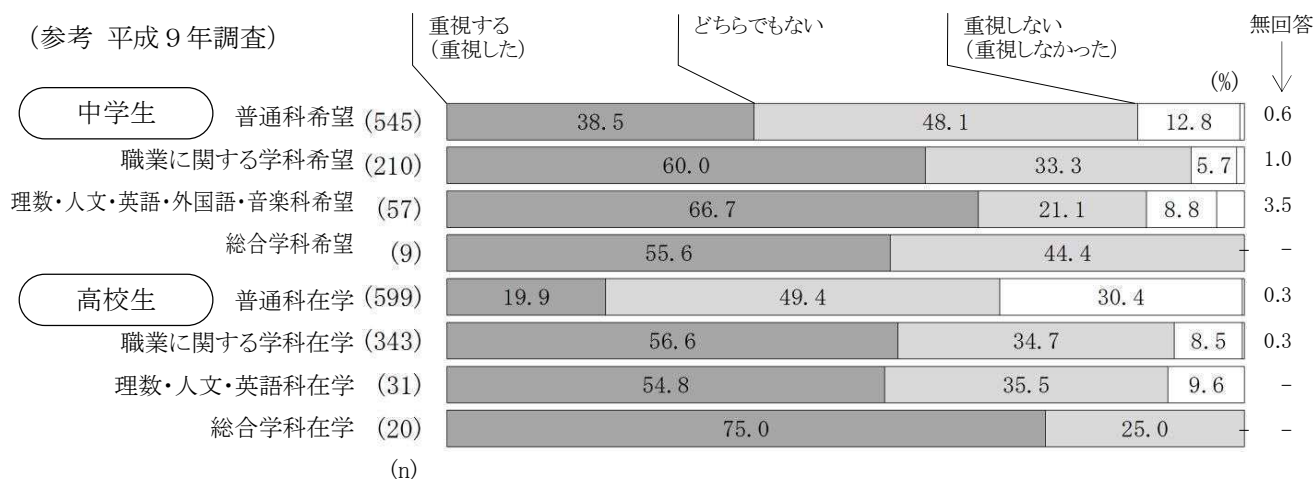
(%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	998	938	475
重視する (重視した)	46.1	34.8	61.3	62.9
どちらでもない	42.4	43.5	29.5	29.1
重視しない (重視しなかった)	10.2	21.4	5.0	4.0
無回答	1.3	0.3	4.2	4.0

図表12 設置されている学科・コース【在学 (希望) 学科別】



(参考 平成9年調査)





(コ) 高校の授業内容

(%)

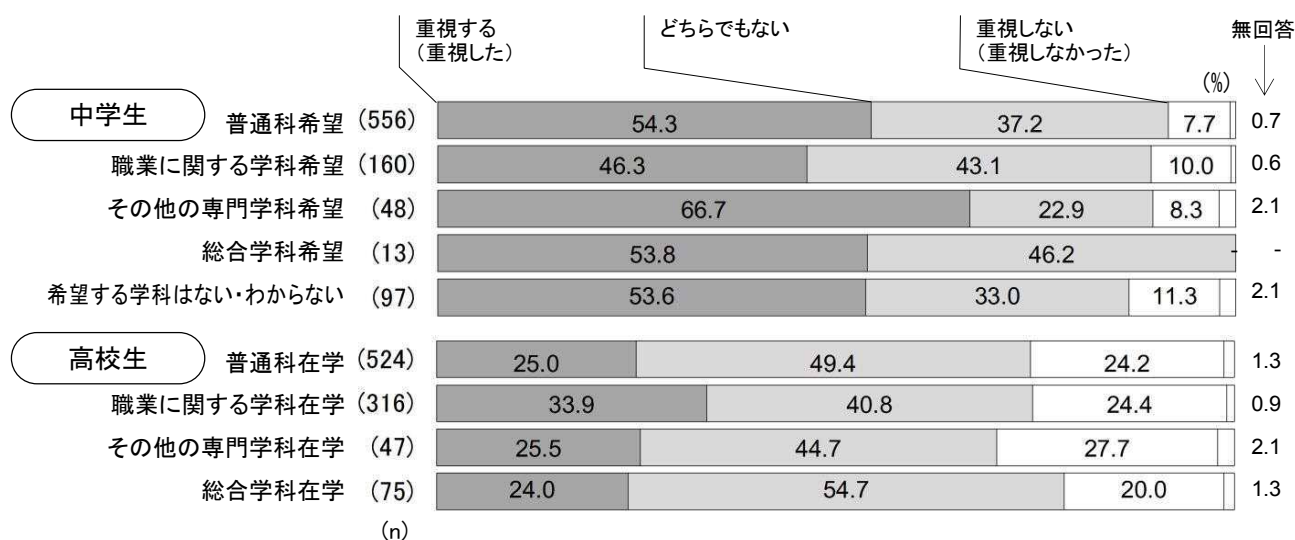
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する(重視した)	53.6	27.8	50.8	53.7
どちらでもない	37.0	46.7	44.7	43.2
重視しない(重視しなかった)	8.4	24.1	2.9	2.4
無回答	1.0	1.3	1.6	0.7

(参考 平成9年調査)

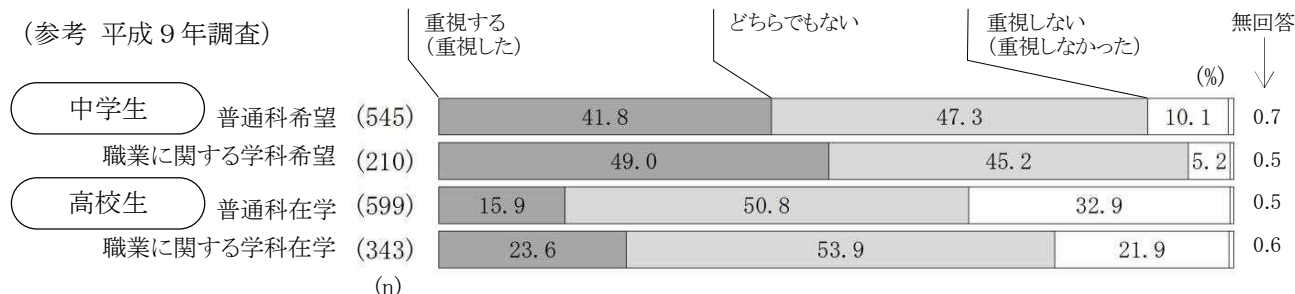
(%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	998	938	475
重視する(重視した)	44.3	19.0	51.2	54.3
どちらでもない	45.7	51.9	40.1	37.9
重視しない(重視しなかった)	8.6	28.6	4.8	3.8
無回答	1.3	0.5	3.9	4.0

図表13 高校の授業内容【在学(希望)学科別】



(参考 平成9年調査)



## (サ) 部活動の状況

(%)

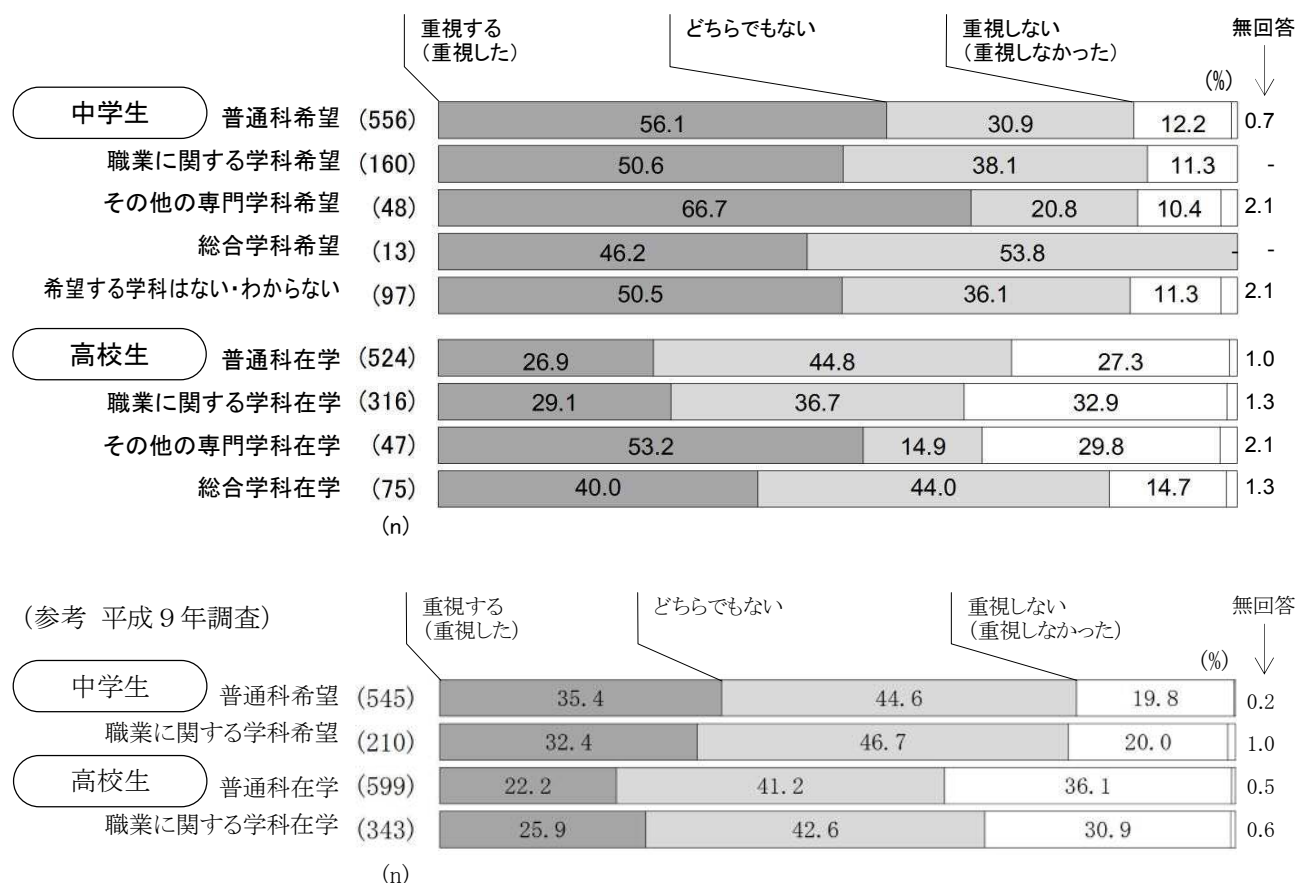
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する(重視した)	55.1	29.9	33.1	29.1
どちらでもない	32.3	40.6	54.0	54.4
重視しない(重視しなかった)	11.7	28.2	11.6	15.5
無回答	0.9	1.2	1.3	1.0

(参考 平成9年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	998	938	475
重視する(重視した)	35.8	23.5	25.3	26.9
どちらでもない	43.4	41.8	54.9	54.5
重視しない(重視しなかった)	19.7	34.2	15.5	14.5
無回答	1.1	0.5	4.4	4.0

図表14 部活動の状況【在学(希望)学科別】



(シ) 高校の周囲の環境（立地状況等）

(%)

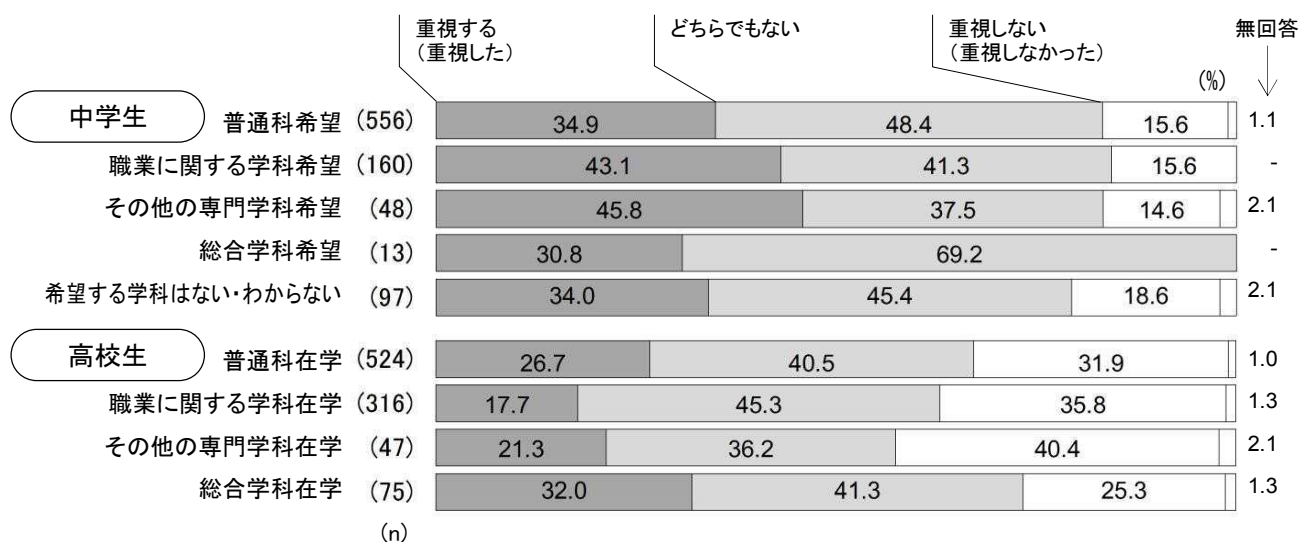
	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	965	916	419
重視する（重視した）	37.1	23.8	34.6	33.9
どちらでもない	46.1	42.0	54.1	56.3
重視しない（重視しなかった）	15.6	33.0	10.0	9.1
無回答	1.1	1.2	1.2	0.7

(参考 平成9年調査)

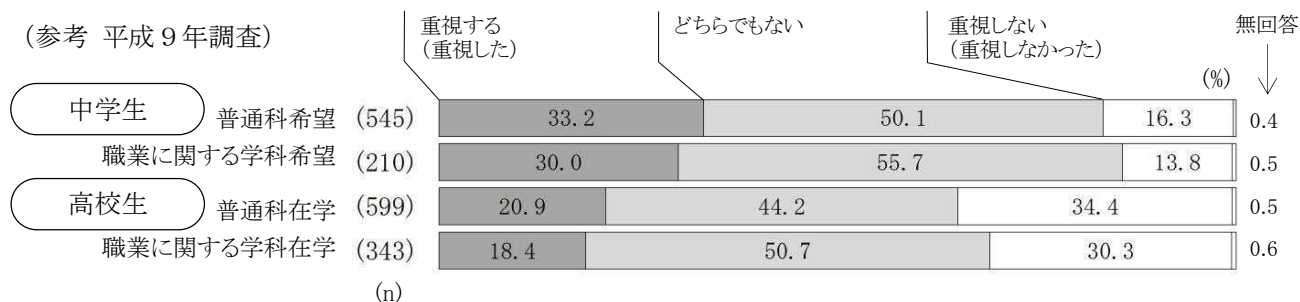
(%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	905	998	938	475
重視する（重視した）	32.5	19.8	39.3	40.6
どちらでもない	50.6	47.1	47.5	46.7
重視しない（重視しなかった）	15.8	32.6	9.0	9.1
無回答	1.1	0.5	4.2	3.6

図表15 高校の周囲の環境（立地状況等）【在学（希望）学科別】



(参考 平成9年調査)



(ア)～(シ)のまとめ  
 高校を選ぶ際に重視すること 「重視する(重視した)」の割合 (%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
(ア) 自分(子ども)の能力・適性	82.9	66.9	94.4	94.0
(イ) 保護者の意見	59.8	50.4	37.4	38.7
(ウ) 中学校の先生の意見	64.1	41.0	69.2	62.3
(エ) (子どもの)友人・先輩の意見	28.2	24.0	19.9	22.7
(オ) 就職のための有利さ	67.5	37.7	56.1	53.9
(カ) 進学のための有利さ	68.4	44.9	61.6	64.7
(キ) 通学の便利さ	44.1	46.1	59.8	58.5
(ク) 高校の校風やイメージ	46.5	40.2	59.2	56.6
(ケ) 設置されている学科・コース	57.5	43.8	66.7	68.5
(コ) 高校の授業内容	53.6	27.8	50.8	53.7
(サ) 部活動の状況	55.1	29.9	33.1	29.1
(シ) 高校の周囲の環境(立地状況等)	37.1	23.8	34.6	33.9

(参考 平成9年調査) (%)

	中学生	高校生	中学生保護者	小学生保護者
(ア) 自分(子ども)の能力・適性	78.6	62.4	92.3	93.3
(イ) 保護者の意見	34.3	34.1		
(ウ) 中学校の先生の意見	38.2	32.5	62.2	61.5
(エ) (子どもの)友人・先輩の意見	25.9	18.1	18.1	20.6
(オ) 就職のための有利さ	59.2	32.3	48.5	50.9
(カ) 進学のための有利さ	54.1	31.1	52.6	58.3
(キ) 通学の便利さ	42.7	41.3	53.4	49.5
(ク) 高校の校風やイメージ	41.4	27.0	51.5	52.0
(ケ) 設置されている学科・コース	46.1	34.8	61.3	62.9
(コ) 高校の授業内容	44.3	19.0	51.2	54.3
(サ) 部活動の状況	35.8	23.5	25.3	26.9
(シ) 高校の周囲の環境(立地状況等)	32.5	19.8	39.3	40.6

■ 全ての対象者で「自分の能力・適性」を重視

高校を選ぶ際に重視する(した)かどうか尋ねたところ、「自分(子ども)の能力・適性」を「重視する(した)」と答えた割合は、中学生が82.9%、高校生が66.9%、中学生保護者が94.4%、小学生保護者が94.0%と全体的に高くなった。「(子どもの)友人・先輩の意見」については、各対象者とも2割程度で低くなった。また、「部活動の状況」については、中学生は55.1%と比較的高いものの、高校生、中学生保護者、小学生保護者は3割程度と低くなった。

平成9年調査と比較すると、全体的な傾向はそれほど変わらないが、「保護者の意見」、「中学校の先生の意見」については、中学生、高校生ともに「重視する(した)」割合が高くなっており、また、「部活動の状況」については、中学生で19.3ポイント高くなった。

在学学科別にみた主な特徴としては、「就職のための有利さ」を「重視する(した)」割合は、高校生では職業に関する学科在学が69.0%と最も高かったが、その他の専門学科在学では8.5%と最も低く、60.5ポイントの開きがあった。(図表8参照)

「進学のための有利さ」を「重視する(した)」割合は、高校生では普通科在学が59.7%と最も高かったが、職業に関する学科では20.3%と最も低く、39.4ポイントの開きがあった。(図表9参照)

「設置されている学科・コース」を「重視する(した)」割合は、高校生では普通科在学が3割に満たなかったが、「職業に関する学科在学」、「その他の専門学科在学」、「総合学科在学」はともに6割前後となった。(図表12参照)

## 《 高校への通学方法等 》

### 5 入学したい高校の通学範囲

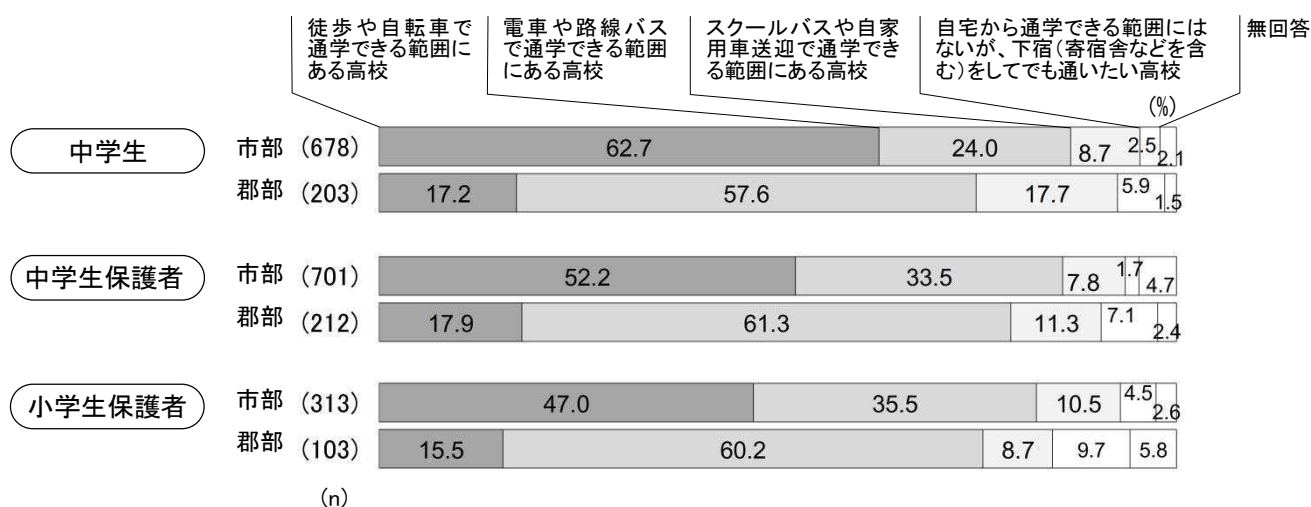
問5 あなたは、(お子さんに) どのような通学範囲にある高校に入学したい(してほしい)ですか。

(%)

	中学生	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	882	916	419
徒歩や自転車で通学できる範囲にある高校	52.2	44.2	39.4
電車や路線バスで通学できる範囲にある高校	31.7	40.0	41.5
スクールバスや自家用車送迎で通学できる範囲にある高校	10.8	8.7	10.0
自宅から通学できる範囲にはないが、下宿(寄宿舍などを含む)をしてでも通いたい高校	3.3	2.9	5.7
無回答	2.0	4.1	3.3

注) 路線バスは、高校生だけでなく一般の利用者も同乗するバス。スクールバスは、学校や保護者団体等が高校生の通学のために、貸切にして運行しているバス。

図表 16 入学したい高校の通学範囲【居住地(市部・郡部)別】



#### 「徒歩や自転車」、「電車や路線バス」の2項目で8割以上

どのような通学範囲にある高校に入学したい(してほしい)か尋ねたところ、「徒歩や自転車で通学できる範囲」が中学生で52.2%、中学生保護者で44.2%と最も高い割合となった。また、小学生保護者では「電車や路線バスで通学できる範囲」が41.5%と最も高く、各対象者ともこの2項目で8割以上を占めた。

居住地別にみると、各対象者とも市部では「徒歩や自転車」が、郡部では「電車や路線バス」が最も高い割合となった。

## 6 主な通学方法

問6 あなた（お子さん）の主な通学方法（夏季）は何ですか。

（複数の交通手段を利用して通学している場合は、当てはまるものすべてに○）（複数回答、％）

	高校生	高校生保護者
回答者数	965	955
徒歩	19.5	15.5
自転車	62.9	61.5
電車	20.5	20.4
路線バス	14.8	18.7
スクールバス	4.9	3.4
自家用車送迎	25.9	31.1
その他	0.5	0.4
無回答	0.8	0.9

注）路線バスは、高校生だけでなく一般の利用者も同乗するバス。スクールバスは、学校や保護者団体等が高校生の通学のために、貸切にして運行しているバス。

図表 17 主な通学方法【居住地（市部・郡部）別】

（複数回答、％）

(n)	徒歩	自転車	電車	路線バス	スクールバス	自家用車送迎	その他	無回答
<b>【高校生】</b>								
市部 (693)	17.2	70.9	14.1	14.0	5.1	22.5	-	0.7
郡部 (259)	24.3	43.6	35.9	16.2	4.6	35.1	1.9	0.8
<b>【高校生保護者】</b>								
市部 (701)	13.3	69.2	15.0	18.4	3.3	27.1	0.3	0.4
郡部 (237)	21.9	41.8	35.4	20.3	3.8	43.5	0.8	0.4

図表 18 主な通学方法【高校の所在地別】

（複数回答、％）

(n)	徒歩	自転車	電車	路線バス	スクールバス	自家用車送迎	その他	無回答
<b>【高校生】</b>								
現在住んでいる市町村にある高校に通学 (668)	18.6	69.5	7.8	12.9	4.0	22.3	-	0.6
他の市町村にある高校に通学 (292)	21.6	48.3	50.0	19.5	6.5	34.2	1.7	1.0
<b>【高校生保護者】</b>								
現在住んでいる市町村にある高校に通学 (664)	16.9	68.5	9.2	15.4	3.2	26.5	0.3	0.5
他の市町村にある高校に通学 (281)	12.5	45.9	47.3	27.0	3.9	42.3	0.7	0.4

## 「自転車」の割合が最も高く、高校生が62.9%、高校生保護者が61.5%

主な通学方法（夏季）について尋ねたところ、「自転車」が高校生62.9%、高校生保護者61.5%で最も高い割合となった。次いで「自家用車送迎」、「電車」と続いた。

居住地別にみると、高校生は「自転車」が市部70.9%、郡部43.6%で最も高い割合となった。郡部では「電車」、「自家用車送迎」の割合も高かった。高校生保護者は市部では「自転車」の69.2%が最も高い割合となった。郡部では「自家用車送迎」が43.5%と最も高くなり、「自転車」、「電車」の割合も高かった。

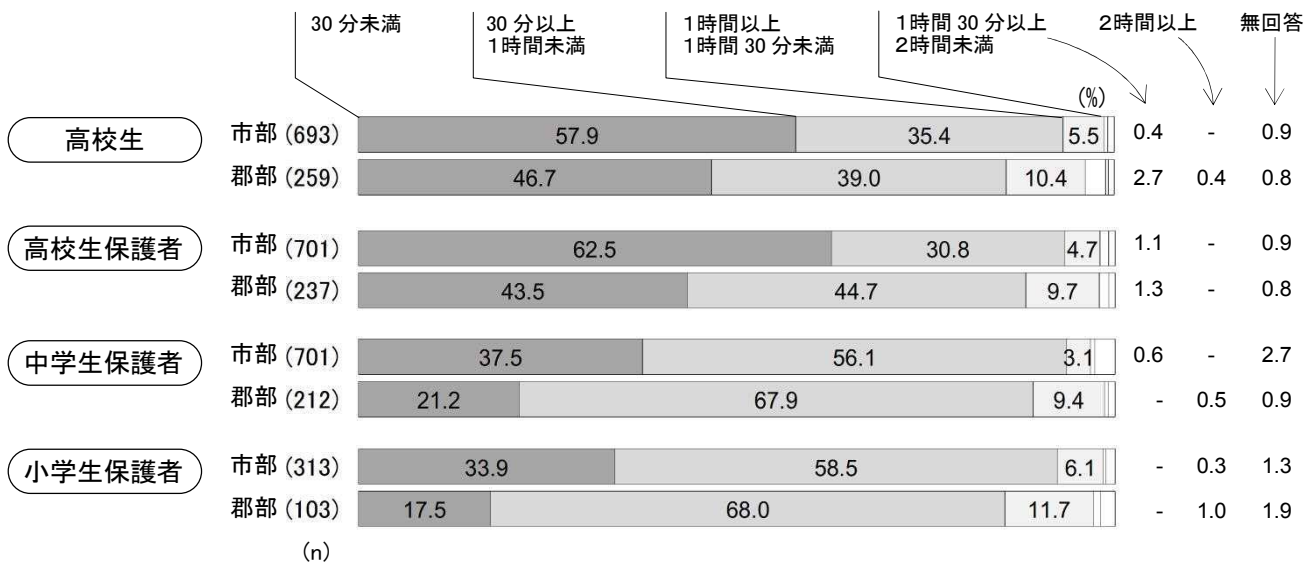
高校の所在地別にみると、「現在住んでいる市町村にある高校に通学」の場合は、「自転車」が高校生69.5%、高校生保護者68.5%で最も高く7割近くを占め、次いで「自家用車送迎」が2割を超えた。「他の市町村にある高校に通学」の場合は、「電車」が高校生50.0%、高校生保護者47.3%で最も高く、「自転車」もほぼ同じ割合となった。

## 7 通学時間

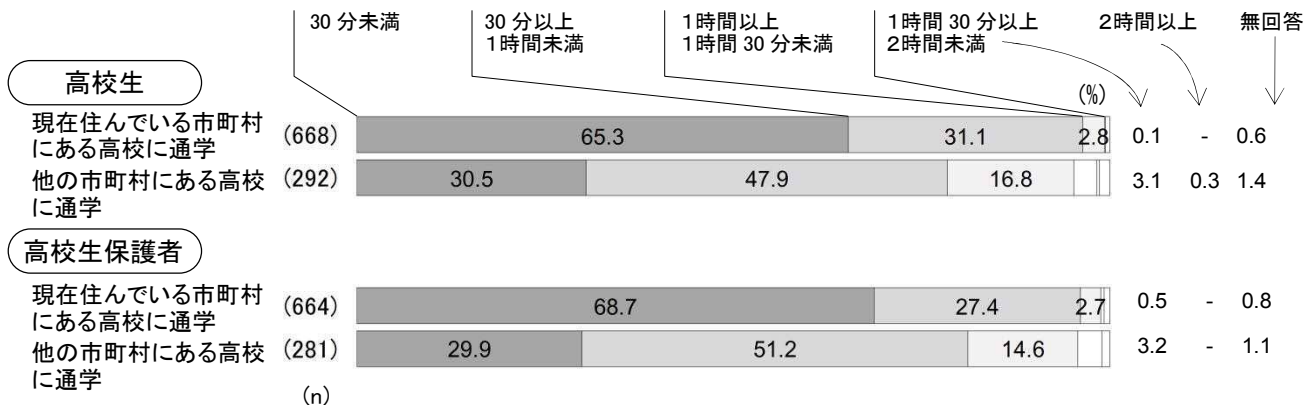
問7 あなた（お子さん）の通学に要する時間（夏季）は、片道どれくらいですか（お子さんが入学したい高校への通学に要する時間（夏季）として、許容できる時間は片道どれくらいですか）。  
(%)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者
回答者数	965	955	916	419
30分未満	54.5	57.1	33.7	30.1
30分以上 1時間未満	36.4	34.1	58.8	60.6
1時間以上 1時間30分未満	7.0	6.2	4.6	7.4
1時間30分以上 2時間未満	1.0	1.3	0.4	-
2時間以上	0.1	-	0.1	0.5
無回答	0.9	1.4	2.3	1.4

図表19 通学時間【居住地（市部・郡部）別】



図表20 通学時間【高校の所在地別】





## ■ 通学時間は1時間未満が9割以上

通学に要する時間（夏季・片道）はどのくらいか尋ねたところ、「30分未満」の割合が高校生54.5%、高校生保護者57.1%で最も高くなった。一方、入学したい高校への通学に要する時間として許容できる時間について尋ねたところ、「30分以上1時間未満」の割合が中学生保護者58.8%、小学生保護者60.6%で最も高くなった。各対象者とも1時間未満が大勢を占め、「30分未満」「30分以上1時間未満」の2項目で9割以上となった。

居住地別にみると、市部では高校生、高校生保護者で「30分未満」、中学生保護者、小学生保護者で「30分以上1時間未満」が最も高い割合となった。郡部では高校生で「30分未満」、高校生保護者、中学生保護者、小学生保護者で「30分以上1時間未満」が最も高い割合となった。

高校の所在地別にみると、「現在住んでいる市町村にある高校に通学」の場合は、「30分未満」の割合が高校生65.3%、高校生保護者68.7%で最も高くなった。「他の市町村にある高校に通学」の場合は、「30分以上1時間未満」の割合が高校生47.9%、高校生保護者51.2%で最も高くなった。

## 8 通学支援の必要性

問8 高校生の通学に関して、あなたは、どのような公的支援が必要だと思いますか。(〇は2つまで)  
(複数回答、%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	955	916	419	139	140	132
スクールバスの運行	56.1	67.1	61.6	58.3	60.0	72.0
寄宿舎の設置・運営	7.7	6.4	7.6	10.1	10.0	12.1
奨学金等の拡充	20.1	42.5	46.8	47.5	59.3	53.0
通学支援の必要はない	22.9	8.0	9.1	10.8	12.9	5.3
その他	6.8	4.8	2.9	7.2	4.3	6.1
無回答	2.6	2.7	3.3	2.2	0.7	0.8

図表21 通学支援の必要性【居住地（市部・郡部）別】

(複数回答、%)

(n)	スクールバス の運行	寄宿舎の 設置・運営	奨学金等の 拡充	通学支援の 必要はない	その他	無回答
<b>【高校生保護者】</b>						
市部 (701)	59.3	6.3	18.5	22.3	6.7	2.1
郡部 (237)	49.8	11.8	24.5	24.5	7.2	2.1
<b>【中学生保護者】</b>						
市部 (701)	66.0	5.3	41.7	9.0	4.1	3.3
郡部 (212)	70.8	10.4	44.8	4.7	7.1	0.9
<b>【小学生保護者】</b>						
市部 (313)	62.0	4.5	46.0	10.2	2.9	2.9
郡部 (103)	61.2	16.5	47.6	5.8	2.9	2.9

### 「スクールバスの運行」が各対象者とも最も高い割合

高校生の通学に関して、保護者、教員を対象にどのような公的支援が必要か尋ねたところ、「スクールバスの運行」が全ての対象者で最も高く、次いで「奨学金等の拡充」が高校生保護者を除く対象者で高い割合となった。また、「通学支援の必要はない」は高校生保護者が22.9%で、他の対象者よりも10ポイント以上高くなった。

## 《 高校生活、高校卒業後の進路等 》

### 9 どのような高校生活を送っているか

問9 あなたは、どのような高校生活を送っていますか（送りたいと思いますか）。（○は3つまで）  
(複数回答、%)

	中学生	高校生
回答者数	882	965
学習に力を入れている（入りたい）	69.3	43.4
生徒会活動、学校行事に力を入れている（入りたい）	18.9	14.0
部活動に力を入れている（入りたい）	51.4	56.2
資格取得をめざしている（めざしたい）	28.5	25.5
ボランティアなど地域での活動に力を入れている（入りたい）	6.1	4.2
多くの友達と交流している（したい）	54.3	45.5
多くの本を読むなど幅広い教養を身に付けている（付けたい）	9.2	6.0
その他	1.6	0.9
特に力を入れて取り組んでいるものはない	-	9.2
まだ考えていない	4.2	-
無回答	3.9	1.6

(参考 平成9年調査)

(複数回答、%)

	中学生	高校生
回答者数	905	998
学習に力を入れたい	58.5	51.3
生徒会活動、学校行事に力を入れたい	14.8	9.6
部活動に力を入れたい	41.1	44.3
ボランティアなど地域での活動に力を入れたい	8.2	9.4
多くの友達をつくりたい	73.9	67.1
多くの本を読むなど幅広い教養を身に付けたい	13.4	17.1
まだ、考えていない	7.2	6.5
その他	1.4	3.1
無回答	1.2	0.3

#### 中学生は「学習」、高校生は「部活動」が上位

どのような高校生活を送っているか（送りたいか）尋ねたところ、中学生は「学習に力を入れたい」が69.3%で最も高い割合となり、「多くの友達と交流したい」54.3%、「部活動に力を入れたい」51.4%と続いた。一方、高校生は「部活動に力を入れている」が56.2%で最も高い割合となり、「多くの友達と交流している」45.5%、「学習に力を入れている」43.4%と続いた。

平成9年調査と今回調査とでは回答の選択肢が異なるので単純に比較することはできないが、今回調査の「多くの友達と交流している（したい）」の割合は、前回調査の「多くの友達をつくりたい」に比べて中学生、高校生ともに低くなった。

## 10 高校の満足度

問 10 あなたの通っている高校についてうかがいます。次の（ア）～（オ）の満足度について、それぞれお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）学習する教科の内容について

(%)

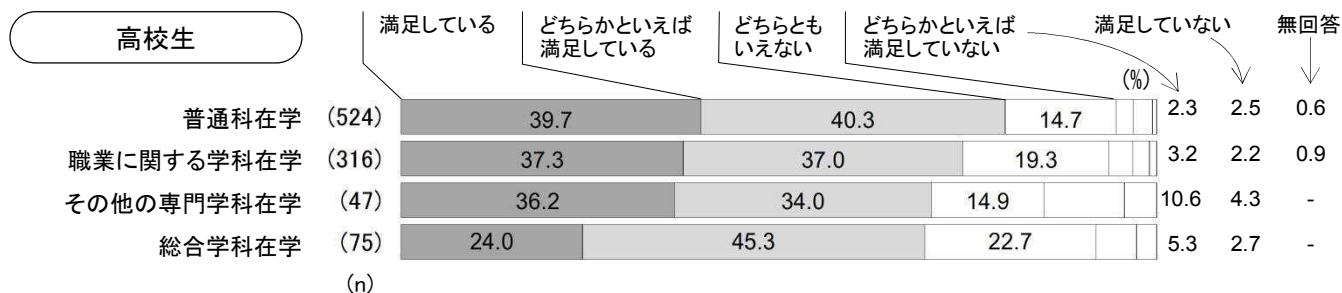
	高校生
回答者数	965
満足している	37.4
どちらかといえば満足している	39.3
どちらともいえない	16.9
どちらかといえば満足していない	3.2
満足していない	2.5
無回答	0.7
満足（計）	76.7
満足していない（計）	5.7

（参考 平成9年調査）

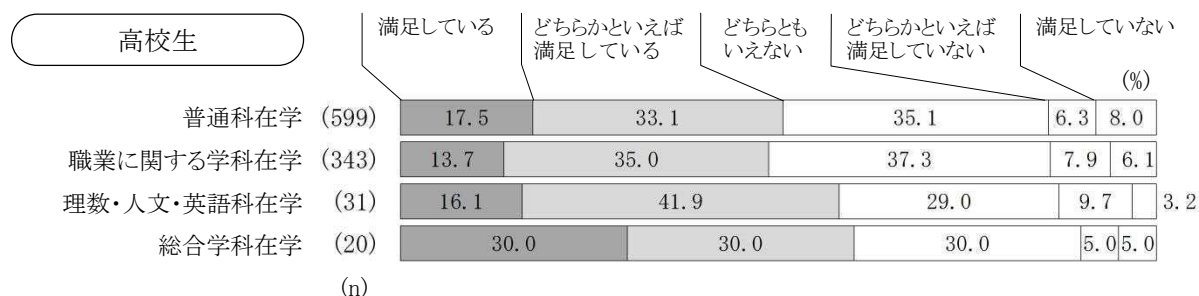
(%)

	高校生
回答者数	998
満足している	16.5
どちらかといえば満足している	33.9
どちらともいえない	35.5
どちらかといえば満足していない	7.0
満足していない	7.1
無回答	-
満足（計）	50.4
満足していない（計）	14.1

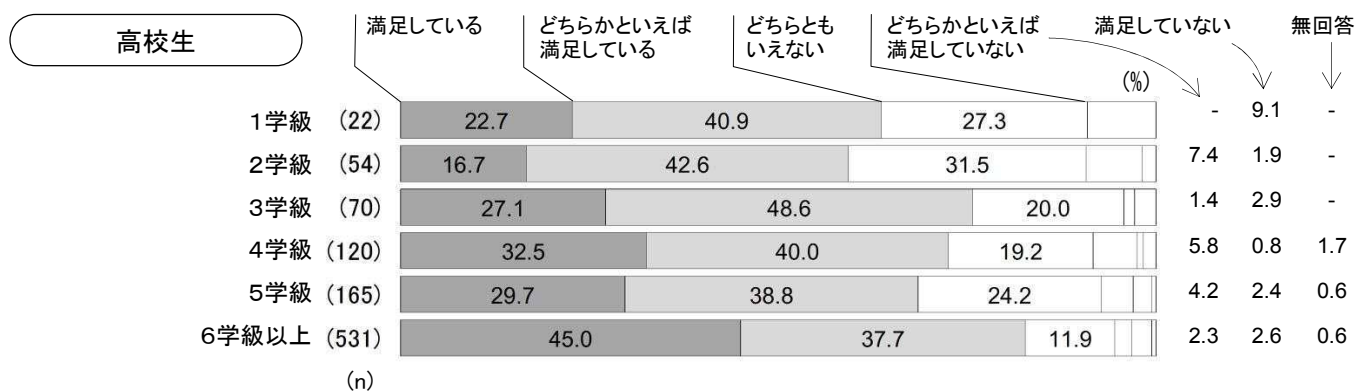
図表 22 学習する教科の内容【在学学科別】



(参考 平成9年調査)



図表 23 学習する教科の内容【学校の規模別】



## (イ) 先生の授業の進め方について

(%)

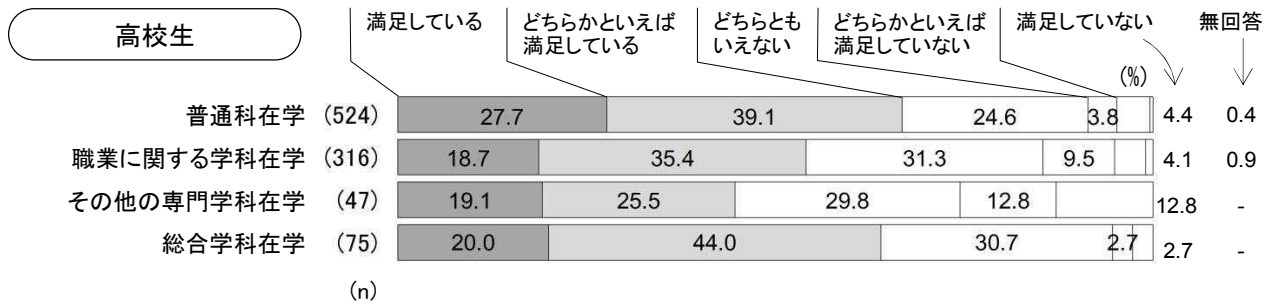
	高校生
回答者数	965
満足している	23.6
どちらかといえば満足している	37.6
どちらともいえない	27.6
どちらかといえば満足していない	6.0
満足していない	4.6
無回答	0.6
満足 (計)	61.2
満足していない (計)	10.6

## (参考 平成9年調査)

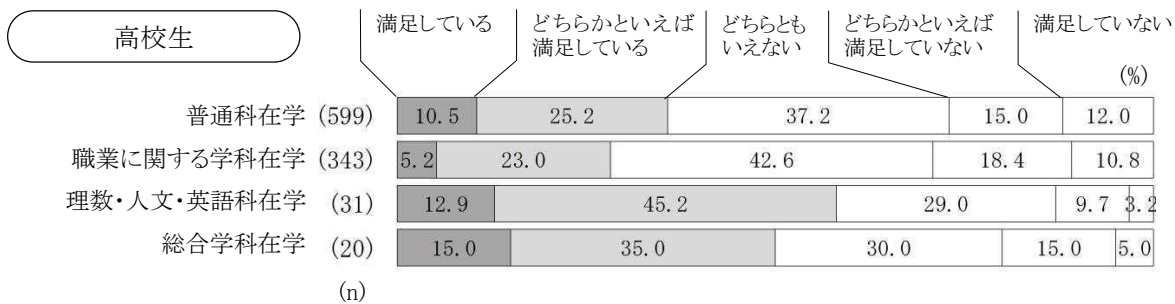
(%)

	高校生
回答者数	998
満足している	8.9
どちらかといえば満足している	25.2
どちらともいえない	38.7
どちらかといえば満足していない	16.1
満足していない	11.1
無回答	-
満足 (計)	34.1
満足していない (計)	27.3

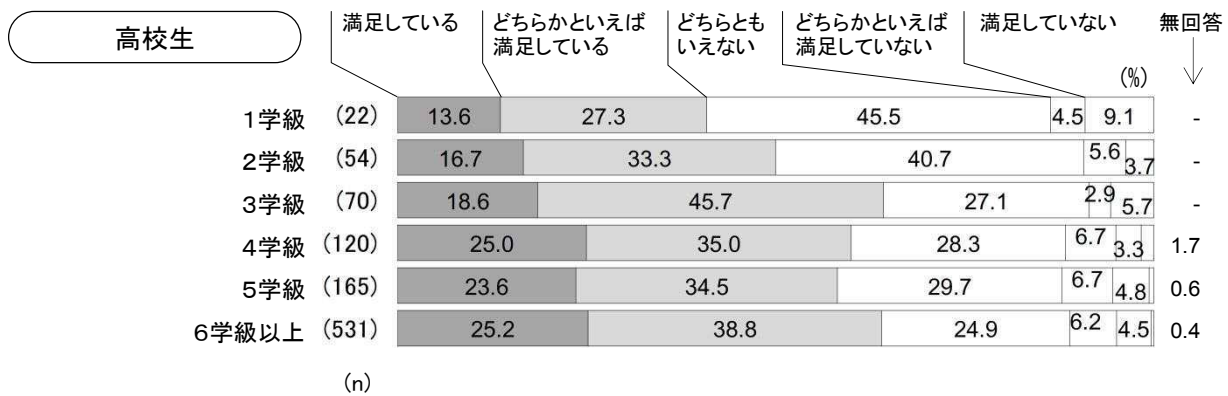
図表 24 先生の授業の進め方【在学学科別】



(参考 平成9年調査)



図表 25 先生の授業の進め方【学校の規模別】



## (ウ) 授業以外の生徒指導や進路指導について

(%)

	高校生
回答者数	965
満足している	24.2
どちらかといえば満足している	29.0
どちらともいえない	31.6
どちらかといえば満足していない	8.6
満足していない	5.7
無回答	0.8
満足 (計)	53.3
満足していない (計)	14.3

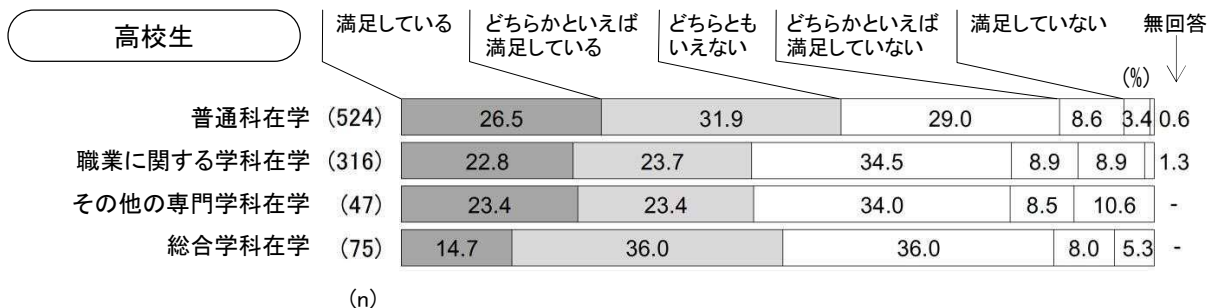
## (参考 平成9年調査)

(%)

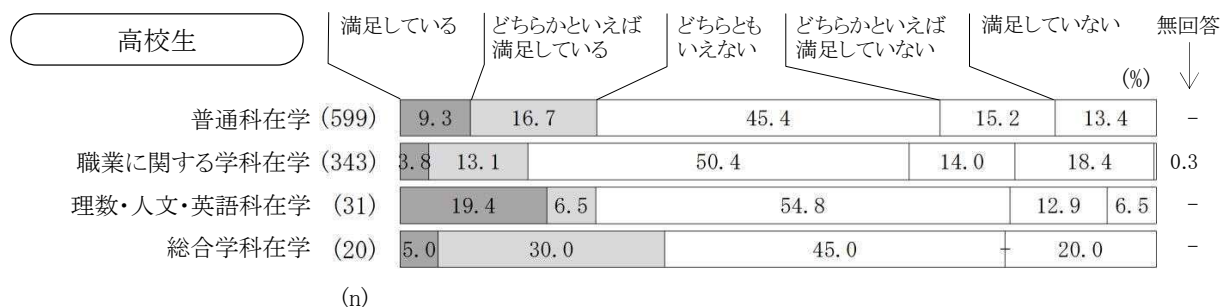
	高校生
回答者数	998
満足している	7.7
どちらかといえば満足している	15.3
どちらともいえない	47.5
どちらかといえば満足していない	14.4
満足していない	14.9
無回答	0.1
満足 (計)	23.0
満足していない (計)	29.4



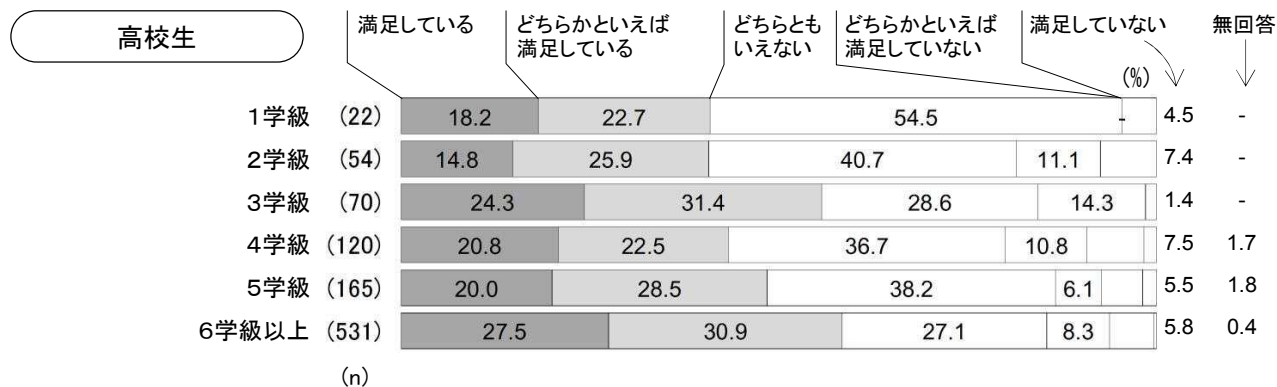
図表 26 授業以外の生徒指導や進路指導【在学学科別】



(参考 平成9年調査)



図表 27 授業以外の生徒指導や進路指導【学校の規模別】



## (エ) 部活動について

(%)

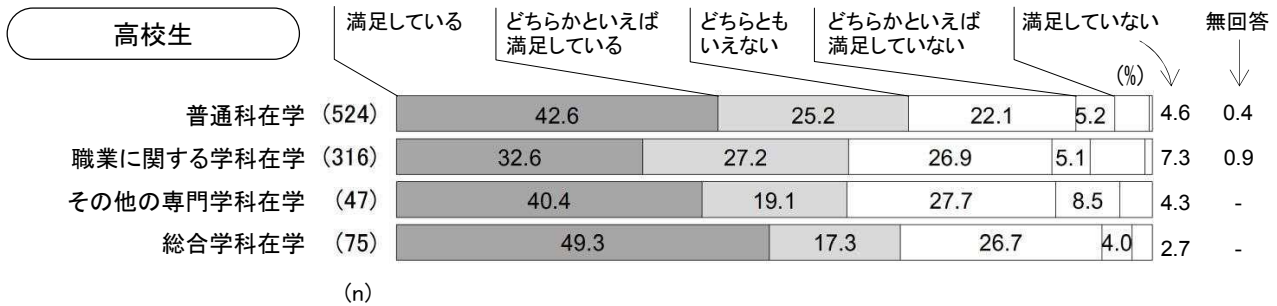
	高校生
回答者数	965
満足している	39.7
どちらかといえば満足している	24.9
どちらともいえない	24.4
どちらかといえば満足していない	5.2
満足していない	5.3
無回答	0.6
満足 (計)	64.6
満足していない (計)	10.5

## (参考 平成9年調査)

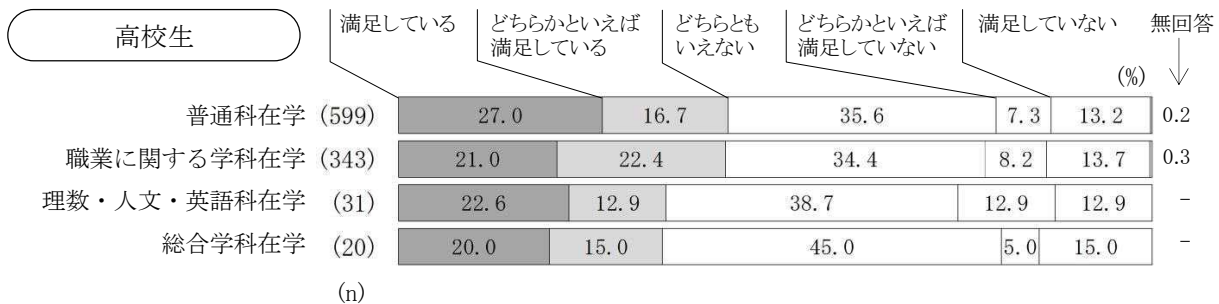
(%)

	高校生
回答者数	998
満足している	24.6
どちらかといえば満足している	18.5
どちらともいえない	35.5
どちらかといえば満足していない	7.7
満足していない	13.4
無回答	0.2
満足 (計)	43.2
満足していない (計)	21.1

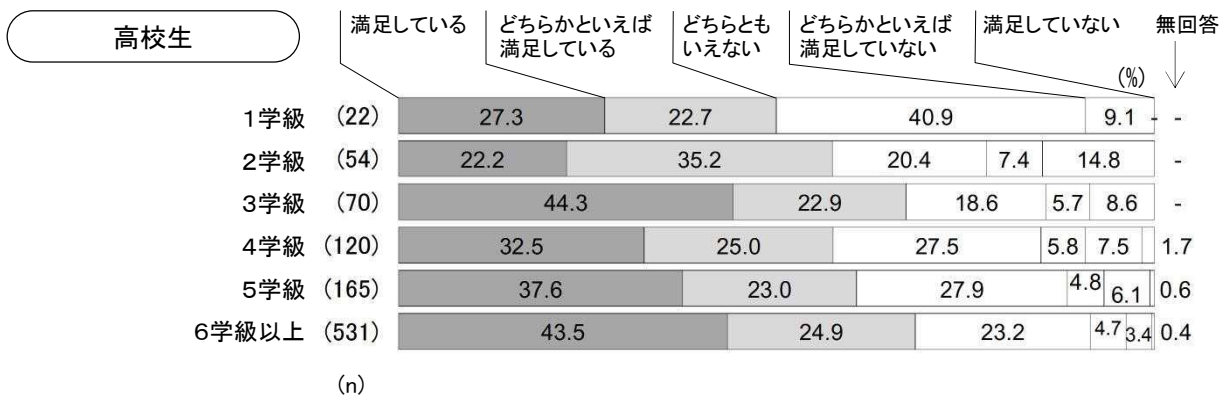
図表 28 部活動【在学学科別】



(参考 平成9年調査)



図表 29 部活動【学校の規模別】



## (オ) 文化祭や体育祭などの学校行事について

(%)

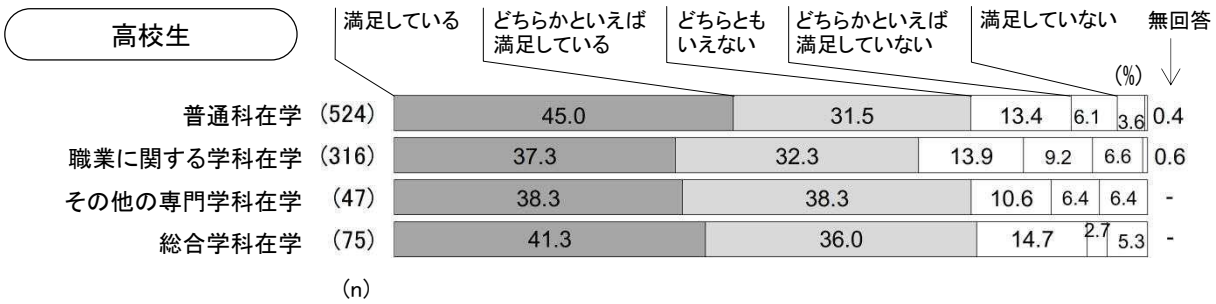
	高校生
回答者数	965
満足している	41.8
どちらかといえば満足している	32.3
どちらともいえない	13.6
どちらかといえば満足していない	6.9
満足していない	4.9
無回答	0.5
満足 (計)	74.1
満足していない (計)	11.8

## (参考 平成9年調査)

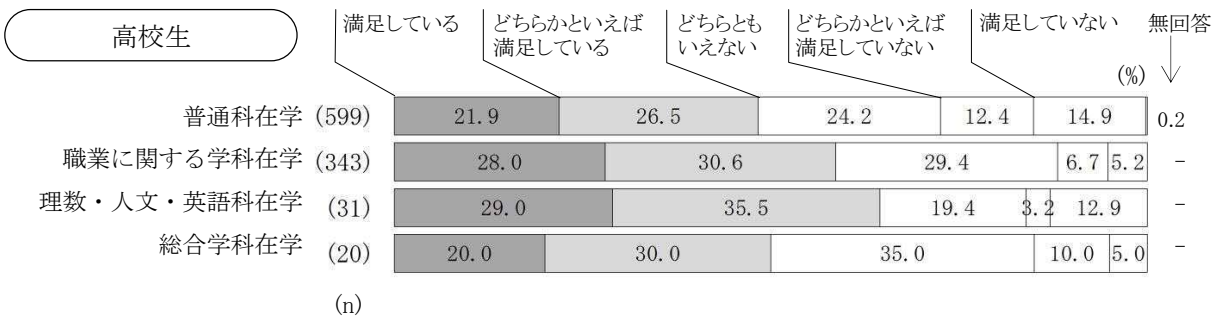
(%)

	高校生
回答者数	998
満足している	24.3
どちらかといえば満足している	28.3
どちらともいえない	26.1
どちらかといえば満足していない	10.0
満足していない	11.2
無回答	0.1
満足 (計)	52.6
満足していない (計)	21.2

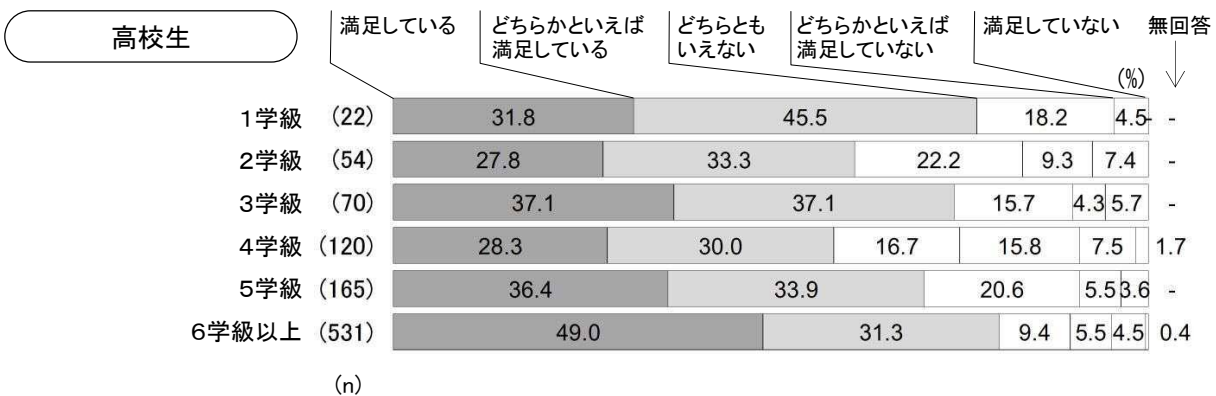
図表 30 文化祭や体育祭などの学校行事【在学学科別】



(参考 平成9年調査)



図表 31 文化祭や体育祭などの学校行事【学校の規模別】



(ア)～(オ)のまとめ

高校の満足度 「満足(計)」の割合

(%)

	高校生
	満足(計)
(ア) 学習する教科の内容について	76.7
(イ) 先生の授業の進め方について	61.2
(ウ) 授業以外の生徒指導や進路指導について	53.3
(エ) 部活動について	64.6
(オ) 文化祭や体育祭などの学校行事について	74.1

(参考 平成9年調査)

(%)

	高校生
	満足(計)
(ア) 学習する教科の内容について	50.4
(イ) 先生の授業の進め方について	34.1
(ウ) 授業以外の生徒指導や進路指導について	23.0
(エ) 部活動について	43.2
(オ) 修学旅行や文化祭などの学校行事について	52.6

「満足(計)」の割合が全項目で平成9年調査より増加

高校生に通っている高校の満足度を尋ねたところ、今回調査では平成9年調査に比べ、全ての項目で「満足(計)」の割合が増加し、いずれの項目においても5割を超え、特に、「(ア) 学習する教科の内容について」、「(イ) 先生の授業の進め方について」、「(ウ) 授業以外の生徒指導や進路指導について」で約30ポイント増加した。

在学学科別では、各項目の満足度に大きな違いや特徴は見られなかった。(図表22、24、26、28、30参照)

学校の規模別でみると、「満足(計)」の割合は、各項目とも6学級以上で高い傾向となったが、1学級や3学級で「満足(計)」の割合が比較的高い項目もあった。(図表23、25、27、29、31参照)



## 11 高校卒業後の進路

問 11 あなたは、(お子さんの) 高校卒業後の進路についてどのように考えていますか。 (%)

	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者
回答者数	882	965	955	916	419
大学や短大に進学したい (してほしい)	51.6	52.7	50.5	47.5	45.6
専修学校、各種学校に進学したい (してほしい)	12.4	10.7	15.0	13.6	13.8
就職したい (してほしい)	20.0	27.4	23.0	16.0	12.6
その他	0.8	2.7	3.7	3.9	3.6
まだ考えていない	14.1	6.0	4.9	16.0	21.7
無回答	1.2	0.5	2.9	2.8	2.6

(参考 平成9年調査)

(%)

	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者
回答者数	905	998	983	938	475
大学や短大に進学したい (してほしい)	37.3	37.5	41.9	44.3	45.1
専修学校、各種学校 (予備校を含む) に進学したい (してほしい)	17.1	17.0	15.4	13.2	13.5
就職したい (してほしい)	24.4	30.8	22.6	15.0	13.3
その他	0.1	0.2	3.1	1.8	2.7
まだ考えていない (わからない)	20.7	13.5	16.3	24.3	24.8
無回答	0.3	1.0	0.8	1.3	0.6



図表32 高校卒業後の進路【在学（希望）学科別】

		大学や短大に 進学したい	専修学校、各種学校に 進学したい	就職したい	その他	まだ考えて いない	無回答	(%)
<b>中学生</b>								
普通科希望	(556)	65.6		10.1	12.1	0.5	11.2	0.5
職業に関する学科希望	(160)	27.5	17.5	40.0		1.3	11.9	1.9
その他の専門学科希望	(48)	29.2	25.0	25.0	4.2	10.4		6.3
総合学科希望	(13)	30.8	30.8	23.1		15.4		-
希望する学科はない・わからない	(97)	23.7	9.3	28.9	37.1			1.0
<b>高校生</b>								
普通科在学	(524)	71.6		8.8	14.1	1.0	4.2	0.4
職業に関する学科在学	(316)	24.4	10.1	54.1		4.1	6.6	0.6
その他の専門学科在学	(47)	66.0	2.1	8.5	4.3	19.1		-
総合学科在学	(75)	33.3	30.7	20.0	8.0	8.0		-
<b>高校生保護者</b>								
普通科在学	(530)	67.4		12.5	11.7	3.0	3.0	2.5
職業に関する学科在学	(299)	21.4	18.1	48.2		4.0	7.0	1.3
その他の専門学科在学	(48)	75.0		6.3	4.2	2.1	10.4	2.1
総合学科在学	(64)	35.9	28.1	17.2	9.4	4.7		4.7

各対象者とも「大学や短大に進学」が最も高い割合

高校卒業後の進路について尋ねたところ、各対象者とも「大学や短大に進学したい（してほしい）」の割合が最も高く、平成9年調査と比較しても、各対象者とも「大学や短大に進学したい（してほしい）」の割合が増加した。

在学（希望）学科別にみると、「大学や短大に進学したい（してほしい）」は各対象者とも普通科が約7割と高かったほか、その他の専門学科でも高校生及び高校生保護者では同じような割合となった。また、「専修学校、各種学校に進学したい（してほしい）」は各対象者とも総合学科で高く、約3割となった。

## 12 将来暮らしたい場所

問 12 あなたは、(お子さんが) 高校や大学等を卒業後、将来暮らす場所について、現時点でどのように考えていますか。(%)

	高校生		高校生保護者		中学生保護者		小学生保護者	
回答者数	965		955		916		419	
現在暮らしている市町村で暮らしたい(暮らしてほしい)	10.9		17.7		15.6		17.2	
現在暮らしている市町村に限らないが、県内で暮らしたい(暮らしてほしい)	13.5	36.6	15.8	52.0	11.7	45.2	9.8	43.4
一度は県外に出ても、県内に戻って暮らしたい(暮らしてほしい)	12.2		18.5		17.9		16.5	
将来は、県外で暮らしたい(暮らしてもかまわない)	27.6		5.0		5.5		4.1	
暮らす場所は、県内、県外どちらでもかまわない	21.0		33.1		36.9		36.3	
まだわからない	14.0		7.2		10.3		14.6	
無回答	0.8		2.6		2.2		1.7	

### ■ 全ての対象者で県内志向

高校や大学等を卒業後、将来暮らす場所についてどう考えているか尋ねたところ、「現在暮らしている市町村で暮らしたい(暮らしてほしい)」、「県内で暮らしたい(暮らしてほしい)」、「一度は県外に出ても県内に戻って暮らしたい(暮らしてほしい)」を合わせた割合が、高校生で36.6%、高校生保護者で52.0%、中学生保護者で45.2%、小学生保護者で43.4%となり、いずれも「県外で暮らしたい(暮らしてもかまわない)」の割合より高くなった。

また、「県外で暮らしたい(暮らしてもかまわない)」の割合は高校生の27.6%に対し、各保護者とも5.0%程度と低い割合となった。



### 13 将来就きたい仕事

問13 あなたは、将来、どのような仕事に就きたいと考えていますか。(2つまで) (複数回答、%)

		中学生
回答者数		954
専門的・技術的な仕事	〔 医師、看護師、教員、介護福祉士、保育士、裁判官、記者、カメラマン、システムエンジニア、ゲームクリエイター、俳優など 〕	53.0
事務的な仕事	〔 経理事務員、一般公務員、銀行員、秘書など 〕	17.8
販売の仕事	〔 卸売店主、飲食店主、販売員、生命保険外交員など 〕	7.0
サービスの仕事	〔 理容・美容師、調理師、キャビンアテンダント、通訳、ファッションモデルなど 〕	16.8
保安に関する仕事	〔 自衛官、警察官、海上保安官、警備員など 〕	10.3
農林漁業に関する仕事	〔 米・野菜・果樹の栽培、動物飼育、造園、育林、漁業従事など 〕	6.5
運輸・通信に関する仕事	〔 運転手、航海士、航空機操縦士、航空管制官など 〕	1.9
技能・製造・建設及び労務に関する仕事	〔 鉄鋼、旋盤、自動車整備、印刷、建設機械運転、電気工事、建築、宅配便配達、引越作業など 〕	8.1
その他		5.2
まだ決めていない(わからない)		14.9
無回答		2.1

(参考 平成9年調査)

(複数回答、%)

		中学生
回答者数		998
専門的・技術的な仕事	〔 研究者、教員、技術者、医師、看護婦、栄養士、保育士、裁判官、記者、カメラマン、俳優など 〕	44.5
事務的な仕事	〔 秘書、経理事務員、レジスター、仕入係、電算機オペレーターなど 〕	9.8
販売の仕事	〔 卸売店主、飲食店主、販売員、生命保険外交員など 〕	6.9
サービスの仕事	〔 理容・美容師、調理師、スチュワーデス、通訳、ファッションモデルなど 〕	18.2
保安に関する仕事	〔 自衛官、警察官、海上保安官、警備員など 〕	4.6
農林漁業に関する仕事	〔 米、野菜、果樹の栽培、動物飼育、植木、育林、漁業従事、ほたて養殖など 〕	3.1
運輸・通信に関する仕事	〔 運転手、航海士、航空機操縦士、航空管制官など 〕	1.9
技能・製造・建設及び労務に関する仕事	〔 鉄鋼、旋盤、自動車整備、印刷、建設機械運転、電気工事、建築、配達など 〕	14.6
わからない		20.6
無回答		0.9

図表 33 将来就きたい仕事【希望学科別】

(複数回答、%)

(n)	専門的・技術的な仕事	事務的な仕事	販売の仕事	サービスの仕事	保安に関する仕事	農林漁業に関する仕事	運輸・通信に関する仕事	技能・製造・建設及び労務に関する仕事	その他	まだ決めていない (わからない)	無回答
普通科希望 (556)	59.7	21.0	7.0	16.5	9.4	3.8	1.8	3.2	4.3	14.0	2.0
職業に関する学科希望 (160)	40.0	15.6	10.6	14.4	8.1	13.1	2.5	26.3	5.6	8.1	3.1
その他の専門学科希望 (48)	45.8	10.4	6.3	16.7	16.7	10.4	2.1	-	22.9	8.3	-
総合学科希望 (13)	61.5	23.1	-	38.5	7.7	-	-	-	-	7.7	7.7
希望する学科はない・わからない (97)	47.4	15.5	5.2	21.6	14.4	7.2	2.1	6.2	2.1	26.8	2.1

#### 「専門的・技術的な仕事」が53.0%で最も高い割合

中学生に将来どのような仕事に就きたいか尋ねたところ、「専門的・技術的な仕事」が53.0%で最も高い割合となり、次いで「事務的な仕事」17.8%、「サービスの仕事」16.8%と続いた。

平成9年調査と比較すると「専門的・技術的」、「事務的」、「保安」等が増加し、「技能・製造・建設及び労務」等は減少した。

希望学科別にみると、全ての学科において「専門的・技術的な仕事」の割合が最も高くなった。

## 14 高校で身に付けたいこと

問 14 あなた（お子さん）が、高校で身に付けたい（付けて欲しい）と思うことは何ですか。（○は3つまで）  
（複数回答、%）

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	916	419	139	140	132	94	69	289
進学に必要な学力	61.1	49.5	49.9	52.3	43.9	55.7	61.4	57.4	47.8	6.2
就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー	45.6	45.3	45.1	47.3	31.7	45.0	37.1	12.8	37.7	52.6
グローバル化に対応できる広い視野や語学力	17.4	21.9	22.9	27.7	11.5	13.6	30.3	21.3	42.0	8.0
情報化に対応できるICTを活用する知識や技術	10.3	19.6	21.3	23.2	12.2	11.4	15.9	8.5	10.1	28.0
高齢化社会や福祉についての知識や技術	4.0	3.5	4.4	4.8	1.4	5.7	3.8	6.4	-	2.1
地球環境や自然保護についての知識	3.2	1.4	1.5	1.7	2.9	1.4	1.5	6.4	5.8	1.4
郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度	4.9	8.5	8.2	4.8	35.3	29.3	26.5	22.3	36.2	38.1
自己を理解したり、自分の生き方を主体的に考える態度	28.5	41.6	44.9	39.1	61.2	45.0	48.5	55.3	40.6	27.3
思いやりの心やコミュニケーション力などを含めた人間関係形成力	58.7	73.0	68.2	68.3	82.7	75.7	64.4	73.4	52.2	85.5
健康の保持増進のための実践力	5.9	5.0	4.9	2.1	5.8	2.1	6.1	10.6	2.9	9.0
その他	0.9	0.3	0.3	0.5	2.2	1.4	0.8	7.4	1.4	4.2
無回答	1.5	2.4	2.0	2.9	-	2.1	0.8	2.1	1.4	1.7

（参考 平成9年調査）

（複数回答、%）

	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
家庭や社会の一員として協調する態度	65.5	70.9	68.0	63.4	69.3	63.8	60.5	68.3	78.7
芸術を愛する豊かな感性	4.4	6.5	5.9	7.8	6.3	3.9	13.2	10.8	2.6
運動に親しみ、健康に生活する態度	40.6	40.8	41.4	26.8	18.9	26.0	13.2	22.5	29.0
他人を思いやり、自然や美しいものに感動する心	58.0	60.6	60.2	72.5	57.5	59.1	78.1	62.5	57.1
正義感や公德心、ボランティア精神	29.4	32.9	35.3	45.1	54.3	50.4	49.1	58.3	41.3
自分の生き方を主体的に考える態度	53.2	55.5	57.6	54.2	78.7	72.4	59.6	40.8	25.5
その他	0.4	0.7	0.2	1.3	1.6	1.6	4.4	3.3	2.3
無回答	0.1	1.0	1.0	4.6	-	0.8	-	4.2	0.6

図表 34 高校で身に付けたいこと【在学学科別】

(複数回答、%)

	(n)	進学に必要な学力	就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー	グローバル化に対応できる広い視野や語学力	情報化に対応できるICTを活用する知識や技術	高齢化社会や福祉についての知識や技術	地球環境や自然保護についての知識	郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度	自己を理解したり、自分の生き方を主体的に考える態度	人間関係形成力	思いやりや心やコミュニケーション力などを含めた人間関係形成力	健康の保持増進のための実践力	その他	無回答
<b>【高校生】</b>														
普通科在学	(524)	78.2	30.2	20.4	9.9	5.2	3.2	5.3	29.8	59.2	3.1	0.6	0.8	
職業に関する学科在学	(316)	35.8	74.4	12.3	13.0	2.2	3.2	4.7	25.0	58.9	8.9	0.3	2.2	
その他の専門学科在学	(47)	61.7	29.8	25.5	-	2.1	2.1	2.1	27.7	66.0	12.8	4.3	4.3	
総合学科在学	(75)	49.3	44.0	13.3	6.7	5.3	4.0	2.7	36.0	52.0	9.3	4.0	-	
<b>【高校生保護者】</b>														
普通科在学	(530)	65.1	28.5	24.3	16.4	2.5	0.9	9.2	45.8	75.5	5.3	0.4	1.3	
職業に関する学科在学	(299)	22.1	76.9	14.4	24.4	4.7	2.3	7.4	38.5	72.6	5.7	-	2.0	
その他の専門学科在学	(48)	58.3	29.2	43.8	12.5	2.1	-	10.4	47.9	68.8	-	2.1	2.1	
総合学科在学	(64)	50.0	50.0	21.9	25.0	6.3	1.6	7.8	25.0	65.6	4.7	-	3.1	

「人間関係形成力」、「進学に必要な学力」が高い割合

高校で身に付けたい（付けて欲しい）ことについて尋ねたところ、高校生では「進学に必要な学力」が最も高い割合となったが、その他の対象者では、「人間関係形成力」が最も高い割合となった。また、「郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度」については、高校生、小・中・高校生保護者は低い割合となったが、その他の対象者では比較的高い割合となった。

在学学科別にみると、高校生では普通科在学は「進学に必要な学力」、職業に関する学科在学は「就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー」、その他の専門学科在学、総合学科在学は「人間関係形成力」が最も高い割合となった。高校生保護者では普通科在学、その他の専門学科在学、総合学科在学は「人間関係形成力」、職業に関する学科在学は「就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー」が最も高い割合となった。

## 15 最近の高校生の様子

問 15 あなたは、最近の高校生をどう思いますか。次の（ア）～（キ）についてそれぞれお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）興味・関心が多様化している

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
そう思う	51.1	52.6	45.4	56.8	61.4	50.8	43.6	58.0	48.8
どちらとも いえない	36.5	36.4	41.6	20.1	24.3	35.6	30.9	30.4	32.9
そう思わない	10.5	8.4	9.5	22.3	13.6	13.6	24.5	11.6	17.0
無回答	1.9	2.6	3.5	0.7	0.7	-	1.1	-	1.4

（参考 平成9年調査）

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
そう思う	60.2	64.9	64.9	60.8	66.1	58.3	54.4	65.8	51.9
どちらとも いえない	26.3	23.3	21.9	20.3	18.9	24.4	28.1	20.8	26.1
そう思わない	11.6	10.5	11.8	17.0	14.2	16.5	16.7	8.3	18.4
無回答	1.8	1.2	1.4	2.0	0.8	0.8	0.9	5.0	3.5

（イ）明確な進路意識をもっている

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
そう思う	17.8	14.9	12.6	4.3	8.6	9.8	4.3	11.6	7.3
どちらとも いえない	58.2	62.4	62.8	48.2	60.7	60.6	52.1	66.7	50.2
そう思わない	22.3	20.0	21.1	47.5	30.0	29.5	41.5	21.7	41.5
無回答	1.7	2.7	3.5	-	0.7	-	2.1	-	1.0

（参考 平成9年調査）

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
そう思う	8.5	4.5	5.3	1.3	2.4	3.9	3.5	2.5	3.9
どちらとも いえない	48.9	51.4	44.0	36.6	47.2	43.3	34.2	46.7	42.9
そう思わない	40.7	42.2	48.9	62.1	50.4	52.8	61.4	45.8	50.3
無回答	1.8	1.9	1.8	-	-	-	0.9	5.0	2.9



## (ウ) 生活が規則正しい

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
そう思う	15.5	7.4	6.2	9.4	7.1	6.1	8.5	2.9	9.0
どちらとも いえない	45.3	55.3	54.4	49.6	54.3	45.5	43.6	59.4	51.2
そう思わない	37.3	34.7	35.9	40.3	37.9	48.5	46.8	36.2	38.8
無回答	1.9	2.6	3.5	0.7	0.7	-	1.1	1.4	1.0

(参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
そう思う	7.3	1.8	2.4	1.3	2.4	2.4	3.5	1.7	2.3
どちらとも いえない	41.3	40.1	34.5	35.3	37.0	34.6	43.9	39.2	33.9
そう思わない	49.5	56.2	61.1	63.4	60.6	63.0	50.9	54.2	61.3
無回答	1.8	1.9	2.0	-	-	-	1.8	5.0	2.6

## (エ) 学校生活を楽しんでいる

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
そう思う	58.7	46.4	38.3	55.4	55.7	52.3	35.1	39.1	30.1
どちらとも いえない	35.1	48.0	52.9	42.4	38.6	44.7	54.3	53.6	60.6
そう思わない	4.4	3.2	5.5	1.4	4.3	3.0	9.6	5.8	8.3
無回答	1.8	2.4	3.3	0.7	1.4	-	1.1	1.4	1.0

(参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
そう思う	38.6	24.1	22.9	19.6	21.3	20.5	10.5	22.5	17.4
どちらとも いえない	49.8	59.1	57.0	62.1	58.3	59.8	64.0	58.3	57.7
そう思わない	10.0	15.2	18.3	18.3	20.5	19.7	23.7	14.2	21.6
無回答	1.6	1.5	1.8	-	-	-	1.8	5.0	3.2

## (オ) 学校外の活動に参加している

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
そう思う	16.5	13.5	10.6	12.2	12.1	13.6	9.6	7.2	10.7
どちらとも いえない	49.3	62.3	67.0	43.9	45.7	48.5	55.3	46.4	58.5
そう思わない	32.1	21.7	18.9	43.2	41.4	37.9	34.0	44.9	29.4
無回答	2.0	2.5	3.5	0.7	0.7	-	1.1	1.4	1.4

(参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
そう思う	8.7	7.2	5.5	3.9	2.4	6.3	3.5	5.0	4.5
どちらとも いえない	37.3	47.7	48.5	35.3	42.5	43.3	36.8	37.5	44.2
そう思わない	51.5	43.0	43.6	60.8	55.1	50.4	58.8	51.7	48.4
無回答	2.4	2.1	2.4	-	-	-	0.9	5.8	2.9

## (カ) 礼儀やマナーを身に付けている

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
そう思う	18.6	10.5	8.6	10.1	7.1	8.3	5.3	4.3	7.3
どちらとも いえない	60.6	61.2	56.6	56.1	65.0	69.7	44.7	60.9	53.6
そう思わない	19.0	25.8	31.3	33.1	27.1	22.0	47.9	33.3	38.1
無回答	1.8	2.6	3.5	0.7	0.7	-	2.1	1.4	1.0

(参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
そう思う	7.4	3.3	1.2	0.7	0.8	-	0.9	0.8	3.5
どちらとも いえない	47.9	38.0	33.1	30.7	28.3	34.6	24.6	32.5	29.7
そう思わない	42.7	57.2	64.1	68.0	70.9	65.4	73.7	61.7	64.2
無回答	1.9	1.5	1.6	0.7	-	-	0.9	5.0	2.6

## (キ) 時間的ゆとりがある

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
そう思う	13.9	15.1	15.6	8.6	7.1	6.8	9.6	14.5	29.8
どちらとも いえない	42.1	53.6	54.4	41.7	57.9	44.7	54.3	50.7	47.4
そう思わない	42.4	28.8	26.4	48.9	34.3	48.5	35.1	33.3	21.5
無回答	1.6	2.5	3.5	0.7	0.7	-	1.1	1.4	1.4

## (参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
そう思う	19.0	15.2	16.6	19.0	22.0	18.9	7.0	13.3	25.2
どちらとも いえない	42.3	50.6	51.9	39.9	54.3	48.0	37.7	56.7	46.1
そう思わない	36.9	32.5	29.6	41.2	23.6	33.1	53.5	25.0	25.5
無回答	1.7	1.8	1.8	-	-	-	1.8	5.0	3.2

## (ア)～(キ) まとめ

## 最近の高校生の様子 「そう思う」の割合

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
(ア) 興味・関心が多様化している	51.1	52.6	45.4	56.8	61.4	50.8	43.6	58.0	48.8
(イ) 明確な進路意識をもっている	17.8	14.9	12.6	4.3	8.6	9.8	4.3	11.6	7.3
(ウ) 生活が規則正しい	15.5	7.4	6.2	9.4	7.1	6.1	8.5	2.9	9.0
(エ) 学校生活を楽しんでいる	58.7	46.4	38.3	55.4	55.7	52.3	35.1	39.1	30.1
(オ) 学校外の活動に参加している	16.5	13.5	10.6	12.2	12.1	13.6	9.6	7.2	10.7
(カ) 礼儀やマナーを身に付けている	18.6	10.5	8.6	10.1	7.1	8.3	5.3	4.3	7.3
(キ) 時間的ゆとりがある	13.9	15.1	15.6	8.6	7.1	6.8	9.6	14.5	29.8

## (参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企 業
(ア) 興味・関心が多様化している	60.2	64.9	64.9	60.8	66.1	58.3	54.4	65.8	51.9
(イ) 明確な進路意識をもっている	8.5	4.5	5.3	1.3	2.4	3.9	3.5	2.5	3.9
(ウ) 生活が規則正しい	7.3	1.8	2.4	1.3	2.4	2.4	3.5	1.7	2.3
(エ) 学校生活を楽しんでいる	38.6	24.1	22.9	19.6	21.3	20.5	10.5	22.5	17.4
(オ) 学校外の活動に参加している	8.7	7.2	5.5	3.9	2.4	6.3	3.5	5.0	4.5
(カ) 礼儀やマナーを身に付けている	7.4	3.3	1.2	0.7	0.8	-	0.9	0.8	3.5
(キ) 時間的ゆとりがある	19.0	15.2	16.6	19.0	22.0	18.9	7.0	13.3	25.2

## 「興味・関心が多様化している」、「学校生活を楽しんでいる」は肯定的

最近の高校生をどう思うか尋ねたところ、「(ア) 興味・関心が多様化している」と「(エ) 学校生活を楽しんでいる」について「そう思う」と回答した割合が各対象者で3～5割程度となった。

「(イ) 明確な進路意識をもっている」、「(ウ) 生活が規則正しい」、「(オ) 学校外の活動に参加している」、「(カ) 礼儀やマナーを身に付けている」の割合は全体的に低いが、平成9年調査と比較すると増加傾向となった。

## 16 所属する学科での学習内容（高校生）

問 16 あなたの所属する学科での学習についてうかがいます。ここでは所属する学科ごとにお答えください。

- (1) 普通科、理数科、英語科、外国語科、スポーツ科学科、表現科の方にかがいます。  
あなたは、将来就職したときに役立つような職業に関する科目を高校在学中に学習すべきだと思いますか。 (%)

	高校生
回答者数	571
ぜひ学習すべきである	50.1
学習すべきである	35.7
特に学習する必要はない	6.3
わからない	7.4
無回答	0.5
学習すべき（計）	85.8

(参考 平成9年調査) (%)

	高校生
回答者数	630
ぜひ学習すべきである	32.5
学習すべきである	44.4
特に学習する必要はない	11.1
わからない	11.1
無回答	0.8
学習すべき（計）	77.0

### 普通科などでも職業に関する科目を「学習すべき（計）」は85.8%

普通科などで、将来就職したときに役立つような職業に関する科目を高校在学中に学習すべきと思うかについて尋ねたところ、「ぜひ学習すべきである」と「学習すべきである」を合わせた「学習すべき（計）」の割合は85.8%となった。

平成9年調査と比較すると、「学習すべき（計）」の割合が8.8ポイント増加した。

- (2) 農業、工業、商業、水産、家庭、看護に関する学科の方にかがいます。  
 あなたは、あなたの学科で今後、大学や短大などに進学できるような学習により力を入れることが必要だと思いますか。 (％)

	高校生
回答者数	316
ぜひ必要である	28.5
必要である	33.5
特に必要はない	20.9
わからない	16.1
無回答	0.9
必要（計）	62.0

(参考 平成9年調査) (％)

	高校生
回答者数	343
ぜひ必要である	18.4
必要である	35.3
特に必要はない	27.1
わからない	19.2
無回答	-
必要（計）	53.6

職業に関する学科で大学や短大に進学できるような学習により力を入れることが「必要（計）」は62.0%

職業に関する学科で、今後、大学や短大に進学できるような学習により力を入れることが必要だと思うかについて尋ねたところ、「ぜひ必要である」と「必要である」を合わせた「必要（計）」の割合は62.0%となった。

平成9年調査と比較すると、「必要（計）」の割合が8.4ポイント増加した。

(3) 総合学科の方にかがいます。(ア)・(イ)にお答えください。

(ア) あなたは、今、総合学科に開設されている科目に満足していますか。 (%)

	高校生
回答者数	75
満足している	44.0
だいたい満足している	41.3
あまり満足していない	2.7
不満がある	1.3
わからない	10.7
無回答	-
満足 (計)	85.3
あまり満足していない・不満 (計)	4.0

(参考 平成9年調査) (%)

	高校生
回答者数	20
満足している	35.0
だいたい満足している	40.0
あまり満足していない	5.0
不満がある	-
わからない	15.0
無回答	5.0
満足 (計)	75.0
あまり満足していない・不満 (計)	5.0

### 総合学科で開設されている科目に「満足 (計)」は85.3%

総合学科で開設されている科目について満足しているかについて尋ねたところ、「満足している」と「だいたい満足している」を合わせた「満足 (計)」の割合は85.3%となった。

平成9年調査と比較すると、「満足 (計)」の割合が10.3ポイント増加した。

(イ) さらに学びたい教科・科目には、どのようなものがありますか。

(%)

	高校生
回答者数	75
進学するために必要な教科・科目	22.7
資格取得ができるような教科・科目	30.7
一般的な知識や教養を深めるような教科・科目	21.3
その他	2.7
わからない	18.7
無回答	4.0

(参考 平成9年調査)

(%)

	高校生
回答者数	20
進学するために必要な教科・科目	30.0
資格取得ができるような教科・科目	40.0
一般的な知識や教養を深めるような教科・科目	20.0
その他	-
わからない	5.0
無回答	5.0

総合学科でさらに学びたい教科・科目は「資格取得ができるような教科・科目」が30.7%

総合学科でさらに学びたい教科・科目について尋ねたところ、「資格取得ができるような教科・科目」の30.7%が最も高い割合となり、「進学するために必要な教科・科目」の22.7%、「一般的な知識や教養を深めるような教科・科目」の21.3%と続いた。

平成9年調査と比較すると、「進学」、「資格取得」はともに減少した。

## 17 普通科、専門学科での学習内容（保護者・教員等）

問 17 普通科や農業、工業などの職業に関する学科での学習内容についてうかがいます。次の（ア）、（イ）にお答えください。

（ア）普通科や理数科などの学科でも、将来の就職を考えて、職業に関する科目も学習すべきである。（％）

	高 校 生 保 護 者	高 校 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大 学 ・ 短 大 教 員	企 業
回答者数	955	139	140	132	94	289
そう思う	59.9	43.2	45.7	52.3	42.6	56.1
そう思わない	17.6	47.5	47.1	36.4	44.7	24.6
わからない	18.0	8.6	5.7	10.6	11.7	17.6
無回答	4.5	0.7	1.4	0.8	1.1	1.7

（参考 平成9年調査）

（％）

	高 校 生 保 護 者	高 校 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大 学 ・ 短 大 教 員	企 業
回答者数	983	153	127	127	114	310
そう思う	63.1	45.8	55.9	57.5	39.5	65.8
そう思わない	18.9	47.1	33.1	30.7	50.0	24.8
わからない	16.1	6.5	11.0	11.8	10.5	8.1
無回答	1.9	0.7	-	-	-	1.3

「普通科や理数科などの学科でも、職業に関する科目も学習すべき」は高校生保護者、小学校教員、企業で5割以上

普通科や理数科などの学科でも、職業に関する科目も学習すべきかどうかを尋ねたところ、「そう思う」は高校生保護者で59.9%、小学校教員で52.3%、企業で56.1%、と5割を超えた。一方、「そう思わない」は高校教員で47.5%、中学校教員で47.1%、大学・短大教員で44.7%と高い割合となった。

平成9年調査と比較すると、ほぼ同様の傾向がみられるが、中学校教員では「そう思う」が10.2ポイント減少し、「そう思わない」が14.0ポイント増加した。



(イ) 農業や工業などの職業に関する学科においても、大学や短大等に進学するための学習により力を入れることが必要である。(%)

	高 校 生 保 護 者	高 校 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大 学 ・ 短 大 教 員	企 業
回答者数	955	139	140	132	94	289
そう思う	55.9	54.0	67.9	65.9	63.8	54.7
そう思わない	18.3	26.6	22.9	19.7	22.3	27.0
わからない	20.9	15.1	7.1	13.6	9.6	16.6
無回答	4.8	4.3	2.1	0.8	4.3	1.7

(参考 平成9年調査)

(%)

	高 校 生 保 護 者	高 校 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大 学 ・ 短 大 教 員	企 業
回答者数	983	153	127	127	114	310
そう思う	57.2	61.4	55.9	62.2	50.0	54.5
そう思わない	19.6	26.1	30.7	24.4	37.7	30.0
わからない	19.6	9.2	12.6	12.6	11.4	13.5
無回答	3.6	3.3	0.8	0.8	0.9	1.9

「農業や工業などの職業に関する学科においても、大学や短大等に進学するための学習により力を入れることが必要」は中学校教員、小学校教員、大学・短大教員で6割以上

農業や工業などの職業に関する学科においても、大学や短大等に進学するための学習に力を入れることが必要かどうかを尋ねたところ、「そう思う」は中学校教員で67.9%、小学校教員で65.9%、大学・短大教員で63.8%と6割を超え、そのほかの対象者も5割を超えており、「そう思わない」を大きく上回った。

平成9年調査と比較すると、「そう思う」の割合は高校生保護者と高校教員で減少したが、他の対象者では増加した。

## 18 必要な学習方法

問18 あなたは、高校での学習方法について、今後どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものに○を付けてください。(高校生、高校生保護者は3つまで/他はいくつでも) (複数回答、%)

	高校生	高校生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	企業
回答者数	965	955	139	140	132	94	289
生徒が選択できる科目を多く開設する	44.9	43.4	19.4	30.0	37.1	19.1	34.6
実習や体験学習を多く取り入れる	50.6	50.6	43.9	50.7	59.1	53.2	61.6
教科の学習でICTを活用する	12.0	34.1	26.6	33.6	40.9	30.9	32.2
学習に討論(ディベート)や意見・研究発表(プレゼンテーション)を取り入れる	11.3	34.9	54.0	62.1	57.6	76.6	54.3
個人の学習に対する理解の程度(習熟度)に即した指導形態をとる	36.3	49.4	57.6	57.9	42.4	50.0	29.1
少人数を対象とする指導形態(ゼミナール方式等)を取り入れる	22.4	31.0	53.2	47.1	48.5	34.0	23.9
複数の先生が協力して、一つの授業(チームティーチング)を行う	7.4	20.6	20.9	17.9	20.5	30.9	16.3
授業の中でボランティア活動を行う	16.0	21.4	7.9	19.3	20.5	19.1	28.4
例えば、環境問題などについて、理科や社会など、教科の枠を超えた総合的な学習を行う	7.4	19.5	25.2	15.0	14.4	44.7	29.1
その他	0.6	1.4	5.8	-	0.8	8.5	7.3
無回答	1.8	2.1	0.7	1.4	2.3	1.1	2.1

(参考 平成9年調査)

(複数回答、%)

	高校生	高校生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	企業
回答者数	998	983	153	127	127	114	310
生徒が選択できる科目を多く開設する	55.1	51.5	52.3	49.6	64.6	38.6	50.3
実習や体験学習を多く取り入れる	56.8	56.0	52.3	52.0	77.2	57.0	64.2
教科の学習にコンピュータを取り入れる	49.8	51.2	22.9	22.8	38.6	36.8	42.9
学習に討論(ディベート)や意見・研究発表(プレゼンテーション)を取り入れる	11.2	32.1	45.1	59.1	44.9	72.8	47.4
個人の学習に対する理解の程度(習熟度)に即した指導形態をとる	39.0	43.7	52.9	54.3	43.3	44.7	40.6
小人数を対象とする指導形態(ゼミナール方式)をとる	19.1	29.7	71.9	57.5	48.0	50.0	30.0
複数の先生が協力して、一つの授業(チームティーチング)を行う	9.8	18.0	23.5	30.7	21.3	21.1	11.6
授業の中でボランティア活動を行う	20.9	23.1	8.5	15.0	27.6	11.4	30.0
例えば、環境問題などについて、理科や社会など、教科の枠を超えた総合的な学習を行う	19.4	29.0	45.1	43.3	52.8	57.9	42.6
その他	0.6	0.6	2.6	1.6	2.4	2.6	2.6
無回答	0.9	1.2	-	-	-	-	2.3

高校生、高校生保護者、小学校教員、企業は「実習や体験学習」、中学校教員、大学・短大教員は「ディベートやプレゼンテーション」、高校教員は「理解の程度に即した指導形態」が必要

高校での学習方法について、今後どのようなことが必要か尋ねたところ、高校生、高校生保護者、小学校教員、企業は「実習や体験学習」、中学校教員、大学・短大教員は「ディベートやプレゼンテーション」、高校教員は「理解の程度に即した指導形態」が最も高い割合となった。次に高かったのは、高校生では「選択できる科目を多く開設」、高校生保護者、中学校教員では「理解の程度に即した指導形態」、高校教員、小学校教員、企業では「ディベートやプレゼンテーション」、大学・短大教員では「実習や体験学習」となった。また、「ディベートやプレゼンテーション」、「ICTを活用」、「チームティーチング」、「教科の枠を超えた総合的な学習」は高校生では比較的割合が低くなった。

平成9年調査と比較すると、「選択できる科目を多く開設」の割合が全体的に減少しており、小・中・高校教員、企業では大幅に減少した。

## 19 高校教員に望むこと

問 19 あなたは、高校の先生に対してどのようなことを望みますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は3つまで) (複数回答、%)

	高校生	大学・短大教員
回答者数	965	94
わかりやすい授業をする	85.6	71.3
教科の専門性を深める	20.1	27.7
生徒との触れあいを大切にする	36.1	48.9
生徒の悩みや相談に親切に対応する	28.0	46.8
部活動の指導に努力する	21.7	3.2
生徒指導に努力する	4.1	23.4
進路指導に努力する	25.7	25.5
その他	2.2	5.3
無回答	0.9	4.3

(参考 平成9年調査)

(複数回答、%)

	高校生	大学・短大教員
回答者数	998	114
わかりやすい授業をする	80.0	78.1
教科の専門性を深める	18.5	32.5
生徒との触れあいを大切にする	47.2	61.4
生徒の悩みや相談に親切に対応する	34.4	50.9
部活動の指導に努力する	19.5	4.4
生徒指導や生活指導に努力する	5.4	22.8
進路指導に努力する	20.5	8.8
その他	2.2	6.1
無回答	2.0	-

### ■ 高校生の85.6%が「わかりやすい授業」を希望

高校の先生に対してどのようなことを望むか尋ねたところ、高校生、大学・短大教員とも割合が高い順に、「わかりやすい授業」、「生徒との触れあいを大切にする」、「生徒の悩みや相談に親切に対応する」となった。特に「わかりやすい授業」の割合は突出して高くなった。

平成9年調査と比較すると、全体的にほぼ同じ傾向にある中、「進路指導に努力する」については大学・短大教員で割合が高くなった。

## 《 新しいタイプの高校の必要性等 》

### 20 導入済みの新しいタイプの高校に対する考え方

問 20 県立高等学校教育改革の取組の一つとして導入した新しいタイプの高校や教育制度について、どのように考えますか。次の（ア）～（キ）のそれぞれについてお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）ひとつの学科の中で、普通科目のほか、希望や進路に応じて、多くの科目を総合的に学ぶことができる高校。現在、東青、西北、中南、上北、下北地区の計6校に導入している。（総合学科）（%）

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
増やすべきである	32.6	37.7	50.9	51.5	10.8	22.9	37.9	23.4	33.3	45.3
現状どおりでよい	46.0	40.5	31.5	28.2	55.4	60.7	45.5	42.6	46.4	32.2
減らすべきである	0.4	1.6	0.9	0.2	23.0	3.6	3.0	10.6	15.9	1.7
わからない	19.6	18.2	15.5	18.9	10.1	11.4	12.1	23.4	4.3	19.0
無回答	1.3	2.0	1.2	1.1	0.7	1.4	1.5	-	-	1.7

（イ）複数の学科が設置され、自分が学んでいる学科以外の学科の科目も自由に選択できる高校。現在、中南地区の1校に導入している。（総合選択制）（%）

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
増やすべきである	42.8	42.7	51.5	54.8	16.5	35.0	37.1	40.4	37.7	48.4
現状どおりでよい	36.2	32.5	26.4	22.2	44.6	38.6	38.6	20.2	34.8	24.2
減らすべきである	1.0	1.0	1.0	0.2	16.5	5.0	1.5	10.6	13.0	1.7
わからない	18.5	21.6	19.6	21.4	21.6	20.0	21.2	28.7	14.5	23.9
無回答	1.5	2.2	1.5	1.3	0.7	1.4	1.5	-	-	1.7

（ウ）学年の区別がなく、入学から卒業までに、決められた単位をとれば卒業できる全日制普通科の高校。現在、東青、中南、三八地区の3校に導入している。（全日制普通科単位制高校）（%）

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
増やすべきである	21.5	13.9	18.7	20.0	14.4	18.6	21.2	25.5	26.1	21.8
現状どおりでよい	52.5	53.1	46.1	47.8	55.4	54.3	49.2	34.0	46.4	37.0
減らすべきである	3.2	3.4	3.7	3.5	18.0	11.4	4.5	12.8	11.6	9.0
わからない	21.5	27.6	30.1	26.7	11.5	14.3	23.5	27.7	15.9	30.4
無回答	1.3	2.0	1.5	2.0	0.7	1.4	1.5	-	-	1.7

(エ) 6年間の計画的かつ継続的な一貫した教育指導を行うことにより、生徒の資質・能力を最大限に伸長し、進路希望の達成を目指す高校。現在、上北地区の1校に導入している。(併設型中高一貫教育) (%)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
増やすべきである	24.1	27.9	33.8	35.7	28.1	26.4	27.3	52.1	37.7	38.1
現状どおりでよい	49.7	41.0	37.1	36.6	39.6	45.7	44.7	21.3	42.0	27.7
減らすべきである	2.1	2.5	2.0	1.8	14.4	11.4	4.5	4.3	8.7	4.2
わからない	22.6	26.7	25.4	24.7	17.3	15.0	22.0	22.3	10.1	28.4
無回答	1.5	1.9	1.7	1.3	0.7	1.4	1.5	-	1.4	1.7

(オ) 市町村立中学校と県立高校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める形で中高一貫教育を実施する高校。現在、三八地区の1校に導入している。(連携型中高一貫教育) (%)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
増やすべきである	21.0	27.2	29.5	32.2	17.3	25.7	25.0	50.0	40.6	39.8
現状どおりでよい	50.7	39.4	39.1	35.9	44.6	37.1	47.0	21.3	39.1	30.1
減らすべきである	2.8	2.7	2.7	2.4	20.1	17.9	3.8	6.4	11.6	3.8
わからない	23.7	28.6	27.2	28.0	15.1	17.9	22.7	22.3	8.7	24.9
無回答	1.8	2.1	1.5	1.5	2.9	1.4	1.5	-	-	1.4

(カ) 複数の学科をまとめて募集し、入学後にガイダンス等を行って、生徒が希望学科を選択する募集方法。現在、商業高校3校と理数科を置く高校の計4校で導入している。(くくり募集) (%)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
増やすべきである	21.2	28.2	28.2	30.2	25.2	42.1	36.4	28.7	36.2	33.2
現状どおりでよい	53.0	45.1	44.4	40.7	51.8	40.0	45.5	34.0	46.4	34.6
減らすべきである	1.7	2.1	1.6	2.0	10.8	7.1	2.3	6.4	4.3	4.2
わからない	22.7	22.7	24.3	25.6	9.4	9.3	14.4	30.9	11.6	27.0
無回答	1.5	1.9	1.6	1.5	2.9	1.4	1.5	-	1.4	1.0

(キ) 午前部、午後部、夜間部等を設定することにより、生徒の生活パターン等に合わせた科目の履修が可能となる定時制高校。定時制課程においても、3年間で卒業することができる。現在、東青、中南、三八地区の3校に導入している。(多部制の定時制高校) (％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
増やすべきである	22.3	19.0	17.7	18.7	20.9	23.6	26.5	26.6	23.2	24.2
現状どおりでよい	53.8	60.7	58.5	57.0	68.3	66.4	57.6	50.0	63.8	43.3
減らすべきである	2.7	2.2	2.2	2.2	2.9	2.9	3.0	4.3	5.8	5.2
わからない	19.9	16.1	20.2	20.5	5.0	3.6	11.4	18.1	5.8	26.3
無回答	1.3	2.0	1.4	1.5	2.9	3.6	1.5	1.1	1.4	1.0

(ア)～(キ)のまとめ

導入済みの新しいタイプの高校に対する考え方 「増やすべきである」の割合 (％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
(ア) 総合学科	32.6	37.7	50.9	51.5	10.8	22.9	37.9	23.4	33.3	45.3
(イ) 総合選択制	42.8	42.7	51.5	54.8	16.5	35.0	37.1	40.4	37.7	48.4
(ウ) 全日制普通科単位制高校	21.5	13.9	18.7	20.0	14.4	18.6	21.2	25.5	26.1	21.8
(エ) 併設型中高一貫教育	24.1	27.9	33.8	35.7	28.1	26.4	27.3	52.1	37.7	38.1
(オ) 連携型中高一貫教育	21.0	27.2	29.5	32.2	17.3	25.7	25.0	50.0	40.6	39.8
(カ) くくり募集	21.2	28.2	28.2	30.2	25.2	42.1	36.4	28.7	36.2	33.2
(キ) 多部制の定時制高校	22.3	19.0	17.7	18.7	20.9	23.6	26.5	26.6	23.2	24.2

### 項目によって各対象者で「増やすべき」の割合に開き

導入済みの新しいタイプの高校や制度について、どのように考えるか尋ねたところ、「(ア) 総合学科」、「(イ) 総合選択制」について「増やすべきである」とする割合が小・中学生保護者で5割を超えた一方、高校教員は2割に満たなかった。

「(ウ) 全日制普通科単位制高校」の「増やすべきである」の割合は、各対象者とも1～2割程度となった。

「(エ) 併設型中高一貫教育」と「(オ) 連携型中高一貫教育」については、大学・短大教員が5割を超え、「(カ) くくり募集」は中学校教員でやや高く、「(キ) 多部制の定時制高校」は各対象者とも2割程度であった。

## 21 未導入の新しいタイプの高校の必要性

問21 あなたは、次にあげる新しいタイプの学校の設置や仕組みを導入することについて、どのように考えますか。次の（ア）～（カ）についてそれぞれお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）複数の職業に関する専門学科が設置され、興味・関心、進路志望等に応じて他の学科の内容を学べる高校。（総合産業高校・総合技術高校） (％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	47.6	39.2	48.1	44.9	18.0	32.9	34.8	29.8	29.0	33.9
どちらかといえば必要である	32.1	40.8	37.5	41.4	44.6	49.3	50.8	36.2	52.2	40.8
どちらかといえば必要でない	2.9	6.1	2.4	2.0	17.3	7.9	3.8	10.6	8.7	5.9
必要でない	1.1	2.0	1.4	0.9	10.1	2.1	3.0	8.5	4.3	3.5
わからない	14.5	9.3	9.2	9.0	6.5	5.7	6.8	12.8	2.9	13.8
無回答	1.8	2.6	1.5	1.8	3.6	2.1	0.8	2.1	2.9	2.1
必要（計）	79.7	80.0	85.5	86.3	62.6	82.1	85.6	66.0	81.2	74.7
必要ない（計）	4.0	8.1	3.8	2.9	27.3	10.0	6.8	19.1	13.0	9.3

（イ）6年間にわたって継続して学習することができる、中学校と高校を一体化した学校。（中等教育学校） (％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	24.0	17.8	22.8	20.9	19.4	20.0	16.7	26.6	29.0	20.1
どちらかといえば必要である	29.1	31.5	33.3	31.9	30.2	32.9	33.3	33.0	39.1	31.8
どちらかといえば必要でない	17.9	20.4	17.4	15.9	22.3	21.4	20.5	16.0	17.4	18.3
必要でない	7.8	7.6	4.6	7.3	14.4	15.0	13.6	6.4	4.3	6.9
わからない	19.4	20.5	20.5	22.7	10.1	8.6	15.2	18.1	7.2	20.8
無回答	1.8	2.1	1.4	1.3	3.6	2.1	0.8	-	2.9	2.1
必要（計）	53.2	49.3	56.1	52.9	49.6	52.9	50.0	59.6	68.1	51.9
必要ない（計）	25.7	28.1	22.0	23.1	36.7	36.4	34.1	22.3	21.7	25.3



(ウ) 全員が寮に入り、共に生活をする中で、友情や連帯の心を育てる学習を行う高校。(全寮制高校)  
(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	16.6	4.5	4.2	4.2	1.4	7.1	2.3	6.4	10.1	9.3
どちらかといえば 必要である	28.8	13.6	14.2	11.9	13.7	15.7	12.1	19.1	21.7	16.6
どちらかといえば 必要でない	19.9	33.9	32.5	34.8	27.3	27.9	33.3	22.3	34.8	28.7
必要でない	14.1	29.3	28.5	28.9	46.0	35.0	40.9	31.9	21.7	23.2
わからない	18.8	16.4	19.4	18.7	8.6	12.1	10.6	20.2	10.1	20.8
無回答	1.9	2.2	1.3	1.5	2.9	2.1	0.8	-	1.4	1.4
必要(計)	45.4	18.1	18.4	16.1	15.1	22.9	14.4	25.5	31.9	26.0
必要ない(計)	34.0	63.2	60.9	63.7	73.4	62.9	74.2	54.3	56.5	51.9

(エ) 自分が学びたい教科・科目が自分の学校にない場合に、その教科・科目を他の高校に行って学習できるようにする仕組。(学校間連携)  
(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	26.7	14.0	19.1	19.2	7.9	12.9	14.4	23.4	11.6	15.2
どちらかといえば 必要である	28.8	32.0	37.0	35.9	25.9	32.9	36.4	35.1	42.0	31.8
どちらかといえば 必要でない	15.0	19.4	14.7	16.3	29.5	22.9	24.2	20.2	20.3	23.9
必要でない	9.2	15.1	11.3	9.5	26.6	22.9	13.6	11.7	15.9	13.1
わからない	18.4	16.9	16.5	17.4	7.2	6.4	10.6	9.6	8.7	14.2
無回答	1.8	2.6	1.5	1.8	2.9	2.1	0.8	-	1.4	1.7
必要(計)	55.5	46.1	56.0	55.1	33.8	45.7	50.8	58.5	53.6	47.1
必要ない(計)	24.2	34.5	26.0	25.8	56.1	45.7	37.8	31.9	36.2	37.0

(オ) 高校に在学しながら、専修学校で詳しく学習し、それを高校の単位として認めてもらう仕組み。(専修学校の学習成果の単位認定)

(%)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	31.0	16.3	23.6	20.5	7.9	12.9	15.9	14.9	11.6	19.4
どちらかといえば必要である	32.1	35.2	41.2	46.5	36.7	39.3	43.2	28.7	44.9	35.3
どちらかといえば必要でない	9.5	14.0	8.7	10.4	28.1	20.0	18.2	24.5	24.6	14.9
必要でない	3.7	8.4	6.4	3.7	18.0	10.7	5.3	17.0	10.1	10.4
わからない	21.9	23.8	18.8	17.4	6.5	15.0	16.7	13.8	7.2	18.7
無回答	1.8	2.3	1.4	1.5	2.9	2.1	0.8	1.1	1.4	1.4
必要(計)	63.1	51.5	64.7	67.0	44.6	52.1	59.1	43.6	56.5	54.7
必要ない(計)	13.3	22.4	15.1	14.1	46.0	30.7	23.5	41.5	34.8	25.3

(カ) 保護者・地域住民が、一定の権限と責任をもって、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりして、学校の様々な課題解決に参画していく仕組みの学校。(コミュニティ・スクール)

(%)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	16.6	9.0	10.4	10.1	8.6	10.7	15.2	27.7	17.4	17.3
どちらかといえば必要である	27.7	31.4	32.0	30.4	31.7	34.3	33.3	29.8	30.4	27.0
どちらかといえば必要でない	18.0	20.3	19.0	21.4	33.1	20.0	25.0	11.7	30.4	21.8
必要でない	9.1	10.2	9.6	7.9	18.0	17.9	12.9	14.9	15.9	14.9
わからない	26.9	26.8	27.5	28.4	7.2	15.0	12.1	14.9	4.3	17.6
無回答	1.7	2.3	1.5	1.8	1.4	2.1	1.5	1.1	1.4	1.4
必要(計)	44.2	40.4	42.4	40.5	40.3	45.0	48.5	57.4	47.8	44.3
必要ない(計)	27.2	30.5	28.6	29.3	51.1	37.9	37.9	26.6	46.4	36.7

(ア)～(カ)のまとめ  
未導入の新しいタイプの高校の必要性 「必要(計)」の割合 (%)

	高 校 生	高 校 生 保 護 者	中 学 生 保 護 者	小 学 生 保 護 者	高 校 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大 学 ・ 短 大 教 員	市 町 村 関 係 者	企 業
(ア) 総合産業高校・ 総合技術高校	79.7	80.0	85.5	86.3	62.6	82.1	85.6	66.0	81.2	74.7
(イ) 中等教育学校	53.2	49.3	56.1	52.9	49.6	52.9	50.0	59.6	68.1	51.9
(ウ) 全寮制高校	45.4	18.1	18.4	16.1	15.1	22.9	14.4	25.5	31.9	26.0
(エ) 学校間連携	55.5	46.1	56.0	55.1	33.8	45.7	50.8	58.5	53.6	47.1
(オ) 専修学校の学習 成果の単位認定	63.1	51.5	64.7	67.0	44.6	52.1	59.1	43.6	56.5	54.7
(カ) コミュニティ・ スクール	44.2	40.4	42.4	40.5	40.3	45.0	48.5	57.4	47.8	44.3

「総合産業高校・総合技術高校」が全ての対象者で最も高い割合

未導入の新しいタイプの高校の設置や仕組みを導入することについて、どのように考えるか尋ねたところ、「(ア) 総合産業高校・総合技術高校」、「(イ) 中等教育学校」、「(オ) 専修学校の学習成果の単位認定」については、ほとんどの対象者で「必要(計)」の割合が5割を超え、特に小・中・高校生保護者、小・中学校教員、市町村関係者では、「(ア) 総合産業高校・総合技術高校」を「必要(計)」とした割合は8割を超えた。

一方、「(ウ) 全寮制高校」については、高校生が4割を超えたものの、その他の対象者では1～3割程度となった。

## 22 募集人員を増やして欲しい学科

問 22 現在ある県立高校の学科の中で、今後、募集する人員を増やして希望者がもっと入学できるようにした方がよいと思う学科はどの学科ですか。(〇は3つまで) (複数回答、%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高 校 員	中学校 教 員	小学校 教 員	大学・短 大 教 員	市町村 関係者	企 業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
普通科	54.3	34.7	42.7	44.7	50.4	53.6	52.3	43.6	42.0	18.7
農業に関する学科	12.6	10.7	9.7	12.3	20.1	12.9	15.2	22.3	24.6	26.0
工業に関する学科	19.9	19.7	20.3	21.4	23.0	19.3	21.2	14.9	21.7	30.1
商業に関する学科	13.9	13.4	22.3	15.4	13.7	6.4	7.6	1.1	11.6	17.0
水産に関する学科	4.6	3.5	2.7	2.2	2.2	2.9	5.3	6.4	7.2	8.3
家庭に関する学科	6.1	7.1	5.7	7.0	5.8	5.7	0.8	12.8	2.9	3.5
看護科	20.5	35.7	29.1	35.0	18.7	34.3	19.7	16.0	29.0	22.5
理数科	7.5	8.0	10.8	10.6	10.1	15.0	18.9	19.1	21.7	12.8
スポーツ科学科	11.7	11.4	16.5	14.3	10.8	10.7	6.8	8.5	14.5	11.4
英語科	13.0	17.9	19.8	20.3	7.9	12.9	24.2	19.1	24.6	20.8
外国語科	15.2	22.5	20.3	24.0	7.2	15.7	30.3	22.3	20.3	21.8
表現科	5.1	2.9	3.9	5.3	1.4	5.7	2.3	13.8	4.3	3.1
総合学科	15.9	27.4	30.2	31.3	8.6	20.0	23.5	22.3	21.7	24.9
無回答	2.2	5.3	2.9	3.7	5.8	4.3	3.0	6.4	-	-

(参考 平成9年調査)

(複数回答、%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高 校 員	中学校 教 員	小学校 教 員	大学・短 大 教 員	市町村 関係者	企 業
回答者数	998	983	969	493	153	127	127	114	120	310
普通科	40.2	26.7	34.3	34.9	36.6	29.9	30.7	33.3	31.7	21.0
農業に関する学科	12.4	7.7	8.8	7.9	3.9	0.8	11.0	7.9	20.0	11.6
工業に関する学科	21.4	15.6	19.1	19.3	7.2	9.4	12.6	8.8	31.7	22.9
商業に関する学科	17.0	13.4	14.8	16.2	3.3	7.9	7.1	0.9	14.2	20.3
水産に関する学科	5.4	4.2	5.2	5.5	1.3	1.6	6.3	6.1	15.0	7.4
家庭に関する学科	11.6	10.6	10.1	10.3	3.9	11.8	5.5	5.3	12.5	7.7
衛生看護科	26.4	34.3	32.7	36.3	18.3	26.0	23.6	25.4	35.0	30.0
理数科	14.3	11.3	14.9	17.2	13.1	17.3	19.7	17.5	28.3	11.6
人文学科	9.9	5.7	4.4	4.7	5.2	14.2	6.3	7.0	11.7	4.5
英語科・外国語科	27.4	36.8	42.9	43.6	26.1	33.9	44.9	33.3	55.8	43.2
総合学科	19.1	28.5	32.4	30.0	40.5	52.0	43.3	41.2	53.3	31.6
その他の学科	2.3	1.6	1.3	1.0	3.3	4.7	3.1	3.5	1.7	2.3
わからない	14.5	12.8	10.4	9.9	11.8	6.3	13.4	14.0	4.2	15.2
無回答	0.7	2.1	1.9	0.6	3.3	3.9	1.6	1.8	4.2	2.6

図表 35 募集人員を増やして欲しい学科【在学学科別】

(複数回答、%)

(n)	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	看護科	理数科	スポーツ科学科	英語科	外国語科	表現科	総合学科	無回答
<b>【高校生】</b>														
普通科在学 (524)	67.4	9.5	12.4	10.7	3.2	4.2	22.5	9.0	9.5	15.1	16.0	4.6	11.8	1.7
職業に関する学科在学 (316)	40.2	19.3	37.3	20.6	6.0	8.5	17.7	4.7	12.7	8.5	13.0	4.7	14.2	2.8
その他の専門学科在学 (47)	34.0	4.3	6.4	10.6	4.3	4.3	14.9	19.1	23.4	27.7	21.3	14.9	8.5	2.1
総合学科在学 (75)	37.3	10.7	8.0	10.7	6.7	10.7	22.7	1.3	14.7	8.0	16.0	4.0	54.7	1.3
<b>【高校生保護者】</b>														
普通科在学 (530)	40.9	9.1	14.9	10.9	2.8	5.8	35.8	10.0	10.0	19.2	26.0	2.6	25.7	5.5
職業に関する学科在学 (299)	27.1	14.7	31.4	19.7	4.3	11.0	36.8	4.7	11.7	13.7	17.7	2.7	28.1	3.7
その他の専門学科在学 (48)	18.8	10.4	16.7	6.3	4.2	4.2	37.5	12.5	22.9	29.2	33.3	4.2	22.9	2.1
総合学科在学 (64)	31.3	6.3	7.8	10.9	4.7	1.6	31.3	4.7	14.1	20.3	12.5	6.3	43.8	6.3

高校生保護者は「看護科」、企業は「工業に関する学科」、そのほかの対象者は「普通科」を増やすべき

現在ある県立高校の学科の中で、募集人員を増やした方がよいと思う学科について尋ねたところ、高校生保護者では「看護科」が、企業では「工業に関する学科」の割合が最も高く、それ以外を対象者では「普通科」の割合が最も高かった。また、平成9年調査と比較すると、普通科の割合がほぼ全ての対象者で増加した。

在学学科別にみると、高校生では普通科在学、職業に関する学科在学、その他の専門学科在学で「普通科」の割合が最も高く、総合学科在学では「総合学科」が最も高い割合となった。高校生保護者では普通科在学が「普通科」、職業に関する学科在学、その他の専門学科在学では「看護科」、総合学科在学では「総合学科」が最も高い割合となった。

## 23 大学・短大にとって望まれる高校生のタイプ

問 23 あなたは、あなたの大学・短大にどのようなタイプの高校生が入学してくることを望みますか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○は2つまで) (複数回答、%)

	大学・短大教員
回答者数	94
幅広く科目を学んでいる生徒	46.8
特定の科目に秀でている生徒	4.3
個性的な発想ができる生徒	30.9
学業以外にも何か優れた特技や知識を持っている生徒	18.1
大学生活に対する明確な目的意識を持っている生徒	77.7
その他	6.4
わからない	1.1
無回答	-

(参考 平成9年調査)

(複数回答、%)

	大学・短大教員
回答者数	114
幅広く科目を学んでいる生徒	28.9
特定の科目に秀でている生徒	7.9
個性的な発想ができる生徒	48.2
学業以外にも何か優れた特技や知識を持っている生徒	20.2
大学生活に対する明確な目的意識を持っている生徒	81.6
その他	5.3
わからない	-
無回答	-

### 「大学生活に対する明確な目的意識を持っている生徒」が77.7%

大学・短大教員にどのようなタイプの高校生が入学してくることを望むかを尋ねたところ、平成9年調査と同様に、「大学生活に対する明確な目的意識を持っている生徒」の割合が最も高く77.7%であった。また、前回調査と比べ「個性的な発想ができる生徒」の割合は17.3ポイント減少し、「幅広く科目を学んでいる生徒」の割合は17.9ポイント増加した。「特定の科目に秀でている生徒」の割合は4.3%と前回調査と同様に低かった。



# 《 高校の規模等に関する考え方 》

## 24 望ましい高校規模

問24 あなたは、高校の規模として、1学年何学級くらいが望ましいと思いますか。 (％)

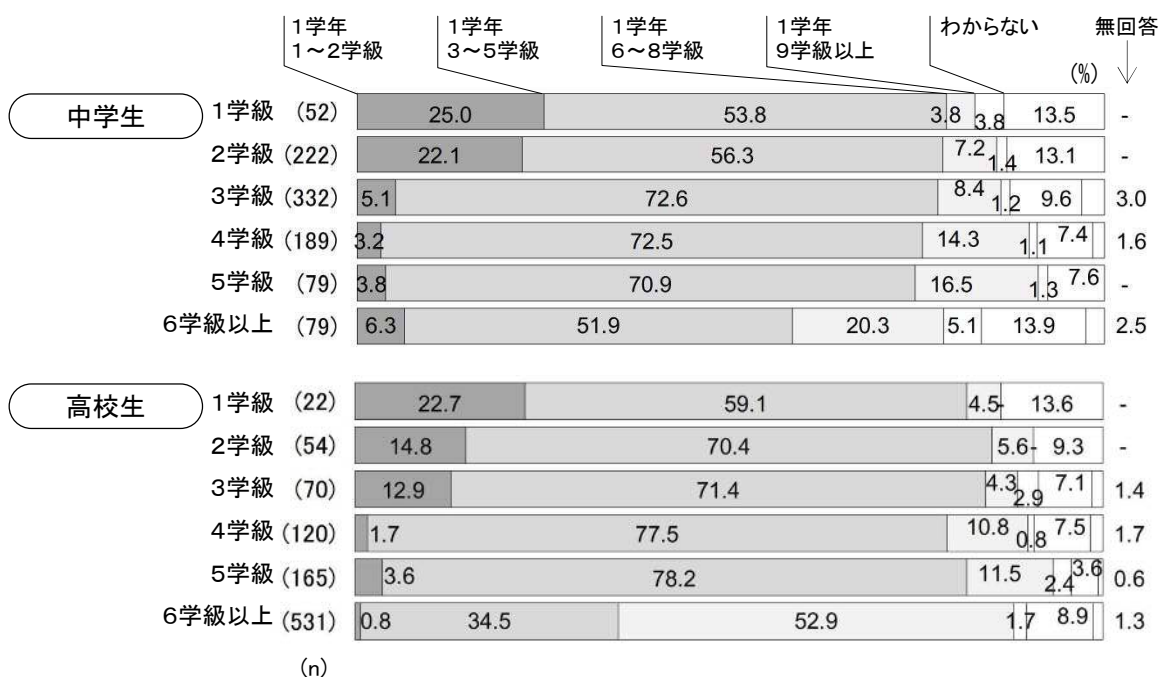
	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	954	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
1学年1～2学級	9.7	3.5	2.6	3.5	4.8	0.7	-	-	4.3	10.1	1.7
1学年3～5学級	65.9	52.6	54.6	56.9	56.8	63.3	49.3	45.5	52.1	62.3	56.4
1学年6～8学級	10.7	33.2	29.0	26.4	20.9	32.4	41.4	43.9	17.0	21.7	22.8
1学年9学級以上	1.7	1.7	0.2	0.7	-	-	1.4	2.3	2.1	-	0.3
わからない	10.4	7.8	11.0	9.9	14.3	2.9	6.4	7.6	22.3	5.8	17.3
無回答	1.6	1.2	2.6	2.6	3.1	0.7	1.4	0.8	2.1	-	1.4

(参考 平成9年調査)

(％)

	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	998	998	983	969	493	153	127	127	114	120	310
1学年1～2学級	6.9	4.8	4.8	3.8	4.3	0.7	0.8	2.4	2.6	10.0	4.5
1学年3～5学級	47.9	36.9	50.8	55.7	61.3	62.1	57.5	59.8	60.5	65.8	61.3
1学年6～8学級	27.3	40.3	25.6	24.9	19.1	33.3	35.4	26.0	15.8	19.2	19.4
1学年9学級以上	4.0	10.3	3.1	2.6	1.6	1.3	-	1.6	-	-	1.0
わからない	13.6	7.5	14.3	12.5	13.6	2.0	6.3	10.2	19.3	4.2	12.9
無回答	0.3	0.2	1.4	0.5	0.2	0.7	-	-	1.8	0.8	1.0

図表 36 望ましい高校規模【学校の規模別】





図表 37 望ましい高校規模【居住地（市部・郡部）別】

		(n)	1学年 1～2学級	1学年 3～5学級	1学年 6～8学級	1学年 9学級以上	わからない	無回答	
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
中学生	市部	(726)	5.4	68.0		12.4	1.8	10.5	1.9
	郡部	(226)	23.5	59.3		5.3	1.3	10.2	0.4
高校生	市部	(693)	2.5	50.2		36.8	1.9	7.6	1.0
	郡部	(259)	6.6	59.5		23.6	1.2	7.7	1.5
市町村関係者	市部	(22)	4.5	59.1		31.8		4.5	-
	郡部	(46)	13.0	63.0		17.4		6.5	-

(参考 平成9年調査)

		(n)	1学年 1～2学級	1学年 3～5学級	1学年 6～8学級	1学年 9学級以上	わからない	無回答	
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
中学生	市部	(639)	5.2	42.3		34.9	4.4	12.8	0.5
	郡部	(351)	9.7	58.1		13.4	3.4	15.4	-
高校生	市部	(576)	3.0	31.9		46.4	11.3	7.3	0.2
	郡部	(415)	7.5	43.9		31.8	9.2	7.5	0.2
市町村関係者	市部	(13)		53.8		38.5		7.7	-
	郡部	(107)	11.2	67.3		16.8		3.7	0.9

### 全ての対象者で「3～5学級」が最も高い割合

高校の規模として、1学年何学級くらいが望ましいか尋ねたところ、全ての対象者で「3～5学級」が最も高い割合となり、次いで大学・短大教員を除く全ての対象者で「6～8学級」が高くなった。一方、「1～2学級」、「9学級以上」は低い割合となった。

平成9年調査との比較では、ほぼ同様の傾向がみられるが、高校生の「6～8学級」が前回調査では最も高く40.3%だったのに対し、今回の調査では33.2%と7.1ポイント減少し、また、「3～5学級」が前回調査と比べて15.7ポイント増加した。

学校の規模別にみると、全体的に「3～5学級」が高い割合となったが、高校生の6学級以上では「6～8学級」の割合が最も高かった。

居住地別にみると、「1～2学級」の割合は、各対象者とも市部より郡部の方が高く、特に郡部に居住する中学生では23.5%となった。

平成9年調査と比較すると、郡部に居住する市町村関係者を除く全ての対象者で「3～5学級」を望ましいとする割合が増えた一方、「6～8学級」の割合は減少し、特に市部に居住する中学生では34.9%から12.4%と22.5ポイント減少した。

## 25 高校の規模・配置に関する考え方

問 25 県教育委員会では、生徒の多様な進路志望に対応する教科・科目を開設したり、多彩な学校行事を展開したり、様々な部活動を設置したりするには、ある程度の規模を維持することが望ましいと考え、これまでいくつかの高校の規模を見直したり、統廃合してきました。今後の高校の規模の在り方について、あなたはどのように考えますか。(%)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	454	139	140	132	94	69	289
ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい	23.0	26.2	29.5	30.8	51.8	50.7	45.5	52.1	52.2	55.0
小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい	50.6	57.5	54.3	49.8	46.0	42.9	47.0	35.1	42.0	33.2
わからない	24.7	13.8	13.6	16.3	1.4	5.7	6.8	11.7	4.3	10.7
無回答	1.8	2.5	2.5	3.1	0.7	0.7	0.8	1.1	1.4	1.0

(参考 平成9年調査)

問 今後、出生数の減少に伴って、中学校卒業生数が相当少なくなることが予想されます。このため、高校の規模を見直したり、廃止や合併することも考えられます。このことについて、あなたは、どのように考えますか。(%)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	998	983	969	493	153	127	127	114	120	310
現在ある高校は、それぞれの地域で重要な役割を担っているため、生徒数が減ってもできるだけ残すべきである	61.8	73.0	70.6	71.8	58.8	65.4	67.7	47.4	53.3	48.1
交通手段や寄宿舎など、ほかの学校へ通えるならば、生徒数の減った学校は廃止してもやむを得ない	19.7	16.3	19.3	17.4	31.4	26.8	25.2	39.5	38.3	32.6
生徒数が少なくなった学校は廃止すべきである	5.5	3.2	2.8	3.2	6.5	5.5	3.9	6.1	7.5	13.5
その他	0.2	0.5	0.2	0.2	-	-	0.8	1.8	-	1.6
わからない	11.5	6.0	6.1	6.1	2.6	1.6	2.4	4.4	-	3.2
無回答	1.2	1.0	1.0	1.2	0.7	0.8	-	0.9	0.8	1.0

図表 38 高校の規模・配置に関する考え方【居住地（市部・郡部）別】

		ある程度の規模を維持するためには、 高校を統廃合した方がよい			小規模化したとしても、できる だけ高校を残した方がよい			わからない	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)		
高校生	市部 (693)	23.2	50.2	24.7	1.9				
	郡部 (259)	22.0	52.1	24.7	1.2				
高校生保護者	市部 (701)	26.8	55.9	15.1	2.1				
	郡部 (237)	23.2	65.0	10.1	1.7				

(n)

図表 39 高校の規模・配置に関する考え方【学校の規模別、子どもの学校の規模別】

		ある程度の規模を維持するためには、 高校を統廃合した方がよい			小規模化したとしても、できる だけ高校を残した方がよい			わからない	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)		
高校生	1学級 (22)	31.8	36.4	31.8	-				
	2学級 (54)	20.4	53.7	24.1	1.9				
	3学級 (70)	18.6	61.4	18.6	1.4				
	4学級 (120)	23.3	47.5	28.3	0.8				
	5学級 (165)	20.6	46.7	30.9	1.8				
	6学級以上 (531)	24.1	51.4	22.6	1.9				
高校生保護者	1学級 (30)	16.7	70.0	13.3	-				
	2学級 (104)	22.1	53.8	19.2	4.8				
	3学級 (57)	12.3	78.9	8.8	-				
	4学級 (124)	18.5	64.5	14.5	2.4				
	5学級 (154)	19.5	67.5	11.0	1.9				
	6学級以上 (470)	33.8	50.2	14.3	1.7				
中学生保護者	1学級 (43)	18.6	58.1	16.3	7.0				
	2学級 (230)	32.6	53.5	10.4	3.5				
	3学級 (322)	30.7	55.3	11.8	2.2				
	4学級 (177)	29.9	46.9	20.9	2.3				
	5学級 (78)	29.5	56.4	14.1	-				
	6学級以上 (91)	23.1	61.5	13.2	2.2				

(n)

高校生、小・中・高校保護者は「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」、教員、市町村関係者、企業は「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい」

高校の統廃合等、今後の高校の規模の在り方について尋ねたところ、高校生、小・中・高校生保護者、小学校教員は「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」の割合が高く、中・高・大学・短大教員、市町村関係者、企業は「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい」の割合が高くなった。「統廃合した方がよい」の割合は、企業が55.0%と最も高く、「残した方がよい」の割合は、高校生保護者が57.5%と最も高くなった。

居住地別にみると、高校生（市部・郡部）、高校生保護者（市部・郡部）とも「残した方がよい」の割合が高かった。

学校の規模別にみると、全体的に「残した方がよい」の割合が高かった。また、「統廃合した方がよい」とする割合が比較的高かったのは、高校生の1学級31.8%、高校生保護者の6学級以上33.8%、中学生保護者の2学級32.6%であった。

25－（付問１） 規模を維持するため統廃合した方がよい理由

問 25 付問 1 問 25 で「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい」と回答した方にうかがいます。

あなたが「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい」を選んだ理由は何か。（％）

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	222	250	282	140	72	71	60	49	36	159
大学受験で必要となる科目や芸術科目の選択等、生徒のニーズに応じた多種類の科目を選択できるから	41.4	36.4	42.2	36.4	25.0	32.4	35.0	30.6	33.3	28.9
多くの生徒たちとの出会いや交流があり、それを通じてお互いを高め合うことができるから	39.6	38.0	41.5	47.9	45.8	49.3	45.0	49.0	44.4	43.4
数多くの部活動が置かれ、その中から生徒のニーズに応じて選択できるから	7.7	8.4	8.9	6.4	5.6	1.4	5.0	-	8.3	8.2
より活気あふれる体育祭や文化祭等の学校行事ができるから	7.7	2.8	3.2	5.0	4.2	1.4	-	2.0	2.8	0.6
その他	1.8	1.2	1.4	2.1	2.8	2.8	-	2.0	2.8	2.5
無回答	1.8	13.2	2.8	2.1	16.7	12.7	15.0	16.3	8.3	16.4

高校生と中学生保護者は「生徒のニーズに応じた多種類の科目を選択できるから」、その他の対象者は「多くの生徒との出会いや交流を通じてお互いを高め合うことができるから」で高い割合

「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、高校生と中学生保護者は「多種類の科目を選択できる」の割合が最も高く、その他の対象者は「多くの生徒との出会いや交流」の割合が最も高かった。また、「数多くの部活動」と「活気あふれる学校行事」の割合は、各対象者とも1割に満たなかった。

25－（付問2） 小規模化したとしても高校を残した方がよい理由

問 25 付問 2 問 25 で「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」と回答した方にうかがいます。

あなたが「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」を選んだ理由は何ですか。 (％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	488	549	519	226	64	60	62	33	29	96
よりきめ細かい教育活動が期待できるから	22.3	35.5	47.8	46.0	25.0	30.0	41.9	21.2	20.7	31.3
生徒同士がお互いに親密な人間関係をつくりやすいから	21.9	8.9	11.2	10.2	-	-	1.6	3.0	6.9	11.5
体育館等、施設・設備を利用する上で余裕があるから	6.4	1.8	3.5	4.9	-	1.7	1.6	3.0	-	3.1
高校がなくなると地域の衰退につながるおそれがあるから	42.6	39.7	26.8	27.9	51.6	41.7	37.1	42.4	41.4	37.5
その他	3.3	3.5	3.5	3.5	6.3	11.7	8.1	9.1	17.2	4.2
無回答	3.5	10.6	7.3	7.5	17.2	15.0	9.7	21.2	13.8	12.5

中学生保護者、小学生保護者、小学校教員は「よりきめ細かい教育活動が期待できるから」、その他の対象者は「高校がなくなると地域の衰退につながるおそれがあるから」で高い割合

「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」を選んだ人に、その理由を尋ねたところ、中学生保護者、小学生保護者、小学校教員は「よりきめ細かい教育活動が期待できる」、その他の対象者は「地域の衰退につながる」の割合がそれぞれ最も高い結果となった。また、高校生では「親密な人間関係をつくりやすい」の割合が他の対象者と比べて高くなっており、「地域の衰退につながる」、「よりきめ細かい教育活動」、「親密な人間関係」の3項目で8割以上を占めた。「施設・設備を利用」の割合は全ての対象者で10.0%を下回った。

## 26 望ましい統合の方法

問 26 県教育委員会では、県立高等学校教育改革の取組の一つとして、いくつかの高校を統廃合してきました。あなたは、どのような統合方法が望ましいと考えますか。 (％)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
いくつかの統合対象の高校をそのうちの1つの高校に統合し、他の統合対象の高校は閉校する	12.4	10.5	10.1	10.1	19.3	18.2	9.6	11.6	17.6
統合対象の高校をすべて閉校し、それらを統合した新しい高校を設置する	5.5	5.2	4.4	8.6	5.0	5.3	7.4	8.7	10.0
統合対象の高校の規模や設置されている学科等を考慮した上で、既存の高校に統合するか新しい高校を設置するか、個別に判断する	47.0	51.8	52.2	69.1	54.3	57.6	60.6	53.6	53.3
その他	2.1	1.2	0.4	2.2	-	2.3	1.1	10.1	2.1
わからない	19.6	18.5	21.6	3.6	2.9	4.5	13.8	5.8	11.4
無回答	13.4	12.8	11.2	6.5	18.6	12.1	7.4	10.1	5.5

### 各対象者とも「既存の高校に統合するか新しい高校を設置するか個別に判断」が最も高い割合

高校の統廃合についてどのような方法が望ましいか尋ねたところ、各対象者とも最も割合が高かったのは「統合対象の高校の規模や設置されている学科等を考慮した上で、既存の高校に統合するか新しい高校を設置するか、個別に判断する」であった。次いで、各対象者とも「いくつかの統合対象の高校をそのうちの1つの高校に統合し、他の統合対象の高校は閉校する」となった。

## 27 生徒数減少による教育活動への影響

問 27 現在高校の生徒数減少や小規模化（学級数減）が進んでいますが、これにより生徒の教育活動に影響や課題が生じると思いますか。 (％)

	高校教員
回答者数	139
生じると思う	92.1
生じないと思う	5.0
わからない	1.4
無回答	1.4

### 「生じると思う」が92.1%

高校教員に高校の生徒数減少や小規模化により教育活動への影響や課題が生じると思うか尋ねたところ、「生じると思う」の割合は92.1%と大勢を占めた。一方、「生じないと思う」の割合は5.0%となった。

27- (付問1) 小規模化により生じる教育活動への具体的な課題

問27付問1 問27で「生じると思う」と回答した方にうかがいます。

教育活動への具体的な影響や課題として考えられる次の項目について、あなたはどのように考えますか。次の(ア)～(オ)についてお答えください。(各項目について○は1つ)

(ア) 教員数が減ったことに伴う開設科目の減少により、生徒の多様なニーズや受験に対応することが難しくなる。 (％)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	63.3
やや課題等となると思う	28.1
課題等となるとはあまり思わない	5.5
課題等となるとは思わない	3.1
わからない	-
無回答	-
課題等となると思う (計)	91.4
課題等となるとは思わない (計)	8.6

(イ) 部員が減少したことにより、廃部・休部を余儀なくされる部活動が出てくるなど、生徒の多様なニーズに対応することが難しくなる。 (％)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	67.2
やや課題等となると思う	29.7
課題等となるとはあまり思わない	0.8
課題等となるとは思わない	2.3
わからない	-
無回答	-
課題等となると思う (計)	96.9
課題等となるとは思わない (計)	3.1



(ウ) 学校行事に参加する生徒が減少することにより、規模が縮小したり、盛り上がりに欠けたりするようになる。 (％)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	35.2
やや課題等となると思う	36.7
課題等となるとはあまり思わない	20.3
課題等となるとは思わない	7.8
わからない	-
無回答	-
課題等となると思う (計)	71.9
課題等となるとは思わない (計)	28.1

(エ) 生徒会費、PTA会費等の予算が縮小することにより、様々な教育活動の取組に充てる予算も縮小する。 (％)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	58.6
やや課題等となると思う	29.7
課題等となるとはあまり思わない	9.4
課題等となるとは思わない	0.8
わからない	1.6
無回答	-
課題等となると思う (計)	88.3
課題等となるとは思わない (計)	10.2

(オ) 教員数が減ったことに伴い、分掌の兼務などが増え、進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる。 (％)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	69.5
やや課題等となると思う	22.7
課題等となるとはあまり思わない	5.5
課題等となるとは思わない	1.6
わからない	0.8
無回答	-
課題等となると思う (計)	92.2
課題等となるとは思わない (計)	7.0

(ア)～(オ)のまとめ  
 小規模化により生じる課題 「課題等となると思う(計)」の割合 (%)

	高校教員
(ア) 教員数が減ったことに伴う開設科目の減少により、生徒の多様なニーズや受験に対応することが難しくなる	91.4
(イ) 部員が減少したことにより、廃部・休部を余儀なくされる部活動が出てくるなど、生徒の多様なニーズに対応することが難しくなる	96.9
(ウ) 学校行事に参加する生徒が減少することにより、規模が縮小したり、盛り上がりや欠けたりするようになる	71.9
(エ) 生徒会費、PTA会費等の予算が縮小することにより、様々な教育活動の取組に充てる予算も縮小する	88.3
(オ) 教員数が減ったことに伴い、分掌の兼務などが増え、進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる	92.2

■ 全ての項目で「課題等となると思う(計)」が7割以上

「高校の小規模化により生徒の教育活動に影響や課題が生じると思う」と回答した人に、具体的な影響や課題についてどのように考えるか尋ねたところ、「課題となる(計)」とした割合が特に高かったのは、「(ア) 開設科目の減少により生徒の多様なニーズや受験に対応することが難しくなる」が91.4%、「(イ) 廃部・休部を余儀なくされる部活動が出てくるなど、生徒の多様なニーズに対応することが難しくなる」が96.9%、「(オ) 進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる」が92.2%といずれも9割を超え、その他の項目でも7割以上の割合となった。

## 《 小・中学校、大学、地域との連携 》

### 28 小・中学校と高校の連携

問 28 あなたは、小・中学校と高校との連携の取組について、どのように考えますか。次の(ア)～(オ)のそれぞれについてお答えください。(各項目について○は1つ)

(ア) 高校生による小・中学生への学習指導、授業補助、講演等 (％)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	139	140	132
さらに充実させる必要がある	36.0	40.0	40.9
現状で十分である	38.1	38.6	40.2
実施する必要はない	14.4	17.9	12.9
わからない	3.6	2.9	3.0
無回答	7.9	0.7	3.0

(イ) 小・中学生が高校に出向いて校内の様子や授業、部活動等を見学する体験入学等 (％)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	139	140	132
さらに充実させる必要がある	28.8	34.3	50.0
現状で十分である	62.6	62.9	43.9
実施する必要はない	1.4	2.1	2.3
わからない	-	-	-
無回答	7.2	0.7	3.8

(ウ) 小・中学生と高校生が一緒になって参加する地域の行事等 (％)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	139	140	132
さらに充実させる必要がある	36.0	30.0	46.2
現状で十分である	43.9	45.0	44.7
実施する必要はない	7.2	12.9	3.8
わからない	5.0	9.3	1.5
無回答	7.9	2.9	3.8

(エ) 各校種の枠を超えた、教材開発や指導実践研究（授業公開や授業研究）などの教員研修 (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	139	140	132
さらに充実させる必要がある	42.4	37.9	37.1
現状で十分である	40.3	44.3	47.7
実施する必要はない	7.9	10.7	8.3
わからない	1.4	6.4	3.8
無回答	7.9	0.7	3.0

(オ) 生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化 (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	139	140	132
さらに充実させる必要がある	72.7	72.1	67.4
現状で十分である	18.7	24.3	25.0
実施する必要はない	0.7	1.4	0.8
わからない	0.7	1.4	3.8
無回答	7.2	0.7	3.0

(ア)～(オ)のまとめ  
 小・中学校と高校の連携 「さらに充実させる必要がある」の割合 (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
(ア) 高校生による小・中学生への学習指導、授業補助、講演等	36.0	40.0	40.9
(イ) 小・中学生が高校に出向いて校内の様子や授業、部活動等を見学する体験入学等	28.8	34.3	50.0
(ウ) 小・中学生と高校生が一緒になって参加する地域の行事等	36.0	30.0	46.2
(エ) 各校種の枠を超えた、教材開発や指導実践研究（授業公開や授業研究）などの教員研修	42.4	37.9	37.1
(オ) 生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化	72.7	72.1	67.4

各対象者とも「生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化」で高い割合

小・中学校と高校との連携の取組についてどのように考えるか尋ねたところ、全ての対象者で「(オ) 生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化」について「さらに充実させる必要がある」とした割合が7割程度と高かった。

それ以外の項目では、小学校教員で「(イ) 小・中学生が高校に出向いて校内の様子や授業、部活動等を見学する体験入学等」が50.0%と比較的高い割合となった。

## 29 高校と大学の連携

問29 あなたは、高校と大学との連携の取組等について、どのように考えますか。次の（ア）～（オ）のそれぞれについてお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）高校生が大学に出向き、大学生と一緒に講義を受けて修得した単位を高校卒業に必要な単位として認めたり、当該大学に進学した際、当該大学の単位として認めたりする取組 (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	139	94
さらに充実させる必要がある	33.1	37.2
現状で十分である	39.6	26.6
実施する必要はない	19.4	27.7
わからない	5.8	6.4
無回答	2.2	2.1

（イ）高校生が大学に出向いて、大学生と一緒に調査・研究したり、発表したりする取組 (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	139	94
さらに充実させる必要がある	44.6	37.2
現状で十分である	38.1	26.6
実施する必要はない	10.8	24.5
わからない	3.6	8.5
無回答	2.9	3.2

（ウ）大学教員が高校に出向いて、大学の紹介や模擬講義等を行う取組 (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	139	94
さらに充実させる必要がある	48.9	51.1
現状で十分である	43.2	37.2
実施する必要はない	2.9	6.4
わからない	2.2	3.2
無回答	2.9	2.1

(エ) 高校生と大学生が一緒になって地域の行事やイベントを企画し、参加する取組 (％)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	139	94
さらに充実させる必要がある	48.9	59.6
現状で十分である	36.0	22.3
実施する必要はない	7.9	10.6
わからない	5.0	5.3
無回答	2.2	2.1

(オ) 高校における調査・研究に対して、大学教員や学生が指導したりアドバイスしたりする取組 (％)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	139	94
さらに充実させる必要がある	51.8	46.8
現状で十分である	36.7	23.4
実施する必要はない	5.0	19.1
わからない	4.3	8.5
無回答	2.2	2.1

(ア)～(オ)のまとめ

高校と大学の連携 「さらに充実させる必要がある」の割合

(%)

	高校教員	大学・短大教員
(ア) 高校生が大学に出向き、大学生と一緒に講義を受けて修得した単位を高校卒業に必要な単位として認めたり、当該大学に進学した際、当該大学の単位として認めたりする取組	33.1	37.2
(イ) 高校生が大学に出向いて、大学生と一緒に調査・研究したり、発表したりする取組	44.6	37.2
(ウ) 大学教員が高校に出向いて、大学の紹介や模擬講義等を行う取組	48.9	51.1
(エ) 高校生と大学生が一緒になって地域の行事やイベントを企画し、参加する取組	48.9	59.6
(オ) 高校における調査・研究に対して、大学教員や学生が指導したりアドバイスしたりする取組	51.8	46.8

「大学の紹介や模擬講義等を行う取組」、「地域の行事やイベントを企画し、参加する取組」、「大学教員や学生が指導したりアドバイスしたりする取組」で「さらに充実させる必要がある」が5割程度

高校と大学の連携の取組等についてどのように考えるか尋ねたところ、「さらに充実させる必要がある」とした割合が、高校教員、大学・短大教員とも「(ウ) 大学の紹介や模擬講義等を行う取組」、「(エ) 地域の行事やイベントを企画し、参加する取組」、「(オ) 大学教員や学生が指導したりアドバイスしたりする取組」については5割程度となり、「(ア) 当該大学に進学した際、当該大学の単位として認めたりする取組」、「(イ) 大学生と一緒に調査・研究したり、発表したりする取組」については3～4割程度となった。



### 30 高校と地域との連携

問30 あなたは、高校と地域のかかわり方について、どのようなことを期待しますか。次の(ア)～(キ)のそれぞれについてお答えください。(各項目について○は1つ)

(ア) 高校の施設・設備を、地域住民が活用できるようにする

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	15.1	17.1	18.1	25.9	25.7	28.8	46.8	42.0	29.8
どちらかといえば 必要である	24.6	31.3	31.1	30.9	42.9	35.6	23.4	29.0	32.2
どちらともいえない	33.7	32.3	30.4	23.0	17.9	20.5	12.8	15.9	18.3
どちらかといえば 必要ではない	14.5	11.8	11.5	11.5	10.0	8.3	7.4	11.6	10.7
必要でない	9.2	6.4	7.5	8.6	3.6	4.5	3.2	1.4	8.0
無回答	2.9	1.2	1.5	-	-	2.3	6.4	-	1.0
必要(計)	39.7	48.4	49.1	56.8	68.6	64.4	70.2	71.0	61.9
必要ない(計)	23.7	18.2	18.9	20.1	13.6	12.9	10.6	13.0	18.7

(参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
必要である	24.5	25.3	23.1	44.4	33.9	36.2	43.9	45.8	30.3
どちらかといえば 必要である	19.4	18.0	19.3	26.1	37.8	36.2	25.4	20.0	22.3
どちらともいえない	28.9	30.5	32.3	13.1	15.7	13.4	14.0	9.2	21.6
どちらかといえば 必要ではない	9.5	9.2	8.5	4.6	3.9	7.1	3.5	9.2	10.6
必要でない	9.5	7.2	6.9	5.2	0.8	2.4	3.5	3.3	7.1
無回答	8.2	9.8	9.9	6.5	7.9	4.7	9.6	12.5	8.1
必要(計)	43.9	43.2	42.4	70.6	71.7	72.4	69.3	65.8	52.6
必要ない(計)	18.9	16.4	15.4	9.8	4.7	9.4	7.0	12.5	17.7

## (イ) 高校が公開講座などを通して専門的な知識・技能を地域へ提供する

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	16.4	20.6	18.5	18.7	21.4	22.7	40.4	33.3	22.8
どちらかといえば 必要である	34.9	34.1	35.5	39.6	44.3	28.8	31.9	44.9	35.3
どちらともいえない	30.1	33.9	32.2	20.1	22.9	33.3	10.6	11.6	29.1
どちらかといえば 必要ではない	9.4	5.7	7.5	10.8	10.7	9.8	6.4	8.7	7.6
必要でない	5.7	4.1	4.2	10.8	-	3.0	5.3	1.4	3.1
無回答	3.6	1.6	2.2	-	0.7	2.3	5.3	-	2.1
必要（計）	51.3	54.8	54.0	58.3	65.7	51.5	72.3	78.3	58.1
必要ない（計）	15.1	9.7	11.7	21.6	10.7	12.9	11.7	10.1	10.7

## (参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
必要である	26.9	26.4	24.1	40.5	29.1	40.2	31.6	52.5	31.0
どちらかといえば 必要である	24.2	29.8	30.8	28.8	35.4	29.1	32.5	26.7	32.6
どちらともいえない	30.7	25.0	28.2	13.7	20.5	19.7	14.9	2.5	20.3
どちらかといえば 必要ではない	5.4	5.5	3.4	5.2	4.7	4.7	5.3	5.0	3.9
必要でない	4.2	3.5	3.2	4.6	2.4	1.6	5.3	0.8	3.9
無回答	8.6	9.8	10.1	7.2	7.9	4.7	10.5	12.5	8.4
必要（計）	51.1	56.2	55.0	69.3	64.6	69.3	64.0	79.2	63.5
必要ない（計）	9.6	9.0	6.7	9.8	7.1	6.3	10.5	5.8	7.7

## (ウ) 高校生が、地域社会へ出て、ボランティア活動をする機会をもっと増やす

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	35.0	35.8	41.4	46.8	42.9	43.9	57.4	63.8	39.4
どちらかといえば 必要である	42.5	44.7	42.7	41.7	42.9	42.4	24.5	27.5	42.9
どちらともいえない	15.6	15.0	11.7	9.4	14.3	10.6	6.4	4.3	14.2
どちらかといえば 必要ではない	1.6	2.1	1.3	1.4	-	-	1.1	4.3	1.4
必要でない	1.7	0.7	0.9	0.7	-	0.8	3.2	-	0.7
無回答	3.7	1.7	2.0	-	-	2.3	7.4	-	1.4
必要（計）	77.5	80.5	84.1	88.5	85.7	86.4	81.9	91.3	82.4
必要ない（計）	3.2	2.8	2.2	2.2	-	0.8	4.3	4.3	2.1

## (参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
必要である	37.6	47.0	45.0	45.8	55.1	54.3	38.6	45.8	43.2
どちらかといえば 必要である	35.2	29.1	30.6	35.9	29.1	35.4	27.2	35.0	32.6
どちらともいえない	16.0	12.6	12.6	9.8	8.7	3.9	17.5	7.5	15.2
どちらかといえば 必要ではない	1.6	1.0	1.6	1.3	-	1.6	4.4	0.8	1.6
必要でない	1.4	1.4	0.8	-	-	-	1.8	-	0.6
無回答	8.1	8.9	9.3	7.2	7.1	4.7	10.6	10.8	6.8
必要（計）	72.8	76.1	75.7	81.7	84.3	89.8	65.8	80.8	75.8
必要ない（計）	3.1	2.5	2.4	1.3	-	1.6	6.1	0.8	2.3

(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり体験学習（インターンシップなど）をする機会を増やす (%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大学・短 大 教 員	市 町 村 関 係 者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	40.9	50.6	54.0	46.0	50.0	50.0	46.8	55.1	42.9
どちらかといえば 必要である	42.5	36.5	34.8	39.6	39.3	33.3	31.9	33.3	39.8
どちらともいえない	11.1	9.7	8.4	9.4	10.0	11.4	11.7	10.1	12.5
どちらかといえば 必要ではない	1.8	1.3	0.7	3.6	-	0.8	2.1	1.4	3.1
必要でない	1.2	0.4	0.4	1.4	-	0.8	2.1	-	0.3
無回答	2.5	1.5	1.8	-	0.7	3.8	5.3	-	1.4
必要（計）	83.5	87.1	88.8	85.6	89.3	83.3	78.7	88.4	82.7
必要ない（計）	2.9	1.7	1.1	5.0	-	1.5	4.3	1.4	3.5

(参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大学・短 大 教 員	市 町 村 関 係 者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
必要である	42.2	46.3	45.4	41.8	41.7	45.7	28.9	40.8	44.2
どちらかといえば 必要である	31.7	32.6	31.6	32.0	39.4	34.6	31.6	33.3	36.1
どちらともいえない	14.5	10.3	9.7	13.1	8.7	11.0	19.3	12.5	10.6
どちらかといえば 必要ではない	2.4	1.3	2.8	4.6	0.8	1.6	6.1	0.8	0.3
必要でない	1.0	0.4	1.2	2.0	0.8	2.4	1.8	0.8	1.6
無回答	8.0	9.0	9.1	6.5	8.7	4.7	12.3	11.7	7.1
必要（計）	74.0	78.9	77.1	73.9	81.1	80.3	60.5	74.2	80.3
必要ない（計）	3.5	1.8	4.1	6.5	1.6	3.9	7.9	1.7	1.9

## (オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	40.0	46.0	47.8	54.7	53.6	56.8	59.6	59.4	43.6
どちらかといえば 必要である	42.3	40.1	39.0	36.0	42.1	29.5	25.5	30.4	41.9
どちらともいえない	12.4	11.0	10.4	7.2	3.6	10.6	7.4	8.7	11.8
どちらかといえば 必要ではない	1.5	0.6	0.2	-	0.7	-	1.1	1.4	1.0
必要でない	1.0	0.8	0.9	2.2	-	-	-	-	0.7
無回答	2.8	1.5	1.8	-	-	3.0	6.4	-	1.0
必要（計）	82.3	86.1	86.8	90.6	95.7	86.4	85.1	89.9	85.5
必要ない（計）	2.5	1.5	1.1	2.2	0.7	-	1.1	1.4	1.7

## (参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
必要である	44.5	47.4	46.7	58.2	41.7	65.4	57.0	55.0	48.1
どちらかといえば 必要である	29.0	29.0	29.8	28.1	38.6	26.0	25.4	30.0	31.9
どちらともいえない	15.5	12.6	11.8	4.6	8.7	2.4	7.0	4.2	11.3
どちらかといえば 必要ではない	1.9	1.1	1.4	2.0	1.6	0.8	-	0.8	1.0
必要でない	1.6	0.9	0.8	0.7	0.8	-	0.9	-	1.3
無回答	7.5	9.0	9.5	6.5	8.7	5.5	9.6	10.0	6.5
必要（計）	73.4	76.4	76.5	86.3	80.3	91.3	82.5	85.0	80.0
必要ない（計）	3.6	2.1	2.2	2.6	2.4	0.8	0.9	0.8	2.3

## (カ) 学校運営に地域住民の意見をもっと取り入れる

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高教 校員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	10.2	10.6	10.6	12.9	7.9	6.8	25.5	11.6	15.2
どちらかといえば 必要である	25.8	29.0	27.8	35.3	36.4	32.6	25.5	39.1	28.7
どちらともいえない	47.0	43.4	45.2	35.3	41.4	37.9	30.9	37.7	37.0
どちらかといえば 必要ではない	8.7	10.7	9.9	10.8	8.6	12.9	4.3	5.8	11.1
必要でない	5.2	5.1	4.8	5.8	5.7	6.8	8.5	5.8	6.9
無回答	3.1	1.3	1.8	-	-	3.0	5.3	-	1.0
必要（計）	35.9	39.6	38.3	48.2	44.3	39.4	51.1	50.7	43.9
必要ない（計）	13.9	15.8	14.8	16.5	14.3	19.7	12.8	11.6	18.0

## (参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高教 校員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
必要である	14.8	12.4	12.4	19.0	12.6	14.2	16.7	6.7	16.1
どちらかといえば 必要である	17.6	19.3	18.5	21.6	20.5	31.5	21.9	21.7	24.2
どちらともいえない	41.1	40.8	41.4	30.1	44.1	33.1	31.6	35.0	31.6
どちらかといえば 必要ではない	10.1	9.0	9.5	10.5	8.7	11.0	11.4	9.2	9.7
必要でない	7.3	8.8	8.1	11.1	6.3	3.1	7.0	7.5	11.0
無回答	9.2	9.8	10.1	7.8	7.9	7.1	11.4	10.0	7.4
必要（計）	32.3	31.7	30.8	40.5	33.1	45.7	38.6	38.3	40.3
必要ない（計）	17.4	17.8	17.6	21.6	15.0	14.2	18.4	16.7	20.6

## (キ) 高校生が、郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	454	139	140	132	94	69	289
必要である	22.6	23.4	26.7	35.3	20.7	34.1	52.1	46.4	33.9
どちらかといえば 必要である	42.2	44.2	46.5	45.3	57.1	44.7	34.0	47.8	44.3
どちらともいえない	26.6	25.1	19.6	16.5	21.4	18.2	5.3	2.9	17.0
どちらかといえば 必要ではない	3.5	3.9	4.0	0.7	0.7	-	-	2.9	3.1
必要でない	2.3	2.1	1.3	2.2	-	-	2.1	-	0.7
無回答	2.8	1.4	2.0	-	-	3.0	6.4	-	1.0
必要（計）	64.8	67.5	73.1	80.6	77.9	78.8	86.2	94.2	78.2
必要ない（計）	5.8	6.0	5.3	2.9	0.7	-	2.1	2.9	3.8

## (参考 平成9年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	小学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	983	969	493	153	127	127	114	120	310
必要である	25.1	31.1	25.8	36.6	28.3	34.6	36.0	42.5	36.1
どちらかといえば 必要である	38.0	35.6	40.8	40.5	48.0	48.8	36.0	36.7	36.1
どちらともいえない	24.1	19.7	21.1	11.1	13.4	9.4	13.2	5.0	16.5
どちらかといえば 必要ではない	3.0	2.6	2.4	2.6	1.6	1.6	2.6	4.2	2.6
必要でない	1.7	1.5	0.8	2.0	0.8	-	2.6	0.8	1.9
無回答	8.0	9.5	9.1	7.2	7.9	5.5	9.6	10.8	6.8
必要（計）	63.2	66.7	66.5	77.1	76.4	83.5	71.9	79.2	72.3
必要ない（計）	4.7	4.1	3.2	4.6	2.4	1.6	5.3	5.0	4.5

(ア)～(キ)のまとめ  
 高校と地域との連携 「必要(計)」の割合

(%)

	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
(ア) 高校の施設・設備を、地域住民が活用できるようにする	39.7	48.4	49.1	56.8	68.6	64.4	70.2	71.0	61.9
(イ) 高校が公開講座などを通して専門的な知識・技能を地域へ提供する	51.3	54.8	54.0	58.3	65.7	51.5	72.3	78.3	58.1
(ウ) 高校生が、地域社会へ出て、ボランティア活動をする機会をもっと増やす	77.5	80.5	84.1	88.5	85.7	86.4	81.9	91.3	82.4
(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり体験学習(インターンシップなど)をする機会を増やす	83.5	87.1	88.8	85.6	89.3	83.3	78.7	88.4	82.7
(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く	82.3	86.1	86.8	90.6	95.7	86.4	85.1	89.9	85.5
(カ) 学校運営に地域住民の意見をもっと取り入れる	35.9	39.6	38.3	48.2	44.3	39.4	51.1	50.7	43.9
(キ) 高校生が、郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす	64.8	67.5	73.1	80.6	77.9	78.8	86.2	94.2	78.2

(参考 平成9年調査)

(%)

	高校生保護者	中学生保護者	小学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
(ア) 高校の施設・設備を、地域住民が活用できるようにする	43.9	43.2	42.4	70.6	71.7	72.4	69.3	65.8	52.6
(イ) 公開講座などを通して専門的な知識・技能を地域へ提供する	51.1	56.2	55.0	69.3	64.6	69.3	64.0	79.2	63.5
(ウ) 高校生が、地域社会へ出て、ボランティア活動をする機会をもっと増やす	72.8	76.1	75.7	81.7	84.3	89.8	65.8	80.8	75.8
(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり体験学習をする機会を増やす	74.0	78.9	77.1	73.9	81.1	80.3	60.5	74.2	80.3
(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く	73.4	76.4	76.5	86.3	80.3	91.3	82.5	85.0	80.0
(カ) 学校運営に地域住民の意見をもっと取り入れる	32.3	31.7	30.8	40.5	33.1	45.7	38.6	38.3	40.3
(キ) 高校生が、郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす	63.2	66.7	66.5	77.1	76.4	83.5	71.9	79.2	72.3



## 「ボランティア活動」、「体験学習（インターンシップなど）」、「技能者の講師招聘」等で高い割合

高校と地域のかかわり方について、どのようなことを期待するか尋ねたところ、「(ウ) ボランティア活動をする機会をもっと増やす」、「(エ) 会社や工場などで体験学習（インターンシップなど）をする機会を増やす」、「(オ) 優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く」について「必要（計）」とした割合が、各対象者において7～9割程度と高くなった。

また、「(ア) 高校の施設・設備を地域住民が活用できるようにする」、「(イ) 公開講座などを通して専門的な知識・技能を地域へ提供する」については、大学・短大教員、市町村関係者で「必要（計）」とした割合が7割を超え、「(キ) 郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす」については、市町村関係者で9割を超えた。

平成9年調査と比較すると、「必要（計）」とした割合が全体的に増加傾向となった。

## 《 企業における新規高校卒業者の採用状況等 》

### 31 新規高校卒業者の採用状況

問31 あなたの事業所は、新規高校卒業者を採用していますか。 (％)

	企 業
回答者数	289
定期採用しており、今年も採用した	11.1
定期採用していないが、今年も採用した	13.1
定期採用していたが、今年も採用しなかった	4.5
定期採用をしていないので、今年も採用しなかった	71.3
無回答	-
採用した (計)	24.2
採用しなかった (計)	75.8

(参考 平成9年調査) (％)

	企 業
回答者数	310
定期採用しており、今年も採用した	14.5
定期採用していないが、今年も採用した	13.2
定期採用していたが、今年も採用しなかった	7.7
定期採用をしていないので、今年も採用しなかった	63.2
無回答	1.3
採用した (計)	27.7
採用しなかった (計)	70.9

図表40 新規高校卒業者の採用状況【業種別、従業員規模別】

業種別	業種	人数	採用状況 (%)			
			定期採用しており、今年も採用した	定期採用はしていないが、今年は採用した	定期採用していたが、今年は採用しなかった	定期採用をしていないので、今年も採用しなかった
業種別	建設業	(70)	12.9	18.6	5.7	62.9
	製造業	(49)	8.2	8.2	8.2	75.5
	卸・小売業、飲食店	(61)	6.6	13.1	3.3	77.0
	サービス業	(41)	22.0	4.9		73.2
	その他	(64)	9.4	20.3		70.3
従業員規模別	19人以下	(77)	2.6	3.9	2.6	90.9
	20～99人	(160)	10.0	15.0	6.3	68.8
	100人以上	(52)	26.9		21.2	1.9

(n)

(参考 平成9年調査)

業種別	業種	人数	採用状況 (%)				無回答 (%)
			定期採用しており、今年も採用した	定期採用はしていないが、今年は採用した	定期採用していたが、今年は採用しなかった	定期採用をしていないので、今年も採用しなかった	
業種別	建設業	(81)	14.8	13.6	8.6	61.7	1.2
	製造業	(56)	16.1	17.9	10.7	55.4	-
	卸・小売業、飲食店	(52)	26.9	5.8	11.5	53.8	1.9
	サービス業	(39)	7.7	12.8	10.3	66.7	2.6
	その他	(74)	9.5	13.5	1.4	74.3	1.4
従業員規模別	19人以下	(130)	4.6	10.0	3.8	80.0	1.5
	20～99人	(146)	15.8	16.4	9.6	56.8	1.4
	100人以上	(32)	46.9		9.4	15.6	28.1

(n)

### 平成26年春に新卒者を採用した企業は24.2%

企業に平成26年春の新規高校卒業者の採用について尋ねたところ、71.3%の企業が「定期採用をしていないので、今年も採用しなかった」としており、「定期採用していたが、今年は採用しなかった」の4.5%を合わせると、新規高校卒業者を採用しなかった企業の割合は75.8%となった。一方、「定期採用しており、今年も採用した」と「定期採用していないが、今年は採用した」を合わせた新規高校卒業者を採用した企業の割合は24.2%となった。

業種別にみると、新規高校卒業者を採用した企業の業種は建設業31.5%、その他29.7%、サービス業22.0%の順となっており、サービス業では定期採用している割合が22.0%と他の業種より高かった。

平成9年調査と比較すると、採用した割合は製造業、卸・小売業、飲食店で減少し、建設業、サービス業、その他で増加した。

従業員規模別にみると、平成9年調査と同様に、従業員規模が大きくなるほど採用の割合が高くなった。

31－（付問1） 新規高校卒業者の出身学科

問31付問1 問31で「今年、新規高校卒業者を採用した」と回答した企業にうかがいます。  
 今春採用した高校卒業者の出身学科別の状況について、あてはまるものすべてに○を付けてください。  
 (複数回答、%)

	企 業
回答者数	70
普通科	54.3
農業に関する学科	15.7
工業に関する学科	48.6
商業に関する学科	24.3
水産に関する学科	2.9
家庭に関する学科	1.4
看護科	-
情報科	7.1
福祉科	1.4
理数科	-
スポーツ科学科	2.9
音楽科	-
英語科	1.4
外国語科	1.4
表現科	-
総合学科	2.9
その他の学科	7.1
わからない	1.4
無回答	-

(参考 平成9年調査)

(複数回答、%)

	企 業
回答者数	86
普通科	60.5
農業に関する学科	11.6
工業に関する学科	36.0
商業に関する学科	23.3
水産に関する学科	5.8
家庭に関する学科	3.5
衛生看護科	1.2
福祉科	4.7
理数科	-
人文学科	-
音楽科	-
英語科・外国語科	1.2
その他の学科	1.2
わからない	1.2
無回答	3.5

図表 41 新規高校卒業者の出身学科【業種別、従業員規模別】

(複数回答、%)

	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	看護科	情報科	福祉科	理数科	スポーツ科学科	音楽科	英語科	外国語科	表現科	総合学科	その他の学科	わからない
(n)																		
【業種別】																		
建設業 (22)	31.8	13.6	77.3	4.5	-	-	-	-	4.5	-	-	-	-	-	-	-	4.5	4.5
製造業 (8)	87.5	12.5	25.0	37.5	-	-	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5	-
卸・小売業、飲食店 (12)	58.3	33.3	41.7	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	-	16.7	-
サービス業 (9)	77.8	11.1	22.2	55.6	22.2	11.1	-	22.2	-	-	-	-	11.1	-	-	22.2	-	-
その他 (19)	52.6	10.5	42.1	26.3	-	-	-	10.5	-	-	5.3	-	-	-	-	-	5.3	-
【従業員規模別】																		
19人以下 (5)	-	-	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-
20～99人 (40)	50.0	17.5	50.0	12.5	2.5	2.5	-	2.5	2.5	-	2.5	-	2.5	-	-	-	5.0	2.5
100人以上 (25)	72.0	16.0	44.0	44.0	4.0	-	-	16.0	-	-	4.0	-	4.0	4.0	-	4.0	8.0	-

(参考 平成9年調査)

(複数回答、%)

	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	衛生看護科	福祉科	英語科・外国語科	その他の学科	わからない
(n)											
【業種別】											
建設業 (23)	34.8	17.4	65.2	8.7	4.3	-	-	-	-	-	-
製造業 (19)	68.4	5.3	26.3	31.6	5.3	5.3	-	10.5	-	-	-
卸・小売業、飲食店 (17)	64.7	17.6	47.1	52.9	11.8	11.8	-	-	-	-	-
サービス業 (8)	75.0	-	25.0	25.0	-	-	12.5	-	-	12.5	-
その他 (17)	76.5	11.8	5.9	5.9	5.9	-	-	11.8	5.9	-	5.9
【従業員規模別】											
19人以下 (19)	57.9	5.3	31.6	15.8	10.5	-	5.3	-	5.3	-	-
20～99人 (47)	51.1	12.8	34.0	21.3	2.1	2.1	-	8.5	-	2.1	2.1
100人以上 (18)	83.3	16.7	50.0	38.9	11.1	11.1	-	-	-	-	-

### 「普通科」が54.3%、「工業に関する学科」が増加

今年度新規高校卒業者を採用した企業に新卒者の出身学科を尋ねたところ、「普通科」の割合が54.3%で最も高く、次いで「工業に関する学科」48.6%、「商業に関する学科」24.3%、「農業に関する学科」15.7%と続いている。それ以外の学科はいずれも10.0%以下であった。

平成9年調査と比較すると、「普通科」の割合が6.2ポイント減少したが、「工業に関する学科」の割合は12.6ポイント増加し、「商業に関する学科」、「農業に関する学科」の割合もやや増加した。

業種別にみると、建設業では「工業に関する学科」の割合が高く、建設業以外は「普通科」の割合が高くなった。

31－（付問２） 新規高校卒業者の採用数の増減

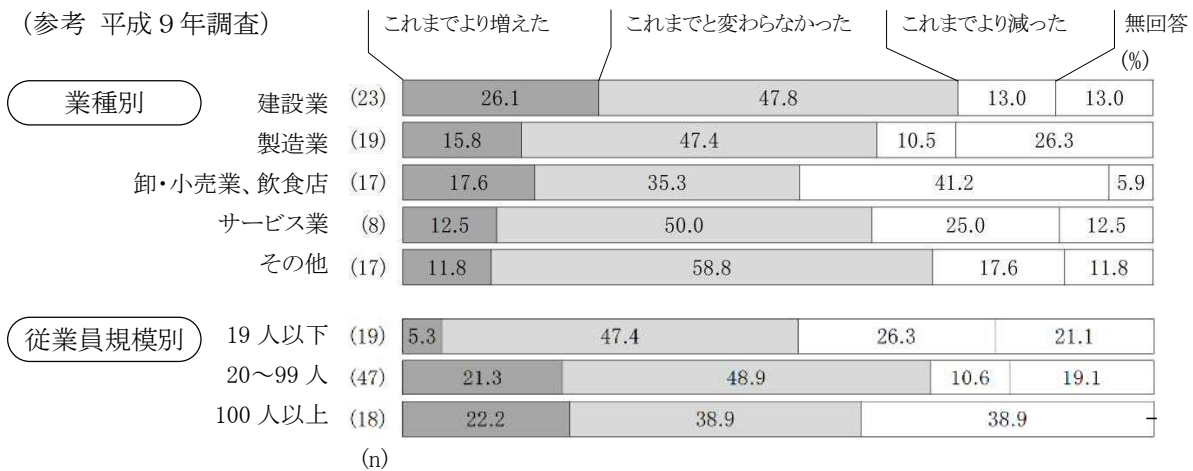
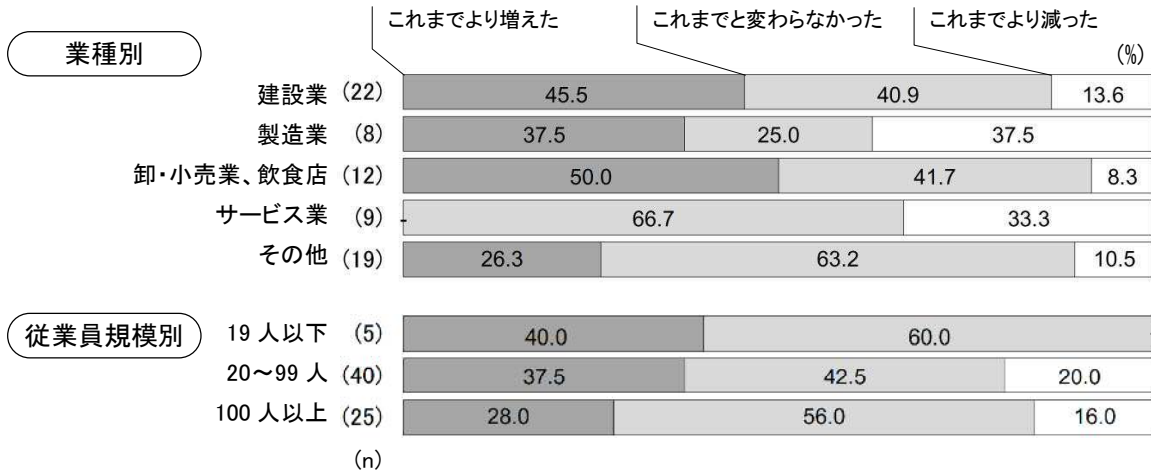
問31付問２ 問31で「今年、新規高校卒業者を採用した」と回答した企業にうかがいます。  
 今春の高校卒業者の採用数はこれまでと比較してどうでしたか。 (％)

	企 業
回答者数	70
これまでより増えた	34.3
これまでと変わらなかった	48.6
これまでより減った	17.1
無回答	-

(参考 平成9年調査) (％)

	企 業
回答者数	86
これまでより増えた	17.4
これまでと変わらなかった	47.7
これまでより減った	19.8
無回答	15.1

図表 42 新規高校卒業者の採用数の増減【業種別、従業員規模別】



### 「これまでと変わらなかった」が48.6%

今年度新規高校卒業者を採用した企業に、採用数の増減について尋ねたところ、「これまでと変わらなかった」と回答した割合が48.6%と5割近くを占めた。また、「これまでより増えた」と回答した割合が34.3%となり、平成9年調査と比較すると16.9ポイント増加した。

業種別にみると、建設業、製造業、卸・小売業、飲食店で「これまでより増えた」と回答した割合が3～5割程度となり、平成9年調査と比較すると増加傾向となった。

従業員規模別にみると、各規模においては「これまでと変わらなかった」と回答した割合が4～6割程度となり、平成9年調査と比較すると、「これまでより増えた」と回答した割合が、全ての規模で増加傾向となった。

31－（付問3） 新規高校卒業者の採用を減らした理由

問31付問3 問31付問2で「今春の高校卒業者の採用数がこれまでより減った」と回答した企業にうかがいます。今春の高校卒業者の採用数が減少した理由は何ですか。 (%)

	企 業
回答者数	12
採用を控えたため	8.3
大学・短大卒業者の割合を増やしたため	-
専門学校卒業者の割合を増やしたため	-
応募者が少なかったため	66.7
その他	25.0
無回答	-

■ 「応募者が少なかったため」が66.7%

今年度新規高校卒業者を採用した企業のなかで、今春の採用数が「これまでより減った」と回答した12の企業にその理由を尋ねたところ、「応募者が少なかったため」が66.7%で最も高い割合となった。



### 32 今後の新規高校卒業者の採用動向

問32 あなたの事業所は、今後、高校卒業者の採用について、どのように考えていますか。 (%)

	企 業
回答者数	289
今までどおり高校卒業者を採用したい	18.7
高校卒業者の採用を増やしたい	17.3
高校卒業者の採用を減らしたい	1.4
高校卒業者の採用予定はない	32.5
その他	12.1
わからない	16.3
無回答	1.7
今までどおり採用したい・採用を増やしたい (計)	36.0
採用を減らしたい・採用予定はない (計)	33.9

(参考 平成9年調査)

(%)

	企 業
回答者数	310
今までどおり高校卒業者を採用したい	24.5
高校卒業者の採用を増やしたい	11.0
高校卒業者の採用を減らしたい	3.2
高校卒業者の採用予定はない	27.1
その他	9.7
わからない	21.6
無回答	2.9
今までどおり採用したい・採用を増やしたい (計)	35.5
採用を減らしたい・採用予定はない (計)	30.3

図表 43 今後の新規高校卒業者の採用動向【業種別、従業員規模別】

(%)

	(n)	今までどおり高校卒業者を採用したい	高校卒業者の採用を増やしたい	高校卒業者の採用を減らしたい	高校卒業者の採用予定はない	その他	わからない	無回答
<b>【業種別】</b>								
建設業	(70)	22.9	22.9	1.4	25.7	11.4	12.9	2.9
製造業	(49)	16.3	24.5	-	24.5	10.2	22.4	2.0
卸・小売業、飲食店	(61)	18.0	16.4	1.6	31.1	11.5	21.3	-
サービス業	(41)	22.0	9.8	-	39.0	14.6	9.8	4.9
その他	(64)	14.1	12.5	3.1	43.8	14.1	12.5	-
<b>【従業員規模別】</b>								
19人以下	(77)	5.2	11.7	2.6	41.6	13.0	23.4	2.6
20～99人	(160)	20.6	19.4	0.6	30.0	13.8	13.8	1.9
100人以上	(52)	32.7	19.2	1.9	26.9	5.8	13.5	-

(参考 平成9年調査)

(%)

	(n)	今までどおり高校卒業者を採用したい	高校卒業者の採用を増やしたい	高校卒業者の採用を減らしたい	高校卒業者の採用予定はない	その他	わからない	無回答
<b>【業種別】</b>								
建設業	(81)	25.9	13.6	3.7	22.2	2.5	30.9	1.2
製造業	(56)	26.8	14.3	1.8	21.4	10.7	23.2	1.8
卸・小売業、飲食店	(52)	28.8	11.5	7.7	25.0	9.6	13.5	3.8
サービス業	(39)	20.5	7.7	2.6	30.8	12.8	17.9	7.7
その他	(74)	21.6	6.8	1.4	33.8	14.9	18.9	2.7
<b>【従業員規模別】</b>								
19人以下	(130)	18.5	6.9	1.5	39.2	8.5	20.8	4.6
20～99人	(146)	24.0	15.1	3.4	21.2	9.6	25.3	1.4
100人以上	(32)	50.0	9.4	9.4	6.3	15.6	9.4	-

### 「今までどおり採用したい・増やしたい」が36.0%

企業に今後の新規高校卒業者の採用について尋ねたところ、「今までどおり採用したい・採用を増やしたい（計）」の割合は36.0%となった。一方、「採用を減らしたい・採用予定はない（計）」の割合は33.9%となった。

平成9年調査と比較すると、「今までどおり採用したい・採用を増やしたい（計）」の割合が0.5ポイント増加する一方、「採用を減らしたい・採用予定はない（計）」の割合も3.6ポイント増加した。

業種別にみると、全ての業種で「採用予定はない」の割合が最も高かった。

従業員規模別にみると、19人以下、20～99人の規模で「採用予定はない」の割合が最も高くなり、100人以上では「今までどおり採用したい」の割合が最も高くなった。平成9年調査と比較すると、全ての規模において「採用を増やしたい」と「採用予定はない」の割合が高くなった。

### 32- (付問1) 新規高校卒業者の採用を減らす理由

問32付問1 問32で「高校卒業者の採用を減らしたい」と回答した企業にうかがいます。  
高校卒業者の採用を減らす理由は何ですか。

(%)

	企 業
回答者数	4
大学・短大卒業者の採用を増やしたいため	50.0
専門学校卒業者の採用を増やしたいため	25.0
採用全体を縮小したいため	-
その他	-
無回答	25.0

(参考 平成9年調査)

(%)

	企 業
回答者数	10
大学・短大卒業者の採用を増やしたいので	50.0
専門学校卒業者の採用を増やしたいので	-
採用全体を縮小するため	40.0
その他	10.0
無回答	-

#### 「大学・短大卒業者の採用を増やしたいため」が4事業所中2事業所

「高校卒業者の採用を減らしたい」と回答した企業に、採用を減らす理由を尋ねたところ、「大学・短大卒業者の採用を増やしたいため」の割合が50.0%（2事業所）、「専門学校の採用を増やしたいため」の割合が25.0%（1事業所）となった。

### 33 企業にとって望まれる高校生のタイプ

問33 あなたの事業所では、今後、どのようなタイプの高校生が入社してくることを望んでいますか。  
(いずれか1つ) (％)

	企 業
回答者数	289
学業成績の優れた生徒	5.2
特定の資格・免許を取得している生徒	14.5
部活動やボランティア活動などに熱心な生徒	14.5
学業以外の優れた知識・技術を持っている生徒	7.3
生活態度がまじめな生徒	32.2
わからない	5.9
その他	5.9
無回答	14.5

(参考 平成9年調査：2つまで回答)

(複数回答、％)

	企 業
回答者数	310
学業成績の優れた生徒	7.4
特定の資格・免許を取得している生徒	24.5
部活動やボランティア活動などに熱心な生徒	23.2
学業以外の優れた知識・技術を持っている生徒	29.7
生活態度がまじめな生徒	61.0
わからない	1.9
その他	8.1
無回答	6.1

図表 44 企業にとって望まれる高校生のタイプ【業種別、従業員規模別】

(%)

	(n)	生徒 学業成績の優れた	生徒 特定の資格・免許 を取得している	生徒 部活動やボランティア活動などに熱心な	生徒 学業以外の優れた知識・技術を持っている	生徒 生活態度がまじめな	わからない	その他	無回答
【業種別】									
建設業	(70)	5.7	18.6	12.9	7.1	32.9	7.1	4.3	11.4
製造業	(49)	10.2	12.2	12.2	12.2	34.7	6.1	2.0	10.2
卸・小売業、飲食店	(61)	4.9	9.8	24.6	3.3	29.5	6.6	8.2	13.1
サービス業	(41)	4.9	17.1	7.3	14.6	26.8	4.9	4.9	19.5
その他	(64)	1.6	15.6	12.5	3.1	35.9	4.7	9.4	17.2
【従業員規模別】									
19人以下	(77)	1.3	18.2	15.6	7.8	31.2	5.2	7.8	13.0
20～99人	(160)	6.3	16.3	15.0	6.9	28.8	7.5	3.8	15.6
100人以上	(52)	7.7	3.8	11.5	7.7	44.2	1.9	9.6	13.5

(参考 平成9年調査)

(複数回答、%)

	(n)	生徒 学業成績の優れた	生徒 特定の資格・免許を 取得している	生徒 部活動やボランティア活動などに熱心な	生徒 学業以外の優れた知識・技術を持っている	生徒 生活態度がまじめな	わからない	その他	無回答
【業種別】									
建設業	(81)	7.4	33.3	14.8	32.1	61.7	2.5	6.2	4.9
製造業	(56)	3.6	12.5	30.4	33.9	64.3	3.6	1.8	3.6
卸・小売業、飲食店	(52)	7.7	11.5	34.6	30.8	67.3	-	17.3	3.8
サービス業	(39)	5.1	35.9	15.4	23.1	56.4	2.6	10.3	7.7
その他	(74)	9.5	25.7	24.3	25.7	55.4	1.4	8.1	10.8
【従業員規模別】									
19人以下	(130)	3.1	30.0	20.8	29.2	58.5	3.1	8.5	7.7
20～99人	(146)	8.2	21.2	24.7	30.8	60.3	0.7	5.5	6.2
100人以上	(32)	18.8	18.8	28.1	28.1	71.9	3.1	15.6	-

### 「生活態度がまじめな生徒」が32.2%

企業が望んでいる高校生のタイプを尋ねたところ、「生活態度がまじめな生徒」の割合が32.2%で最も高くなり、次いで「特定の資格・免許を取得している生徒」と「部活動やボランティア活動などに熱心な生徒」の割合が14.5%となった。

平成9年調査は複数回答であったため単純比較はできないが、「生活態度がまじめな生徒」が引き続き高くなった一方で、今回調査では「学業以外の優れた知識・技術を持っている生徒」の割合が他の項目と比較すると低くなった。

業種別にみると、全ての業種で「生活態度がまじめな生徒」の割合が最も高くなった。「特定の資格・免許を取得している生徒」の割合は建設業、サービス業で、「部活動やボランティア活動などに熱心な生徒」の割合は卸・小売業、飲食店で高い傾向となった。

従業員規模別にみると、全ての規模で「生活態度がまじめな生徒」の割合が最も高くなった。

## 《 自由意見 》

### 34 新設して欲しい学科

#### (1) 自由意見記入数と割合

	有効回収数	自由意見記入数と割合
高 校 生	965	34 (3.5%)
小 学 生 保 護 者	454	15 (3.3%)
中 学 生 保 護 者	955	52 (5.4%)
高 校 生 保 護 者	955	28 (2.9%)
小 学 校 教 員	132	4 (3.0%)
中 学 校 教 員	140	7 (5.0%)
高 校 教 員	139	8 (5.8%)
大 学 ・ 短 大 教 員	94	6 (6.4%)
市 町 村 関 係 者	69	3 (4.3%)
企 業	289	12 (4.2%)
計	4,192	169 (4.0%)

#### (2) 主な意見 (※)

りんご科、動物科、林業科、建築科、土木機械科、工芸科、薬学科、航空科、経営科、経済科、情報処理科、情報ビジネス科、観光科、服飾科、調理科、栄養科、スイーツ科、パティシエ科、保育科、看護科、プログラミング科、I T科、福祉科、介護福祉科、国際科、美術科、芸術科、音学科、デザイン科、もの作り科、舞踊科、スポーツ専科、医学科、放射線科、法律科、美容科、芸能科、コミュニケーション科、政治経済科、伝統工芸について学ぶ科、公務員養成科、アナウンス科、小・中教員養成科、パイロット養成科、企業家育成科、農・工・商の融合した科、職業訓練科、原子力関連の科

※「主な意見」の中には、本県の県立高校に既設の学科についての記載もあったが、それらを含めて掲載している。

## 35 その他高校教育に関する意見

### (1) 自由意見記入数と割合

	有効回収数	自由意見記入数と割合
中 学 生	954	118 (12.4%)
高 校 生	965	81 (8.4%)
小 学 生 保 護 者	454	63 (13.9%)
中 学 生 保 護 者	955	159 (16.6%)
高 校 生 保 護 者	955	120 (12.6%)
小 学 校 教 員	132	24 (18.2%)
中 学 校 教 員	140	34 (24.3%)
高 校 教 員	139	40 (28.8%)
大 学 ・ 短 大 教 員	94	25 (26.6%)
市 町 村 関 係 者	69	24 (34.8%)
企 業	289	56 (19.4%)
計	5,146	744 (14.5%)

### (2) 主な意見

#### 中 学 生

- ・ 学科や部活動をもっと増やして欲しい
- ・ 大学に行くために必要な授業をして欲しい
- ・ 楽しく過ごせる学校にして欲しい
- ・ いじめなどをしっかり解決して欲しい
- ・ 高校生活を楽しめるように、校則を厳しくしすぎないで欲しい
- ・ 各学科の学習内容等についてもっと詳しく教えて欲しい
- ・ それぞれの高校で特に力を入れている事をもっと知りたい
- ・ 学習についていけるか不安
- ・ 受験が1回しかないから不安
- ・ 一生懸命になってくれる先生と、共に高め合える友だちにめぐり会いたい

#### 高 校 生

- ・ 1人1人がのびのびと生活できる時間を作って欲しい
- ・ 部活動にもっと力を入れて欲しい
- ・ 外部講師による講習などをたくさんやるべき
- ・ 進路についてしっかりと教えられる先生がもっと増えて欲しい
- ・ いじめへの対応をもう少し充実させて欲しい
- ・ 進路についてもっと生徒の意見を聞き、生徒が意見を述べやすい環境をつくって欲しい
- ・ 生徒の話をよく聞いて、心のケアをしてくれる先生が増えて欲しい
- ・ 生徒の理解度に応じた授業のクラス分けができればいい
- ・ 学習面、ボランティア活動など様々な場面で、他校の生徒と交流できる機会があればよい
- ・ もっと体験学習等を増やして欲しい
- ・ 普通科をこれ以上減らさないで欲しい
- ・ 偏差値の高い大学へ進むための学科が欲しい

### 小学生保護者

- ・大学に合格できる学力を確実に身に付けられるようにして欲しい
- ・成績不振の生徒のフォローも厚くし、モチベーションアップできるような取組を期待したい
- ・もっと地域と関わったりするなど、学校外での交流を増やした方がよい
- ・職業や大学についての知識が少ないので、インターンシップにもっと取り組んで欲しい
- ・進学校であっても、就職する生徒たちにもう少し親身に対応してもらいたい
- ・高校生がもっと自分の夢を持ちやすい環境づくりが重要だと思う
- ・進学先や学校内の様子などについて、どんどん情報を発信して欲しい
- ・高校では、勉強、部活動等を通して、コミュニケーション能力、モラル、常識等を学んでいくのだと思う
- ・大学受験に特化した進学校など、個性的な高校の整備を望む
- ・少子化に伴い高校が統廃合されるのは仕方ないことだと思う
- ・県外からの生徒を取り入れ、町の活性化につなげて欲しい
- ・高校生のうちから資格取得など目指せるよう、専門学科を増やして欲しい
- ・普通科を増やして大学進学を促し、大学において学びたいことを学べるようにすればよい

### 中学生保護者

- ・高校とは、中学生にとって夢がたくさんつまっている場所だと思う
- ・学校名で生徒の質を決めつけるようなことはしないで欲しい
- ・途中で生徒の進路希望が変わっても、それに対応できるような柔軟な指導を望む
- ・学力はもちろん、コミュニケーション能力や社会適応能力等の向上にも力を入れて欲しい
- ・商業科・工業科などで学ぶ専門知識のレベルを上げて欲しい
- ・長い年月をかけて築いてきた各校の伝統やカラーを大切にしたい
- ・各高校の特徴を徹底して説明してもらい、生徒の希望、夢をもっとふくらませて欲しい
- ・専門学科であっても、大学進学が達成できるようなサポート（進学指導）をして欲しい
- ・きめ細やかな指導や個に応じた指導をするために教職員の増員をするべき
- ・学校見学会や体験学習の機会を増やして欲しい
- ・いじめをもっと減らして欲しい
- ・超難関大学合格者を多数輩出するような進学校を設置して欲しい
- ・大学入試に対応するために中高一貫教育を導入し、早いうちに高校の学習に取り組ませたい
- ・できるだけ高校を減らさないで欲しい
- ・少子化が進んでいるので、学校の統廃合はやむをえない
- ・高校は、通学等の利便性のよい所に残すべきである
- ・他県にない学科等を増やして、他県から生徒を集めることも必要ではないか
- ・働きながら勉強したい人のために、通勤・通学の便利なところに定時制高校が必要



### 高校生保護者

- ・学ぶことに不安のない楽しい高校生活が送れるようにして欲しい
- ・高校生自身が社会に貢献できる人材であることを十分意識できる学びが必要
- ・就職に必要なビジネスマナーについてもっと学ばせたり、資格を取得させて欲しい
- ・進学校は進学率ばかり重視し、課題・宿題が多すぎる
- ・有意義な高校生活のためには、やりたい部活動があればよい
- ・新しいタイプの教育制度導入校に、その学科があるから入学している生徒は多くないと思う
- ・地域にも貢献できる視野を持った教員を確保して欲しい
- ・特色ある学科（例えば英語科など）は、ハイレベルな授業が出来る体制になればよい
- ・大学のように生徒一人一人が自由に時間割を組めるようになればよい
- ・総合学科をもっと増やしてもらいたい
- ・郡部に住んでいると、通学費の負担が大きいので、スクールバスの運行や、学生寮を設置するなど、先のことを考えた上で統廃合をして欲しい
- ・学校の設置場所は、公共交通機関の整った所をお願いしたい
- ・職業・就職に直結した学科については、無理な統廃合はしない方がいい
- ・近隣に高校がなくなれば、通学の手段が限定されてしまう

### 小学校教員

- ・夢や希望をかなえるための高い学力と応用力を高校の学習で伸ばして欲しい
- ・キャリア教育やボランティア、実習体験の機会を増やし、将来の夢を持てる人に育てて欲しい
- ・自分自身の興味や能力、適性に気付かせ、その気付きから夢をつくる教育を実施して欲しい
- ・マナー・モラル教育を強化する必要がある
- ・小・中に比べて、高校は開かれている気がないので、もう少し学校の様子を発信して欲しい
- ・高校の統廃合については、周辺地域の声に最大限配慮していただきたい
- ・普通科を原則にした上で、それぞれ多様なコースを設置すればよいのではないか

### 中学校教員

- ・高校では、知識や技術、専門性を身に付け、大人としての責任感を持てるような指導が必要
- ・各高校で生徒の育成方針が明確にあれば、中学生がその高校へ進学したい強い思いを持てる
- ・職業について知る機会をたくさん設け、選択の幅を広げるための指導を期待
- ・小・中・高と連携して、優秀な人たちがふるさとに戻ってくる意識付けが必要
- ・高校では、自分の意見・考えを持って行動できる能力を身に付けさせて欲しい
- ・年々、特色ある高校が増え、それに伴い、中学生の進路選択の幅が広がってきた
- ・各高校の特徴をもっと多く知る機会が必要であると考えている
- ・体験入学の充実や、高校卒業後の進路を知る機会があれば、高校進学後に活用できると思う
- ・高校にはある程度保って欲しい規模、レベルがあり、また、そうした高校に通える手段が必要
- ・多様な進路希望に対応した学科を設置し、それをかなえるための指導を充実させて欲しい
- ・特別支援教育の体制づくりが必要であり、また、その体制についての情報提供・公開が必要
- ・統廃合による高校の減少は切実だと感じる

## 高校教員

- ・生徒の学力を確保する仕組み作りが必要
- ・しっかりとした指導者がいない（できない）部活動には地域の協力が欲しい
- ・生徒が自由に科目を選択できるのが理想だが、教員数が不足している現状では困難である
- ・教員間で部活動指導などを含めた仕事の負担量に差がある
- ・生徒も教員も忙しすぎて新しいことに取り組む余裕がない
- ・教員の研修の一つとして、専門科目に関する資格取得の義務化は必要である
- ・アクティブラーニング型学習活動をぜひ県全体で推進すべき
- ・一学級当たりの生徒数を減らし、生徒一人ひとりに手厚く関わられるようにした方がよい
- ・様々な改革メニューを学校の取組として導入する前に、その学校では何を一番に据えるのか見極め判断して欲しい
- ・全国と勝負することを考えると、ある程度の学校規模を維持し、競争心を持たせることも必要

## 大学・短大教員

- ・地域の行事、奉仕活動等に参加させる機会を作り、地域で共に育てるという意識作りが必要
- ・学力よりも人間力育成が重要
- ・学力をしっかり身に付けさせることを第一に考えて欲しい
- ・一人一人の人間力・生活力・社会力を高めて、青森県内で働ける若者を増やして欲しい
- ・大学に目的意識を持って入学する学生が少ない
- ・高校、大学、地域などが一体となって若者たちの力を伸ばす必要がある

## 市町村関係者

- ・高校で、世の中の厳しさを乗り越える力を身に付けさせることが必要
- ・大学への進学率の向上よりも、高校生の地元定着率向上を図るべき
- ・好きな事に精通できるようなシステムを構築して欲しい
- ・専門学科では、高度な資格の取得に努めさせ、将来の職業に役立つような指導をして欲しい

- ・キャリア教育・コミュニケーション教育等を基軸とし、地域と融合した教育活動の展開を期待
- ・高校では基本的な生活習慣を身に付けて欲しい
- ・日本人としての誇りを持ち、世界で活躍できる人間の育成を目指した高校教育を期待したい
- ・小規模校の特色をもっと生かして欲しい
- ・全国に通用する高い学力の育成が急務
- ・高校の統廃合は、地域住民の活力に直接影響する問題である
- ・進学に対応できる規模とするため、統廃合はやむを得ない
- ・きめ細かな教育をするため、1学級の学校も存続して欲しい
- ・将来就きたい職業に必要な知識、技能を身に付けさせるための学科を設置して欲しい
- ・高校を統廃合する場合は、スクールバスの運行及び交通費の補助を考えて欲しい

## 企業

- ・学校教育と社会に出てから必要なことがあまりにもかけ離れている
- ・進学校であってもある程度の職業意識を持たせるような教育をして欲しい
- ・ボランティア活動、インターンシップを経験させ、職業意識を持って就職、進学できればよい
- ・学校行事等については生徒主導で実施して責任を持たせてはどうか
- ・挨拶、思いやり（道徳）、マナーをきっちり教えて欲しい
- ・人間としての基本である挨拶や躰が重要な課題である
- ・高校は、人格形成を豊かにする役割を担って欲しい
- ・生徒が色々な体験をして、将来の選択肢を広げられるような学習をして欲しい
- ・学ぶ意志のある高校生が、自由に科目を選択できる教育環境の充実が必要
- ・奨学金制度の拡充を図り、能力とやる気のある生徒をサポートできないか
- ・一学年当たりの人数が少ないと、周りから受ける刺激が少ないため、その点がマイナス



## 高等学校教育に関する意識調査

---

平成 27 年 3 月発行

(編集・発行)

青森県教育委員会

〒030-8540

青森県青森市新町 2-3-1

(電話)017-734-9866 (高等学校教育改革推進室)

(調査分析)

一般財団法人青森地域社会研究所

〒030-0801

青森県青森市新町 2-2-7

(電話)017-777-1511

---